

COMPUTER SEWING MACHINE

HZL-NX7

取扱説明書

JA



注意

安全にご使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧になれますように保管してください。

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に「安全にご使用していただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

製品改良のため、本体の色・デザイン・仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

安全にご使用していただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

警告表示は以下のように使い分けています。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵文字の意味は次のとおりです。

	注意すること		感電の危険があります		火災の危険があります
	手などへの傷害の危険があります		してはいけないこと		分解、改造をしないでください
	針の下に指を入れないでください		必ず行うこと		電源プラグをコンセントから抜いてください

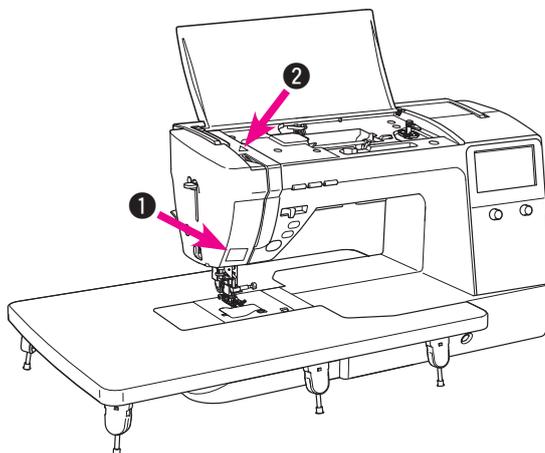
警告ラベルについて

ミシン本体には下記の警告ラベルが表示されています。

警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。

万一ラベルがはがれていたり、読み取れなくなった場合は速やかに販売店にご連絡ください。



このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことからを必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。

This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.

警告

	一般家庭用交流電源 100V の電圧以外では、絶対に使用しないでください。
	下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none">● ミシンのそばを離れるとき。● ミシンをご使用になったあと。● ミシンのご使用中に停電したとき。● ミシンをお手入れするとき。● ミシンを移動させるとき。● 接触不良・断線などで正常に動作しないとき。● 雷が鳴りはじめたとき。
	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロン、火の消えていないたばこ、ろうそくなど火の気のあるもののそばや温度の高いところでは使用しないでください。ミシン内部の温度が上がったり、電源コードの皮膜等が溶けて火災・感電の原因となります。ミシンの使用温度は 5℃～ 40℃です。
	スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどの原因となります。

注意

	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
	電源プラグやフットコントローラーを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。コード部分を引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
	<p>ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は必ず壁から30 cm 以上離して使用し、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。</p>
	<p>以下の場所に設置、保管しないでください。故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度が著しく高くなる場所 ・温度が著しく低くなる場所 ・急激に温度が変化する場所 ・湿気、湯気の多い場所 ・火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 ・野外や直射日光の当たる場所 ・ほこり、油煙の多い場所
	<p>フットコントローラーの上に物をのせないでください。けが、故障の原因となります。</p>
	<p>お客様ご自身での分解、改造はしないでください。</p> <p>指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>ミシンを操作するときはかま部などカバー類を閉じてください。</p> <p>けがの原因となります。</p>
	<p>ミシンの縫製中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車（プーリー）、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。</p> <p>けがの原因となります。</p>
	<p>曲がった針は絶対に使用しないでください。</p> <p>針折れの原因となります。</p>
	<p>縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。</p> <p>けが、針折れの原因になります。</p>
	<p>お子様の玩具としては使用しないでください。</p> <p>お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してご使用してください。</p>

	<p>下記のことを行うときは、電源スイッチを切り取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。 ● 下糸をセットするとき。
	<p>取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
 	<p>ミシンやフットコントローラーに下記の異常があるときは、速やかに使用を停止し、販売店にて点検、修理、調整をお受けください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出ている。 ● 正常に作動しないとき。 ● 落下などにより破損したとき。 ● 水に濡れたとき。 ● 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。 ● 異常な臭い、音がするとき。 ● 異物が入ったとき。
 	<p>ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。 万が一異物が入った場合はミシンの使用をやめてお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
	<p>針の下に指などを入れしないでください。けがをするおそれがあります。</p>
	<p>ミシン本体には、取扱説明書に記載されている正規部品をご使用ください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。</p>
	<p>ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか、破棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。</p>
	<p>ミシン本体は、必ずハンドル（取っ手）を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、けがの原因になります。</p>
	<p>リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。</p>
	<p>布地と糸と針の組み合わせは、「布地に合った糸と針の選び方」の説明表に従って適切な組み合わせでご使用ください。 組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地（デニムなど）を細い針（11番以下）でぬうと針が折れ、思わぬ怪我をする可能性があります。</p>
	<p>上糸、下糸などに関する操作については取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取扱を誤ると縫製中に糸がらみなどを発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。</p>

その他のご注意

- 直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



- シンナーなどの溶剤でふかないでください。

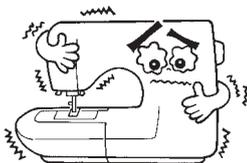


汚れたときは、やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、下記の状態がおこる場合があります。ご注意ください。

- 5℃～40℃の範囲でお使いください。

温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。



- 長時間のゆっくりぬいを続ける、あるいは高温環境下で長時間ぬい続けると異常発熱を防ぐため、安全装置が働き、ミシンが止まるようになっています。

このとき、スタート・ストップボタンは光りません。

約10分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

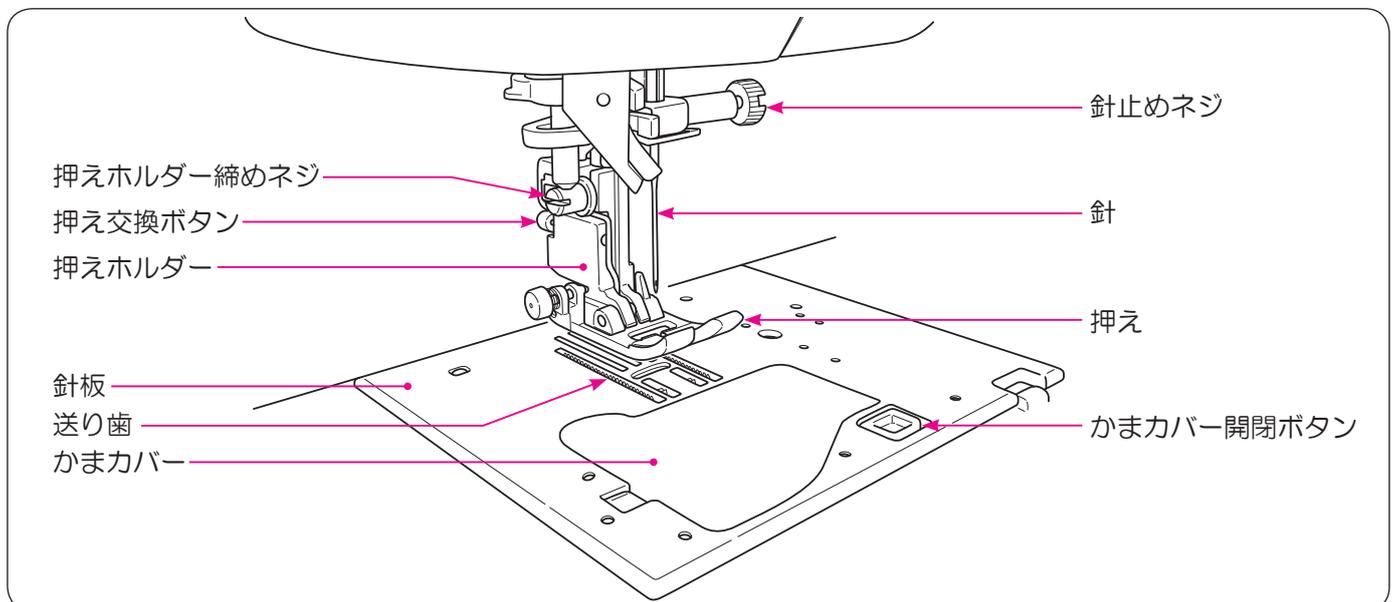
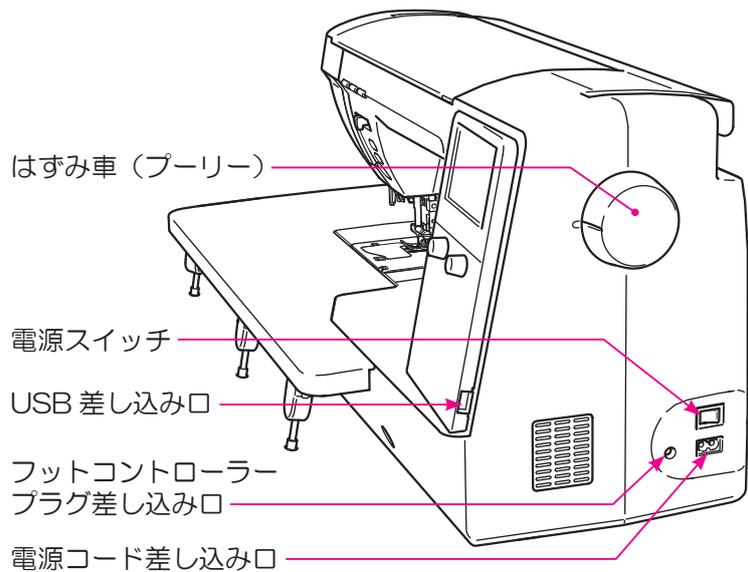
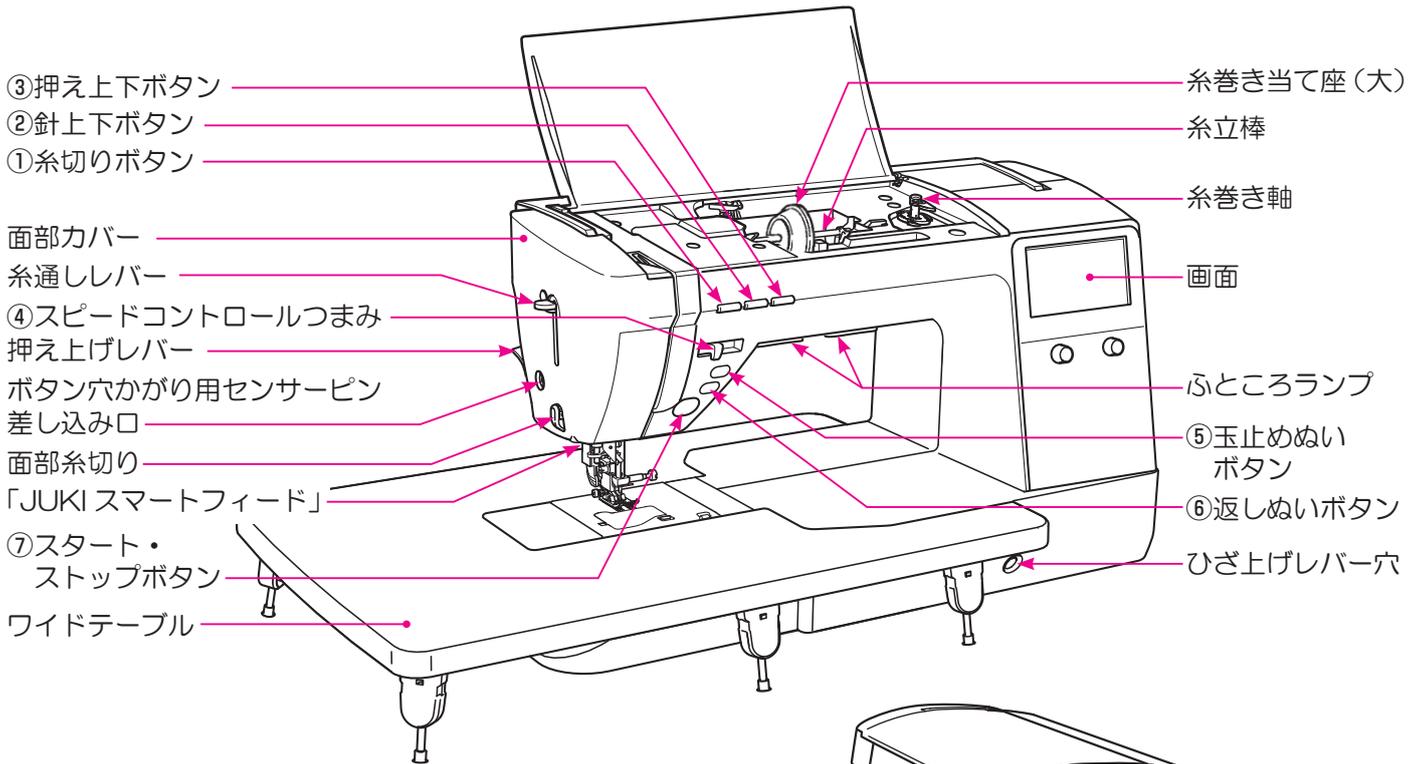


目次

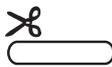
安全にご使用していただくために.....	1	5. 詳細な操作.....	52
目次.....	6	5.1. オプション.....	52
1. 各部のなまえとはたらき.....	8	① 全体系調子設定.....	53
1.1. 操作ボタンのなまえとはたらき.....	9	② 押え上げ高さ設定.....	53
1.2. 操作アイコン・操作キーの なまえとはたらき.....	10	③ 押え上昇時動作設定.....	54
2. 付属品.....	14	④ フットスイッチ設定.....	55
3. セットアップ.....	15	⑤ 起動時設定.....	55
3.1. ワイドテーブルの取り付け.....	15	⑥ ぬい始め速度設定.....	56
3.2. フットスイッチの位置変更.....	16	⑦ 返しぬい速度設定.....	56
3.3. ひざ上げレバーの取り付け.....	17	⑧ ダーニング調整.....	57
4. 基本設定・基本操作.....	18	⑨ 音量設定.....	58
4.1. 電源の入れ方.....	18	⑩ 明るさ調整.....	58
4.2. 速さの調節.....	20	⑪ 言語の切り替え.....	59
4.3. 押えの上げ下げ.....	21	⑫ 設定の初期化・削除.....	59
4.4. 押えの交換.....	22	⑬ ソフトウェアアップデート.....	60
4.5. 「JUKI スマートフィード」の セットと解除.....	24	⑭ ミシンログ.....	62
4.6. 針板・送り歯の交換.....	25	5.2. 操作ガイド.....	63
4.7. 針板ガイドの使い方.....	26	5.3. ロックモード.....	63
4.8. 針の交換.....	27	5.4. 戻る操作.....	63
4.9. 布地に合った糸と針の選び方.....	28	5.5. クリア操作.....	63
4.10. 下系の準備.....	29	6. 模様ぬいの設定.....	64
4.11. 上系の準備.....	33	6.1. シングルぬいモード／コンビネーション ぬいモード.....	64
4.12. 糸調子の合わせ方.....	38	6.1.1. シングルぬいモード.....	64
4.13. 押え圧の設定.....	40	6.1.2. コンビネーションぬいモード.....	64
4.14. 微量押え上げ高さ設定.....	41	6.1.3. 繰り返しぬい設定.....	69
4.15. 2本針ぬい.....	42	6.2. 模様の種類と選び方.....	70
4.16. 自動止めぬい糸切り押え上げ設定.....	44	6.2.1. 実用模様.....	70
4.17. 針基線／ぬい目の幅・長さの変更.....	46	6.2.2. かざり模様.....	72
4.18. 下系カウンタ.....	48	6.2.3. キルト模様.....	74
4.19. 針停止位置設定.....	50	6.2.4. ボタン穴かがり模様.....	75
4.20. ピボット設定.....	50	6.2.5. 文字.....	76
4.21. 送り歯の下げ方.....	51	6.2.6. ユーザーメモリ.....	77
		6.2.7. No. 選択での模様の選び方.....	78

6.3. 編集機能の種類と使い方.....	79	8. メッセージ一覧.....	118
6.3.1. ダーニング調整.....	79	9. ミシンのお手入れ.....	121
6.3.2. 模様反転.....	81	10. 別売品のご紹介.....	122
6.3.3. エロンゲーションサイズ変更.....	82	11. 故障かな・・・というときは.....	124
6.3.4. テーパリングサイズ変更.....	83	12. 模様一覧.....	126
6.3.5. 組み合わせた模様全体選択.....	83	アフターサービスと保証.....	裏表紙
6.3.6. 削除.....	83	仕様表.....	裏表紙
6.3.7. 模様間隔設定.....	83		
6.3.8. ボタン穴かがりのメス幅変更.....	83		
7. ソーイング.....	84		
7.1. 直線ぬい.....	84		
7.2. ファスナーつけ.....	89		
7.3. パッチワークピーシング (ぬい合わせ).....	90		
7.4. 裁ち目かがり.....	91		
7.5. ブラインドステッチ (まつりぬい).....	92		
7.6. シェルタック.....	95		
7.7. かん止め.....	96		
7.8. アイレット.....	98		
7.9. かざりぬい.....	99		
7.10. レース/フェザー模様.....	100		
7.11. スカラップ.....	101		
7.12. ランダム模様.....	102		
7.13. テーパリング.....	103		
7.14. ハンドステッチ.....	105		
7.15. ボタン穴かがりぬい.....	106		
7.16. 手動ボタン穴かがり (2ステップ).....	112		
7.17. ボタン付け.....	114		
7.18. キルティング (フリーモーション).....	115		
7.19. キルティング (棒定規).....	117		

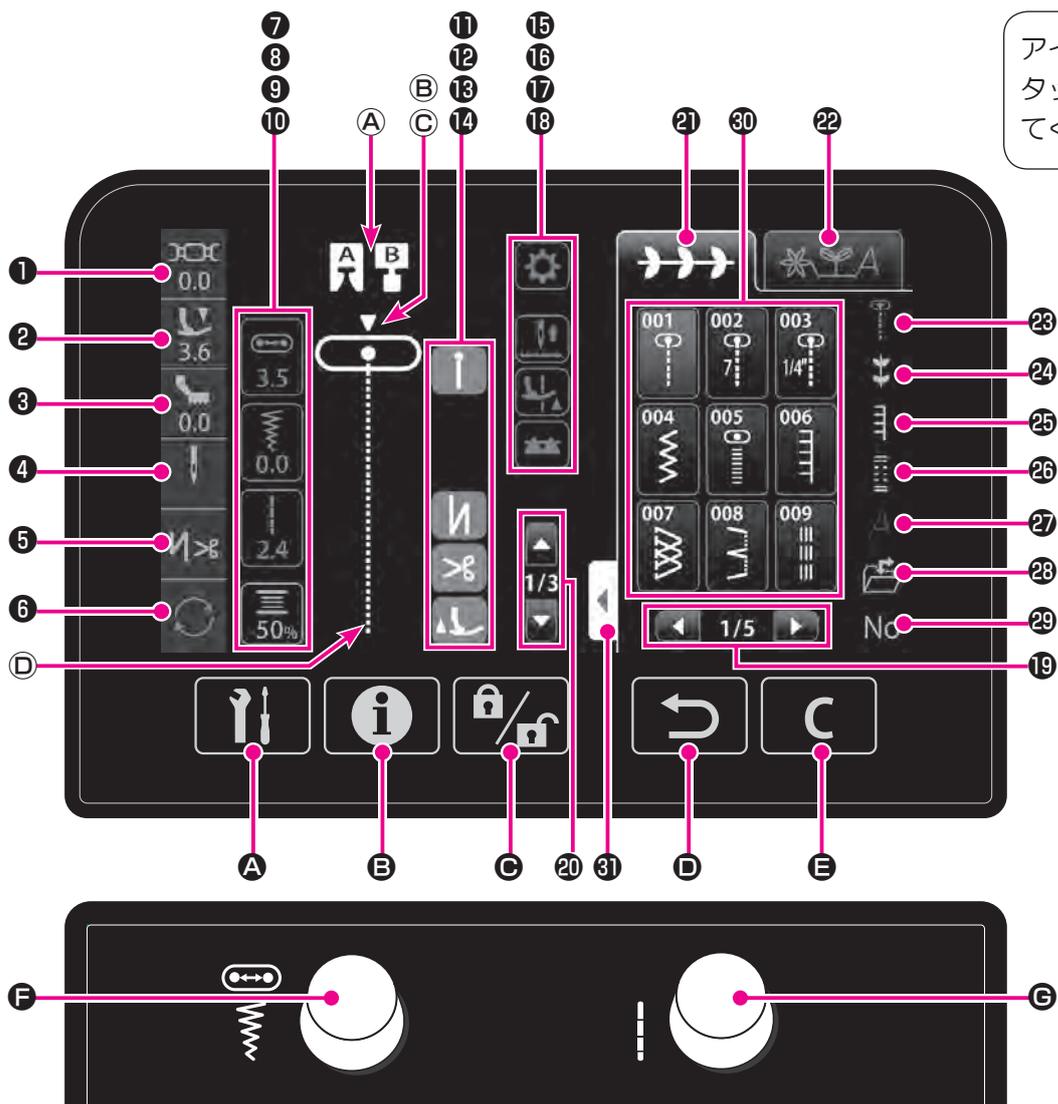
1. 各部のなまえとはたらき



1.1. 操作ボタンのなまえとはたらき

		なまえ	はたらき
①		糸切りボタン	ぬい終わった後にボタンを押すと、上糸、下糸を自動的に切ります。 糸切り後、針は上で停止します。 2本針設定時は糸切りボタンを押しても作動しません。
②		針上下ボタン	ミシンが止まっているときにボタンを押すと、針の位置が切り替わります。 上にあるときは下に、下にあるときは上に切り替わります。 長押しすると、低速でぬうことができます。
③		押え上下ボタン	ミシンが止まっているときにボタンを押すと、押えの位置が切り替わります。 上にあるときは下に、下にあるときは上に切り替わります。 この操作で押えを上げると、自動的に送り歯が下がります。
④		スピードコントロールつまみ	ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由に調節できます。 右に動かすと速く、左に動かすと遅くなります。 フットコントローラーを使用するときは、速度の上限を設定できます。
⑤		玉止めぬいボタン	ボタンを押すと、玉止めぬいをします。 模様ぬいの途中でボタンを押すと、模様のワンサイクル・ワンポイントの最後までぬって止まります。
⑥		返しぬいボタン	直線・ジグザグ模様：ボタンを押している間だけ、返しぬいをします。 その他の模様：ボタンを押すと、玉止めぬいをします。
⑦		スタート・ストップボタン	ボタンを押すと動きだし、スピードコントロールつまみでセットした速さで動きます。再度押すとストップします。 ボタンの色がミシンの状態で変わります。 緑色：スタート可能とぬい途中のとき 赤色：スタート不可能のとき 橙色：模様ぬいの途中で止めぬいボタンを押したとき（その模様をワンサイクルぬった後、止めぬいをして止まります） ※フットコントローラーを使用する場合 スタート・ストップボタンは ・スタートするとき：作動しません ・ストップするとき：作動します

1.2. 操作アイコン・操作キーのなまえとはたらき



アイコンには指か
タッチペンで触れ
てください。

	なまえ	はたらき
①	糸調子アイコン	糸調子の設定内容が表示されます。 糸調子を変更するときに押します。 模様を選び直すと初期値に戻ります。
②	押え圧アイコン	押え圧が表示されます。 押え圧を変更するときに押します。 電源を入れ直すと、初期値に戻ります。
③	「JUKI スマートフィード」 調整アイコン	「JUKI スマートフィード」をセットすると、アイコンが表示されま す。「JUKI スマートフィード」の調整をすることができます。
④	針アイコン	針の設定内容が表示されます。 針の設定を変更するときに押します。  : 1 本針  : 2 本針

		なまえ	はたらき
⑤		自動止めぬい糸切りアイコン	ぬい始め、ぬい終わりの止めぬいの設定、ぬい終わりの止めぬい糸切り・糸切り後押え上げの設定をすることができます。
⑥		繰り返しぬいアイコン	コンビネーションぬいモードの模様を繰り返しぬう、あるいはシングルぬいモードのぬいを1サイクル分だけぬう設定ができます。 1サイクル分だけぬう場合は1と表示されます。 初期設定 シングルぬいモードの模様：繰り返し コンビネーションぬいモードの模様：1
⑦		針基線アイコン	調節ダイヤル（左）の調整項目を「針基線」にするときに、このアイコンを押します。
⑧		ぬい目の幅アイコン	調節ダイヤル（左）の調整項目を「ぬい目の幅」にするときに、このアイコンを押します。
⑨		ぬい目の長さアイコン	ぬい目の長さ調節ダイヤル（右）で設定した「ぬい目の長さ」が表示されます。
⑩		下糸カウンタアイコン	下糸のカウント状態が表示されます。 下糸カウンタの詳細を設定するときに、このアイコンを押します。
⑪		ぬい始め止めぬいアイコン	ぬい始め止めぬいを設定すると表示されます。 アイコンを押すことでON / OFF を切り替えることができます。 ：返しぬい ：玉止めぬい
⑫		ぬい終わり止めぬいアイコン	自動ぬい終わり止めぬいを設定すると表示されます。 アイコンを押すことでON / OFF を切り替えることができます。 ：返しぬい ：玉止めぬい
⑬		糸切りアイコン	止めぬい糸切りを設定すると表示されます。 アイコンを押すことでON / OFF を切り替えることができます。
⑭		糸切り後押え上げアイコン	糸切り後の押え上げを設定すると表示されます。 アイコンを押すことでON / OFF を切り替えることができます。
⑮		模様編集アイコン	模様を編集することができます。
⑯		針停止位置切り替えアイコン	ミシンを止めたときの針停止の位置（上下）を切り替えることができます。 ：針下停止 ：針上停止

	なまえ	はたらき
17	 ピボット機能アイコン	<p>ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定することができます。</p>  : ピボット機能 OFF  : ピボット機能 ON
18	 ドロップフィードアイコン	<p>送り歯を下げたり上げたりすることができます。</p>  : 送り歯が上がっています  : 送り歯が下がっています
19	 ページ切り替えアイコン	<p>ページを切り替えるときに使います。</p>
20	 模様切り替えアイコン	<p>コンビネーションぬいモードで模様を切り替えるときに使います。</p>
21	 シングルぬいタブ	<p>シングルぬいモードにすることができます。</p>
22	 コンビネーションぬいタブ	<p>模様を組み合わせるコンビネーションぬいモードにすることができます。</p>
23	 実用模様アイコン	<p>実用模様の選択画面に切り替えるときに使います。</p>
24	 かざり模様アイコン	<p>かざり模様の選択画面に切り替えるときに使います。</p>
25	 キルト模様アイコン	<p>キルト模様の選択画面に切り替えるときに使います。</p>
26	 ボタン穴かがり模様 アイコン	<p>ボタン穴かがりの選択画面に切り替えるときに使います。</p>
27	 文字アイコン	<p>文字の選択画面に切り替えるときに使います。</p>
28	 ユーザーメモリ アイコン	<p>ユーザーメモリに保存されている模様を選択するときに使います。</p>
29	 No. 選択アイコン	<p>模様選択画面をナンバー入力画面に切り替えるときに使います。</p>
30	 模様アイコン	<p>模様を選択することができます。</p>
31	 選択画面拡張タブ	<p>模様群の表示画面を全面表示にすることができます。 もう一度選択画面拡張タブを押すと、元の表示に戻すことができます。</p>

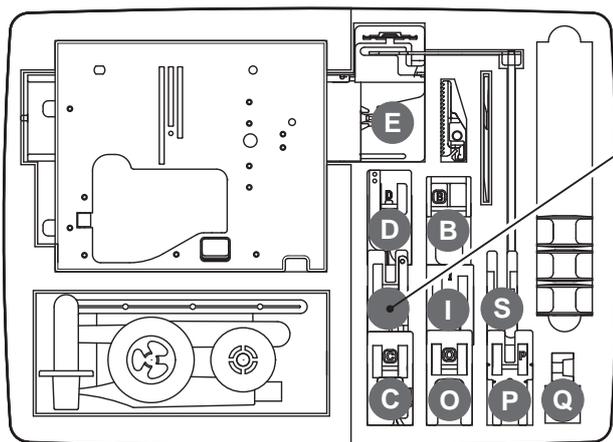
		なまえ	はたらき
Ⓐ		押え	選択したぬい目のときに使う押えが表示されます。
Ⓑ		基線位置	基線の位置 ▼ が表示されます。
Ⓒ		針板の種類	針板の種類が表示されます。 : 標準針板 : 直線用針板
Ⓓ	-	模様表示	これからぬう・現在ぬっているぬい模様が表示されます。
Ⓐ		オプションキー	オプション機能（14 種類）の設定変更ができます。 ※選んだ模様によって、使用可能なオプション機能が変わります。
Ⓑ		ガイド機能キー	ミシンの主な使い方を確認することができます。
Ⓒ		ロックキー ※ 1	全ての操作を無効にできます。 もう一度長押しすると解除されます。
Ⓓ		戻るキー	一つ前の画面操作に戻ることができます。 コンビネーションぬいモード時に、選択した模様を1つ消すことができます。
Ⓔ		クリアキー	選択された模様の設定値を、初期値に戻すことができます。
Ⓕ		調節ダイヤル（左）	振り幅の調整と基線変更をするときに使います。 ぬい目の幅アイコンを押すとぬい目の幅を変えられます。 右へ回すと幅が広くなります。 左へ回すと幅が狭くなります。 針基線アイコンを押すと針基線位置を変えられます。 右へ回すと、針が右へ移動します。 左へ回すと、針が左へ移動します。
Ⓖ		調節ダイヤル（右）	ぬい目の長さを調整するときに使います。 右へ回すと、ぬい目の長さが長くなります。 左へ回すと、ぬい目の長さが短くなります。

※ 1

取扱説明書内に記載されている

ロックモード とは、（ロックキー）を押して
全てのキー操作を無効にすることです。（63 ページ参照）

2. 付属品



付属品ボックス

●ミシンにセットされています。

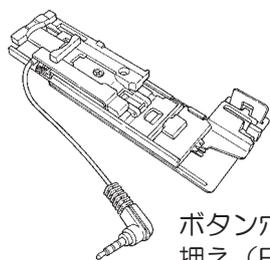


基本押え (A)

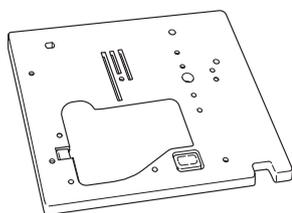
ボビン (1個)

糸巻き当て座 (大)

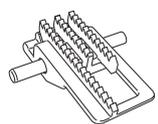
●付属品ボックスの中に入っています。



ボタン穴かがり
押え (E)



直線用針板



直線用送り歯



専用ドライバー



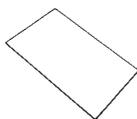
棒定規



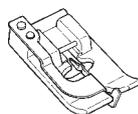
ボビン (3個)



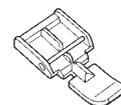
補助糸立棒



針セット



ブラインドステッチ
押え (D)



ファスナー押え (B)

HA × 1 : 11 番 (1本)

: 14 番 (1本)

リッパー (糸ほどき)

: 16 番 (1本)

ニット : 11 番 (1本)

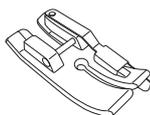


掃除用ブラシ

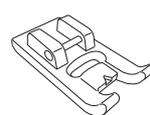


糸巻き当て座 (小)

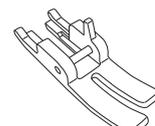
7mm ガイド押え (7)
または
1/4" ガイド押え (1/4)



7mm ガイド押え (7)
または
1/4" ガイド押え (1/4)



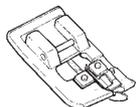
手動ボタン穴
かがり押え (I)



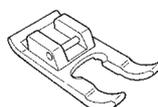
直線押え (S)



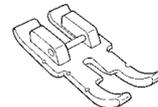
糸巻き当て座 (中)



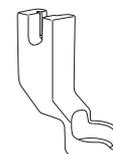
裁ち目かがり
押え (C)



オープン押え (O)



パッチワーク
押え (P)



キルト押え
(ルーラー用) (Q)

●梱包の中に入っています。



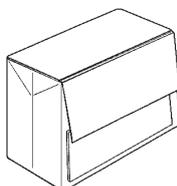
フットコントローラー



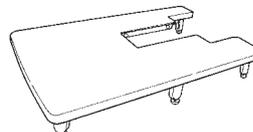
ひざ上げレバー



電源コード



ミシンカバー



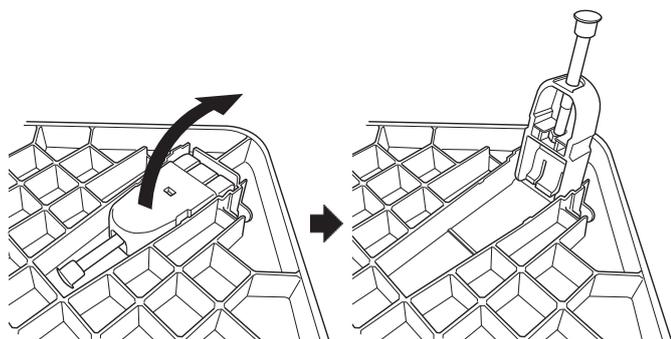
ワイドテーブル



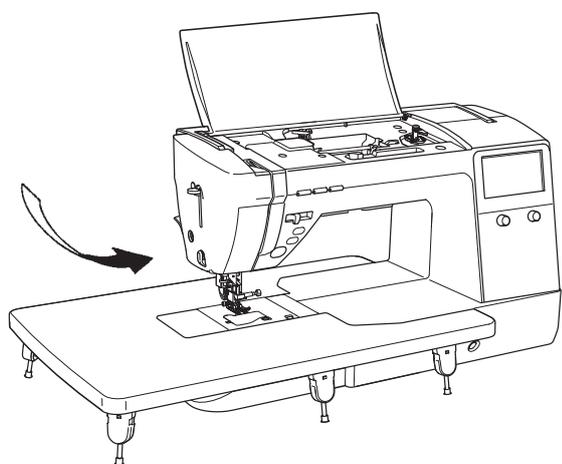
取扱説明書
(本書)

3. セットアップ

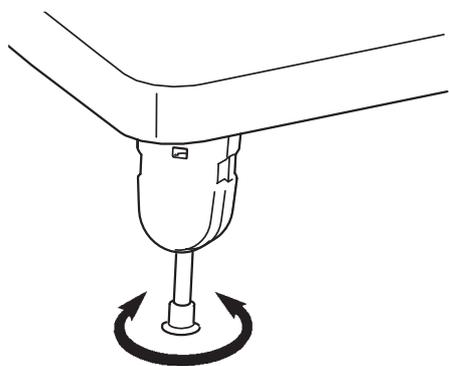
3.1. ワイドテーブルの取り付け



1 ワイドテーブルの足をカチッというまで立ち上げます。



2 ワイドテーブルをミシンに取り付けます。
ミシンのフリーアーム部に、はめ込みます。



3 足の高さを調整し、ミシン本体とテーブル面が平らになるようセットします。

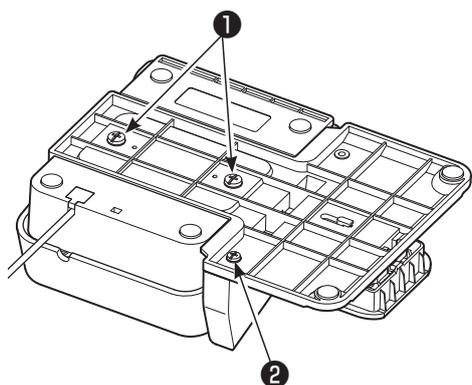


- テーブルの上に重いものを乗せないでください。
- テーブルをミシンに取り付けた状態でミシンを移動させないでください。

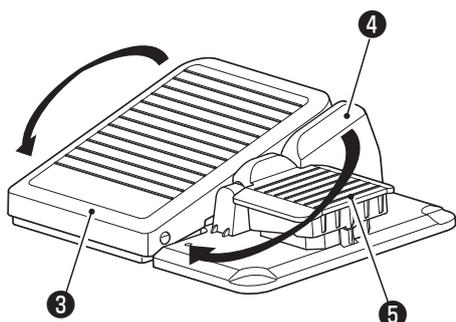
3.2. フットスイッチの位置変更

ペダルに対して、フットスイッチの左右位置を変更することができます。
お好みの位置でご使用ください。

 注意	フットスイッチの位置を変更するときは、コントローラーのプラグを抜いてください。
---	---

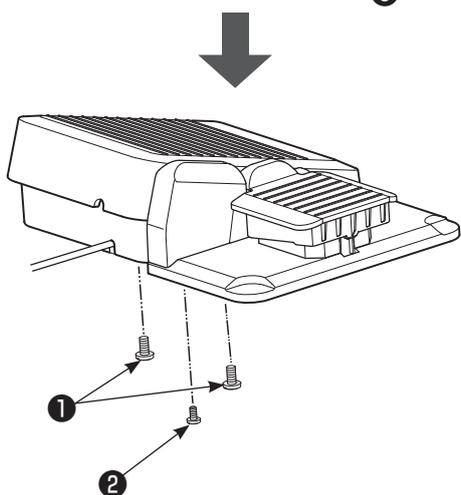


1 ペダル止めネジ①、ブロック止めネジ②を外します。

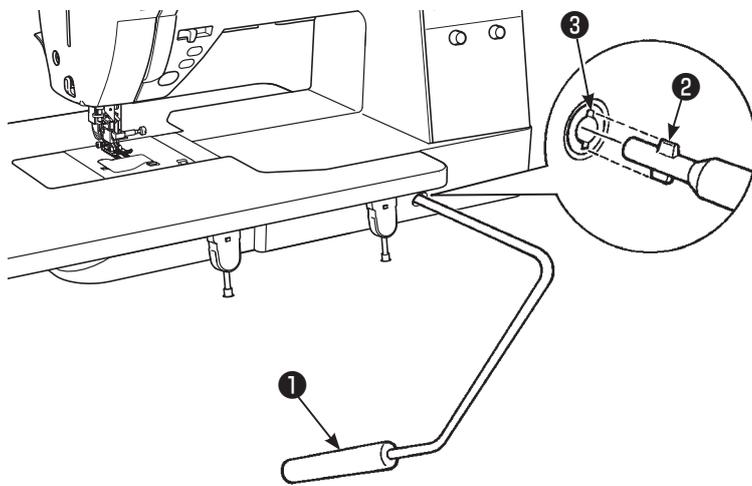


2 ペダル③とブロック④を逆向きにして反対側に取り付け、ペダル止めネジ、ブロック止めネジを締めます。

⑤フットスイッチ



3.3. ひざ上げレバーの取り付け



ひざ上げレバー①の凸部②を取り付け穴の凹部③に合わせ、差し込みます。

4. 基本設定・基本操作

4.1. 電源の入れ方

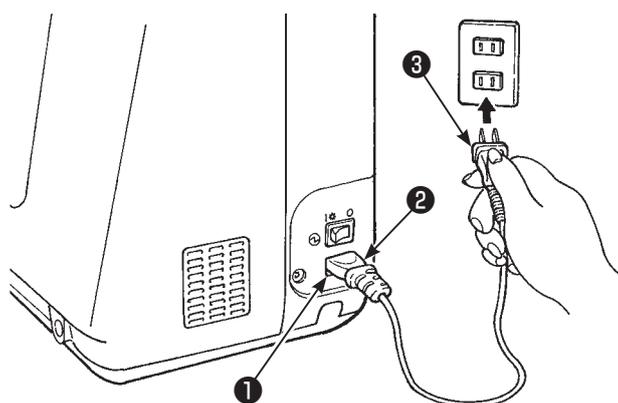
警告

- 電源は、一般家庭用交流電流 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(O側)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。

■コードをつなぐ

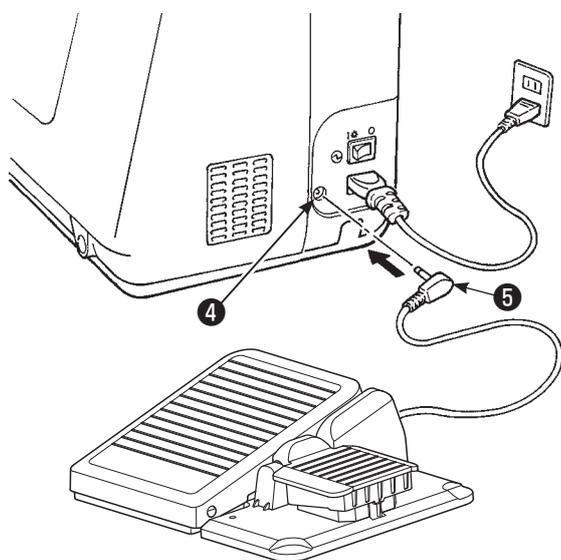


①電源スイッチを「切」(O側)にします。



●スタート・ストップボタンを使用する場合

②電源コード差し込み口①に電源コード②を差し、電源プラグ③をコンセントに差し込みます。



●フットコントローラーを使用する場合

②フットコントローラーのプラグ⑤をプラグ差し込み口④に差し込みます。

③電源コード差し込み口に電源コードを差し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

※フットコントローラーを使用する場合

スタート・ストップボタンは

- スタートするとき：作動しません
- ストップするとき：作動します

■電源を入れる



電源スイッチを「入」(I側)にします。

※電源を入れると、押えが自動的に上がりますのでご注意ください。

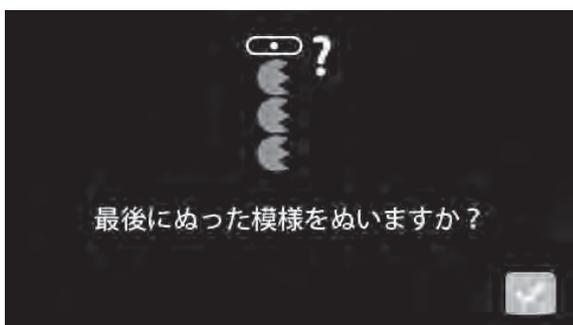


電源を入れると左の画面が表示されます。

を押すと針が動き、左の画面が消えます。



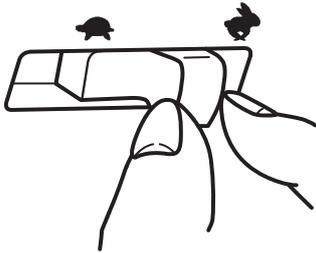
針の下に指を入れないでください



オプション設定の起動時設定で、直前の模様を維持する設定をしている場合は、左のメッセージが表示されます。

4.2. 速さの調節

■スピードコントロールつまみ

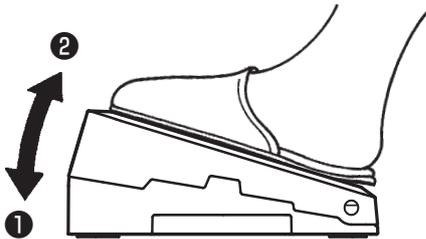


ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由に調節できます。

👉 : はやくなる

👈 : おそくなる

■フットコントローラー



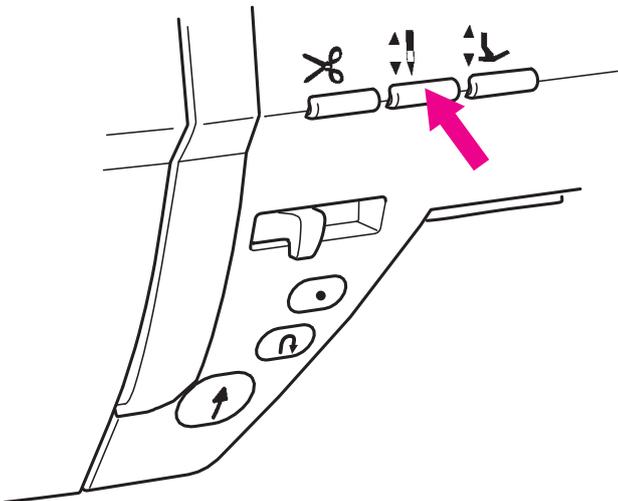
フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。スピードコントロールつまみで、速度の上限を設定できます。

① 深く踏む → はやくなる

② 浅く踏む → おそくなる

※ フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。また、フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。

■低速イン칭ングぬい



針上下スイッチを長押しすると、低速でぬうことができます。

ぬい始め速度設定

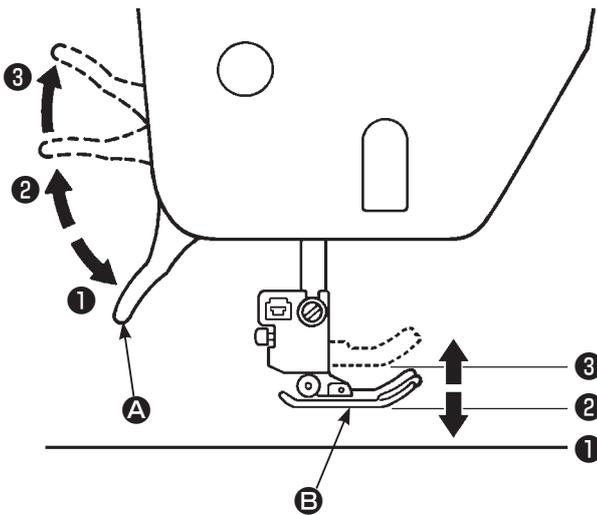
オプションの設定で、ぬい始めの速度を変更することができます。(56 ページ参照)

返しぬい速度設定

オプションの設定で、返しぬいの速度を変更することができます。(56 ページ参照)

4.3. 押えの上げ下げ

■押え上げレバー



押え上げレバー **A** で、押え **B** の上げ下げを行います。普通に上げた位置よりさらに上げることもでき、厚物の布地を入れるときに便利です。

押え上げレバーで押えを上げた後も、押え上下ボタンで押えを下げるすることができます。

- ① 下げた位置……………ぬうときは、下げておきます。
- ② 普通に上げた位置……布地の取り出しや、押えの交換のときに上げます。
- ③ さらに上げた位置……二段上げで、厚い布地などが入れやすくなります。

※針が下がっている位置で二段上げをしようとすると、押えと針止めネジが当たることがありますのでご注意ください。

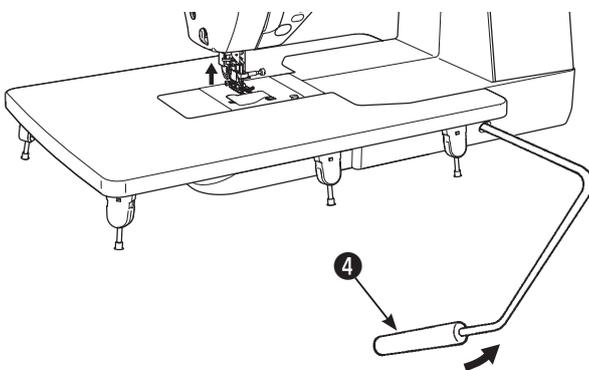
■押え上下ボタン



押え上下ボタンを押すと、押えを上げ下げすることができます。(9 ページ参照)

押え上下ボタンで押えを上げた後も、押え上げレバーを一度 ③ の位置まで上げると、押え上げレバーで操作できるようになります。

■ひざ上げレバー



手を使わずにひざを使って押えの上げ下げができます。

ひざ上げレバー ④ を右側に押すと押えが上がり、戻すと押えが下がります。

押え上下ボタンで押えを上げた後も、ひざ上げレバーを一番右まで押すと、ひざ上げレバーで操作できるようになります。

※ぬい途中は、ひざ上げレバーに触れないようにしてください。押えが上がり、模様くずれの原因になります。

■自動押え上げ



ピボット設定

ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定することができます。



糸切り後押え上げ設定

糸切り後に自動で押えを上げることができます。

●押え上げ時の自動送り歯下げ

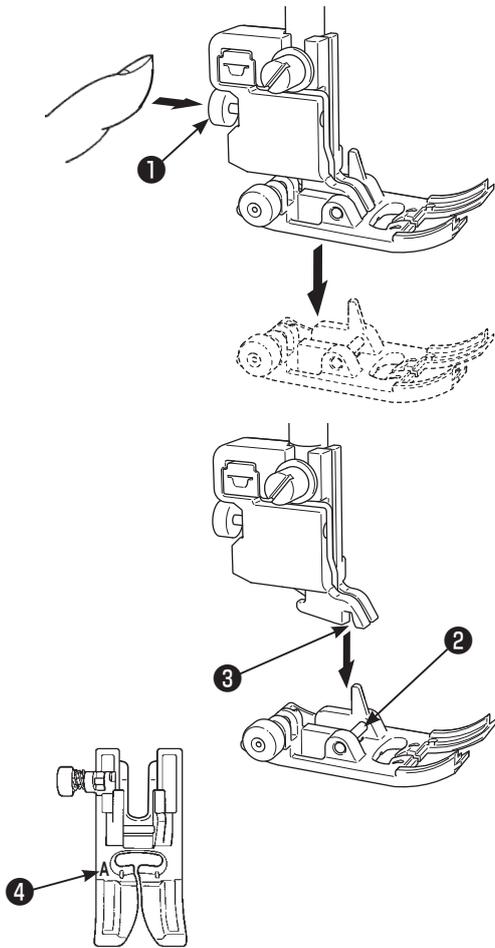
押え上げレバーまたは押え上げボタンで押えを上げると、自動で送り歯が下がります。

布地の出し入れのときに送り歯が引っ掛からないため、出し入れが容易になり、布地にキズも付きません。

※「糸切り後押え上げ設定」では、送り歯は下がりません。

4.4. 押えの交換

■押えの取りかえ



⚠ ロックモード

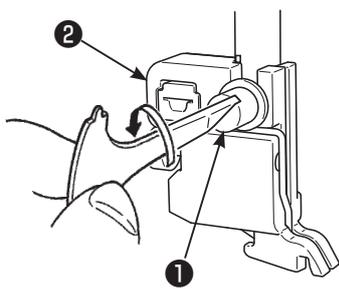
●押えの外し方

針を上げます。
押え上げレバーを上げます。
押え交換ボタン①を押して、押えを外します。

●押えの取り付け方

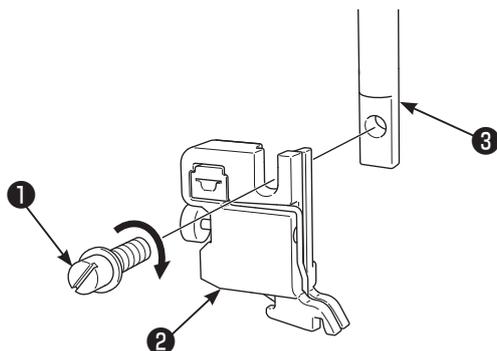
押えのピン②と押えホルダーの溝③を合わせます。
押え上げレバーを下げます。
※押え記号④を確認し、模様にあったものを使用します。

■押えホルダーの外し方、付け方



●押えホルダーの外し方

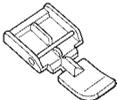
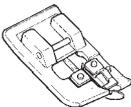
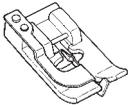
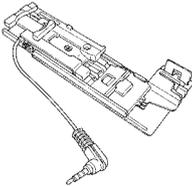
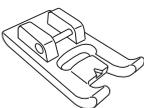
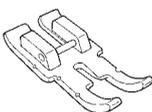
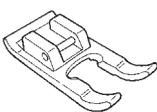
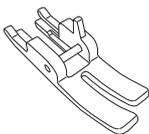
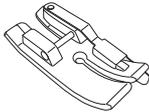
針を上げます。
押えを上げます。
押えホルダー締めネジ①を左に回して外し、押えホルダー②を外します。



●押えホルダーの取り付け方

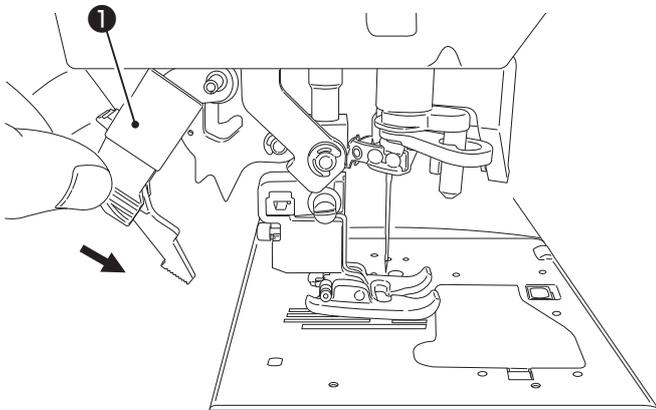
押え棒③の取り付け穴に押えホルダー②の穴を合わせます。
押えホルダー締めネジ①を右に回してしっかり取り付けます。

■押えの種類と用途

	押え記号	
	A	直線やジグザグをぬうときに使います。 特に厚物をぬうときは、このA押えをご使用ください。
	B	ファスナーをぬいつけるときに使います。
	C	布地のほつれを防止する裁ち目かがり模様をぬうときに使います。
	D	ズボンやスカートの裾、袖口などまつりぬいをぬうときに使います。
	E	自動でボタン穴かがりをぬうときに使います。 左右のバランスや形状をきれいにぬい上げる特殊な機能が備わった押えです。
	I	模様ぬいや文字ぬい、かん止めに使います。 手動のボタン穴かがり模様（模様 No.402, 403）をぬうときにも使います。
	P	針落ち位置（中基線）から 1/4 インチ、1/8 インチの目安になります。
	O	押えの前側が開いているので、針落ち位置が見えやすくなります。
	Q	キルトのフリーモーションをぬうときに使います。 （中基線直線用） ルーラーも使えます。
	S	直線用針板を使用するときに使います。
	7	ピーシング用にぬいしろ 7 mm または 1/4 インチのガイドがついています。

4.5.「JUKI スマートフィード」のセットと解除

一般にミシンで送りにくい素材（ニット、ジャージー、ビニールクロス、人工皮革など）や、ぬいずれがおりやすい布地（キルティングなど）をぬうときに使います。使える模様が限られます。

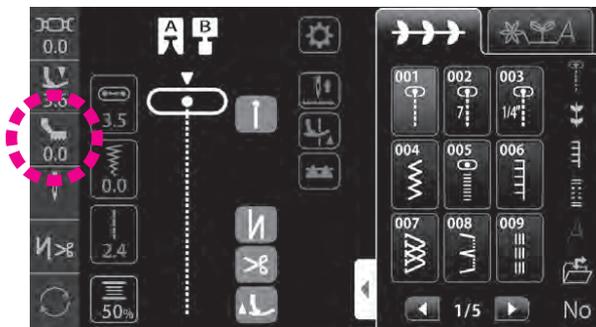


●「JUKI スマートフィード」のセット

押えを上げます。

「JUKI スマートフィード」①をつまんで下までしっかり下ろします。

「JUKI スマートフィード」をセットすると画面にアイコンが表示されます。



●「JUKI スマートフィード」の調整



を押します。

アイコンを押して「JUKI スマートフィード」の調整をします。（設定範囲：-5.0～5.0）

上送りの量が小さくなります

上送りの量が大きくなります



青枠を押すと初期値に戻ります

スライドバーを左右にスライドさせることでも調整できます。

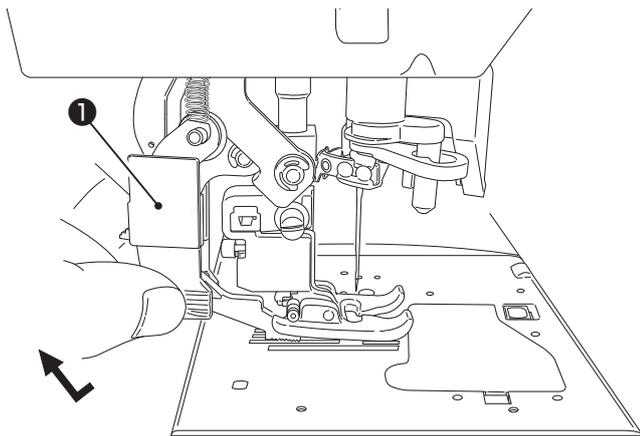


を押すと設定が確定します。

●「JUKI スマートフィード」の解除

押えを上げます。

「JUKI スマートフィード」①をつまんで下に引き、後方に押し、ゆっくり上に戻します。



4.6. 針板・送り歯の交換

通常の針板・送り歯と直線用針板・送り歯を、交換することができます。

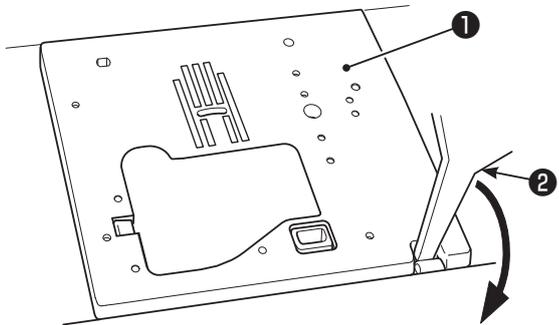
布端からぬい始める場合、直線用の針板・送り歯にすると、布地が穴にもぐり込まずぬいやすくなります。

⚠ 電源 OFF または ロックモード

●針板の取り外し

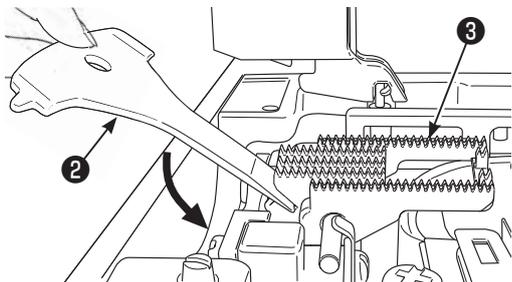
押えと針を取り外します。

針板**①**手前の溝に専用ドライバー**②**を差し込み、押し下げると外れます。



●送り歯の取り外し

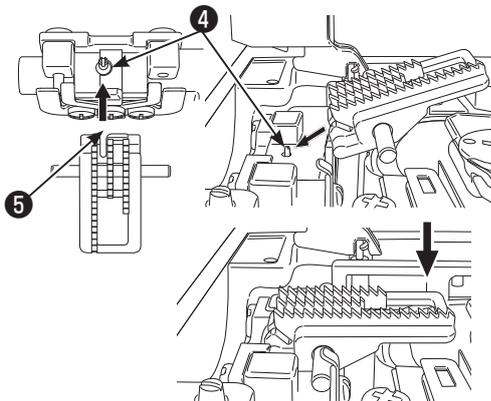
送り歯**③**の後ろにある溝に専用ドライバー**②**を差し込み、押し下げると外れます。



●送り歯の取り付け

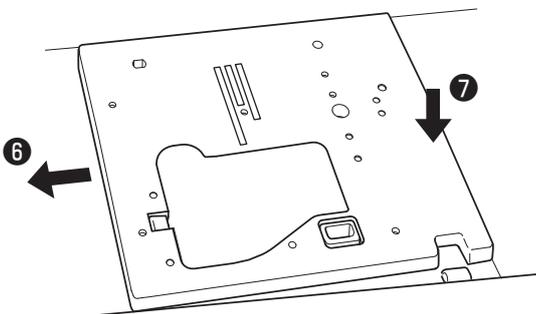
図の角度でピン**④**が送り歯後ろ側の溝**⑤**にはまるように入れます。

送り歯前側を押し下げて送り歯を水平にします。



●針板の取り付け

針板左側を下に傾けながら入れ**⑥**、右側中央を押し下げてしっかりはめ込みます**⑦**。



●直線用針板で利用できる模様

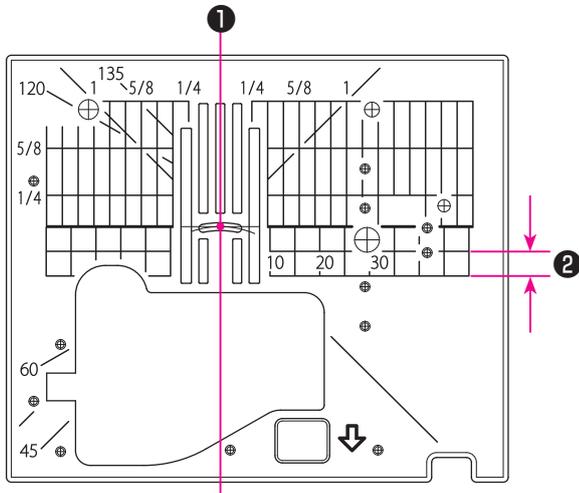
直線用針板に交換した後は、利用できる模様のみ選択することができます。

001	009	011	391	392	393

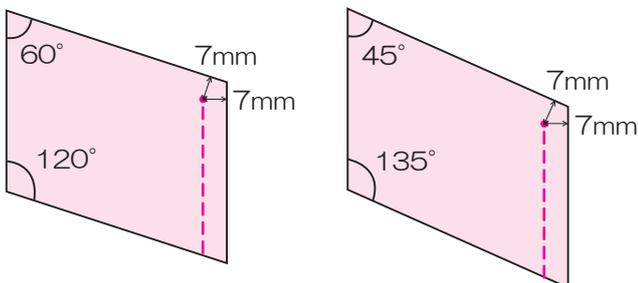
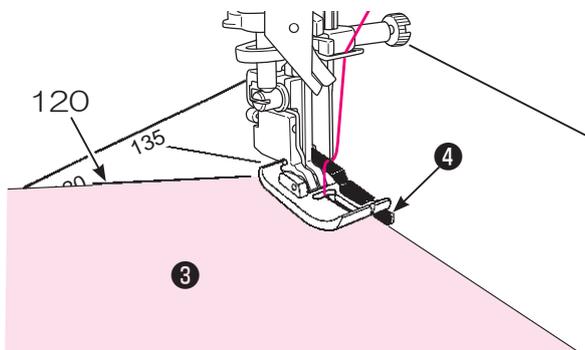
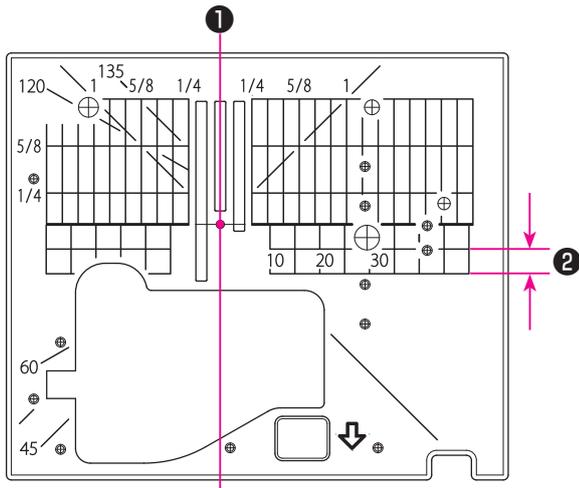
4.7. 針板ガイドの使い方

針板には布地のぬい位置を決めるための便利なガイドが表示されています。

● 通常の針板



● 直線用の針板



● ガイドライン

布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置をぬうことができます。

- ① 中基線基準
- ② 5mm

※ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインまでの間隔を「ミリメートル」または、「インチ」で示しています。

10、20、30の数字は mm (ミリメートル)
1/4、5/8、1の数字は inch (インチ)

● 角度目盛り

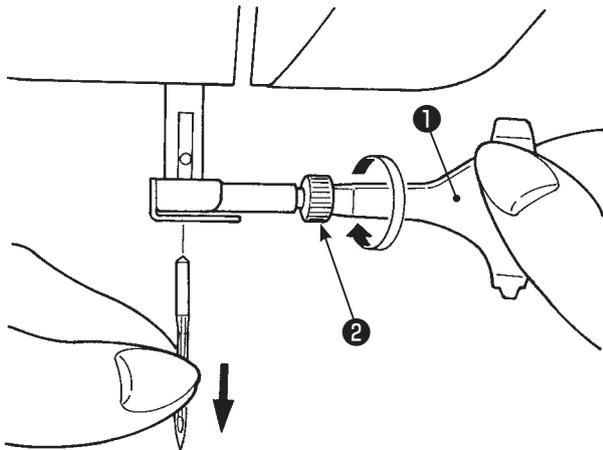
角度目盛りはパッチワークのピース作りに使うと便利です。

パッチワーク布地（ピース）③の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、印なしでぬいしろ7mmのぬい始めまたはぬい終わりの位置がわかります。

- ④ ガイド

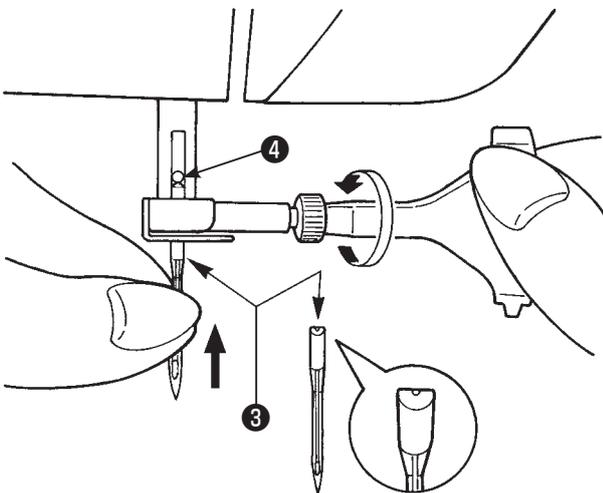
4.8. 針の交換

⚠ 電源 OFF または ロックモード



●針の外し方

針を最上部に上げ、押えを下げます。
専用ドライバー①で針止めネジ②を手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

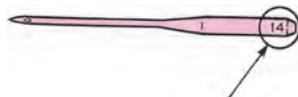


●針の取り付け方

針の平らな面を向こう側(③)に向けて、ピン④に当たるまで差し込みます。
針止めネジを確実に締めます。
※針が正しい向きでないと、取り付けません

●針の選び方

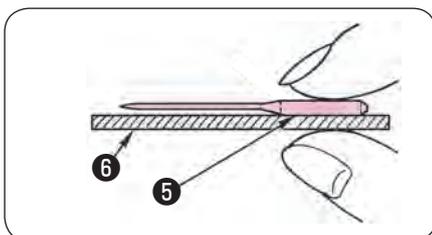
針をお買い求めの際は、
家庭用ミシン針のHA×1、
またはHA×1 SP (ニット針)
を指定してください。



太さの番号表示

数字が大きくなると針が太くなります。
一般的に、厚い布地をぬう場合は太い針、
薄い布地をぬう場合は細い針を使用します。

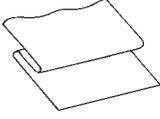
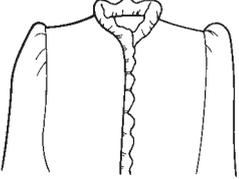
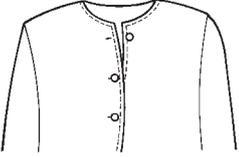
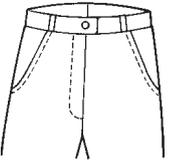
●針の調べ方



針の平らな面⑤を平らな物(針板など)⑥に置いたとき、
すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

⚠ 注意： 針が正しく取り付けられていなかったり、
曲がった針を使うと、針折れの原因になることがあります。
ミシンの故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

4.9. 布地に合った糸と針の選び方

	布地 	ミシン糸 	ミシン針  HAX1
薄地ぬい 	ローン	シルク形状糸 ……80番・90番 スパン糸 ……80番・90番	11番
	ジョーゼット		
	トリコット	スパン糸 ……60番～90番	ニット針 11番
	ウール・化繊布	シルク形状糸 ……80番 スパン糸 ……60番～90番	11～14番
普通地ぬい 	普通木綿・化繊布	スパン糸 ……50番・60番	11～14番
	薄手ジャージー	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	ニット針 11番
	一般ウール・化繊布	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	11～14番
厚地ぬい 	デニム	スパン糸 ……30番～50番	14～16番
	ジャージー	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	ニット針 11～14番
	コート	シルク形状糸 ……50番	11～14番

※ 通常、上糸と下糸は同じ糸を使います。

※ 薄い布地には細い糸と細い針、厚い布地には太い糸と太い針を使います。

※ 針や糸は、実際にぬう布地のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめます。

※ 伸縮性のある布地（ニット地）や、目とびしやすい化繊地をぬうときは、ニット針を使うと効果があります。

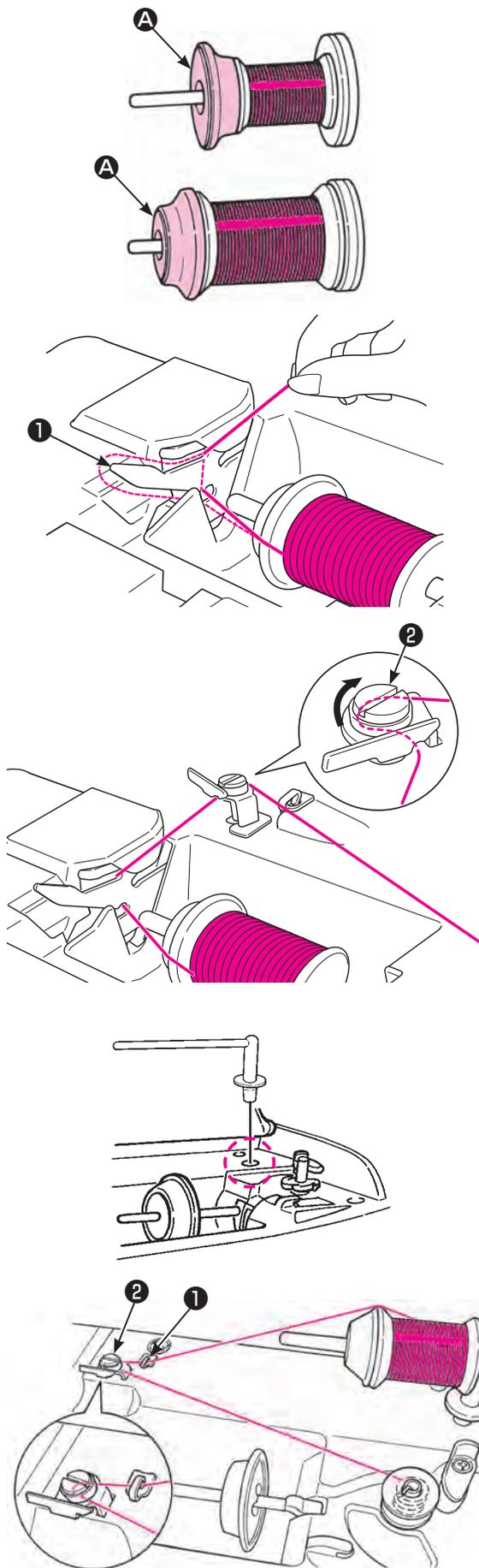
※ 30番～90番の糸をご使用ください。

※ 段部など乗り越えにくい箇所は、手を添えてください。

※ 「キルト模様」「かざり模様」「文字」をぬうときは、ニット針を使うとよりきれいな仕上がりになります。

4.10. 下糸の準備

■ポビンへの糸巻き



⚠ 電源 OFF

●糸立棒を使う場合

1 糸立棒に糸ゴマをセットします。

糸巻き当て座 **A** は大・中・小の3種類あります。
糸ゴマのサイズに合わせて選び、向きを変えて使います。

※糸ゴマの糸残りが少ないものは、糸がらみや糸抜けの原因になる可能性がありますのでご注意ください。

2 糸を糸案内**①**にかけます。

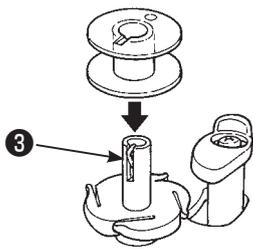
3 糸巻き糸案内**②**に糸をかけます。 両手で糸を引いて、糸巻き糸案内の奥まで入れます。

●補助糸立棒を使う場合

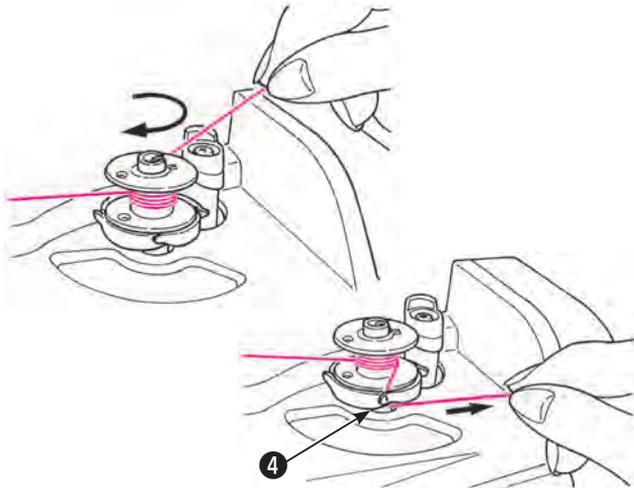
1 付属の補助糸立棒を立てます。

2 補助糸立棒に糸ゴマをセットします。

3 糸を糸案内**①**にかけた後、糸巻き糸案内**②**にかけます。 両手で糸を引いて、糸巻き糸案内の奥まで入れます。



4 ボビンを糸巻き軸③に差し込みます。

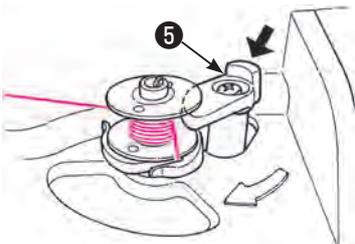


5 糸巻き糸案内からの糸がたるまないようにして、ボビンに時計回りに4～5回巻き付けます。

糸の端をボビン受け座のガイド④に引っかけて右に引き、糸を切ります。

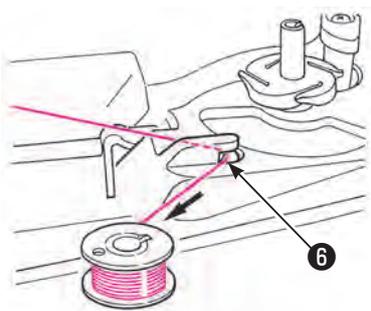


6 電源スイッチを入れます。



7 ボビン押え⑤をボビンの方に押しつけるとボビンが回転し始めます。

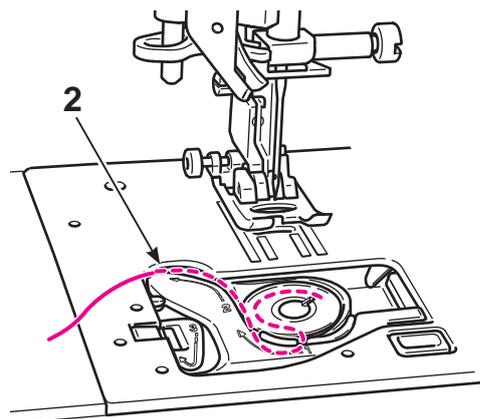
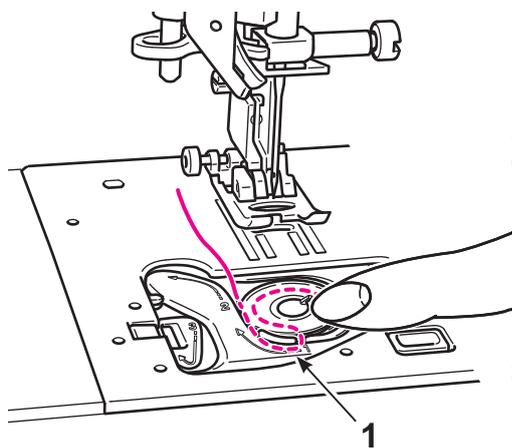
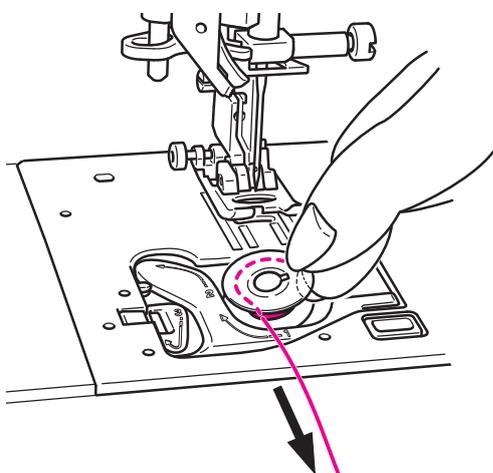
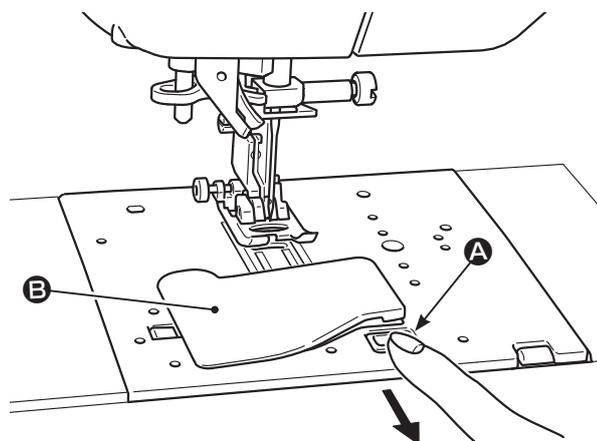
※ ボビン押えがスイッチの代わりになっています。ご注意ください。



8 巻き終わると自動的に止まり、ボビン押えが右に移動して、もとの位置に戻ります。ボビンを糸巻き軸から外して、カッター⑥で糸を切ります。

※ 糸巻き中に糸からみなどで、糸巻きモーターに負荷がかかり回転が下がると、自動的に止まります。

■ボビンのセット



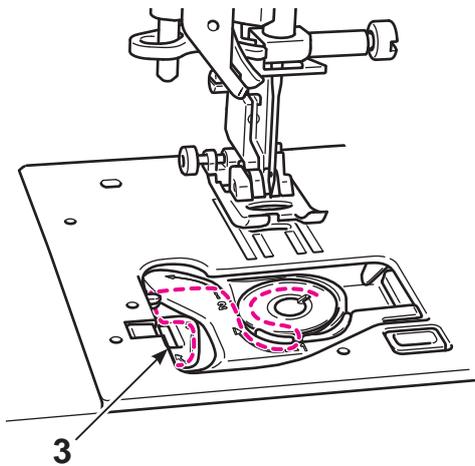
! 電源 OFF

1 かまカバー開閉ボタン **A** を手前に引き、かまカバー **B** を外します。

2 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内かまに入れます。
※ボビンの糸の巻き方向を左巻きにします。

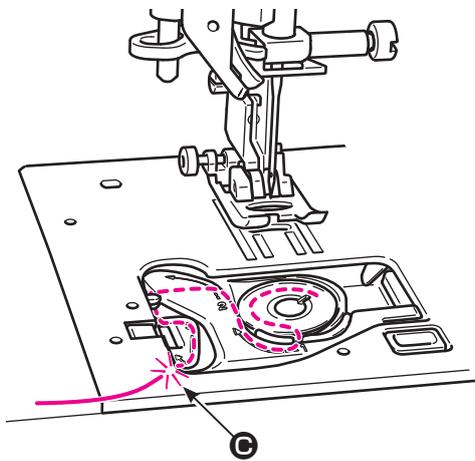
3 指でボビンを押えながら糸を引き、手前のみぞ **1** にかけます。

4 糸を引きながらガイド **2** にかけます。

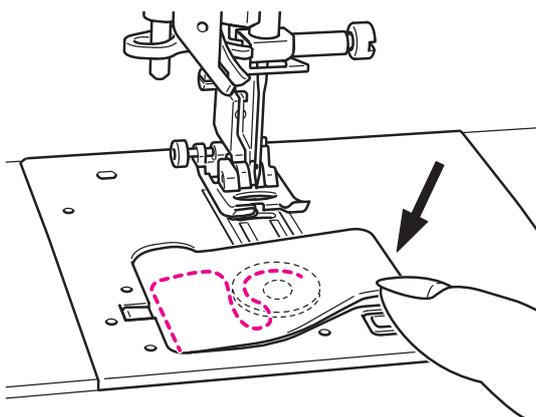


5 糸を3にかけます。

※糸を引き出したとき、ポビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ポビンの向きを上下逆に入れ替えてください。



6 内蔵カッター④で糸を切ります。

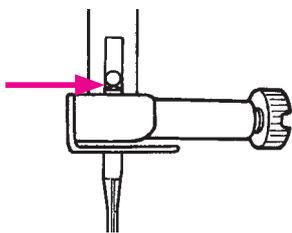


7 かまカバーを閉じます。

下糸は引き出さず、このままぬい始めることができますが、下糸を引き出してからぬう場合は上糸を通して「下糸の引き上げ方」(37ページ)を参照し、下糸を引き出してください。

4.11. 上系の準備

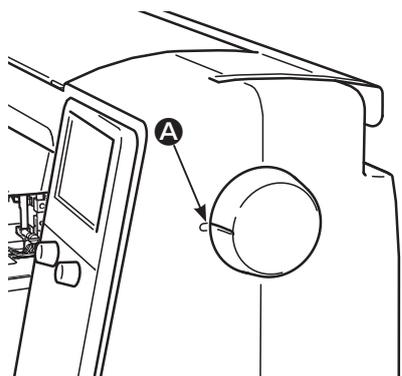
■準備



1 針が一番上まで突き当たっていることを確認します。

針が正しく取り付けられていないと、針自動糸通しで糸が通りません。

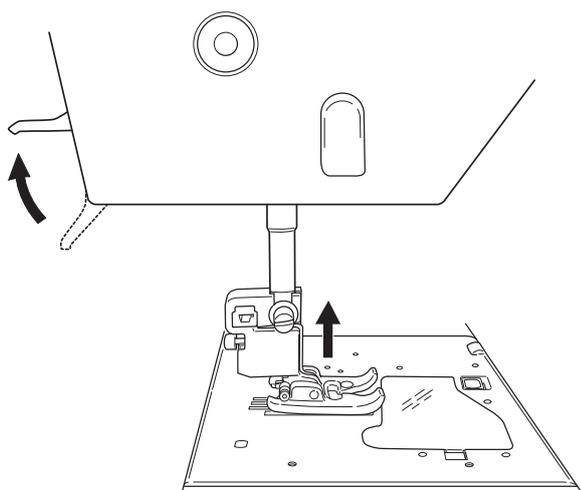
※針は 11 番～16 番、糸は 30 番～90 番をご使用ください。



2 はずみ車の指標 **A** を合わせます。



3 電源スイッチを入れます。



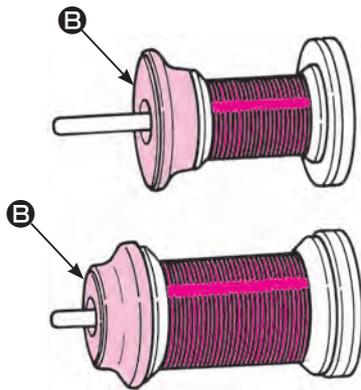
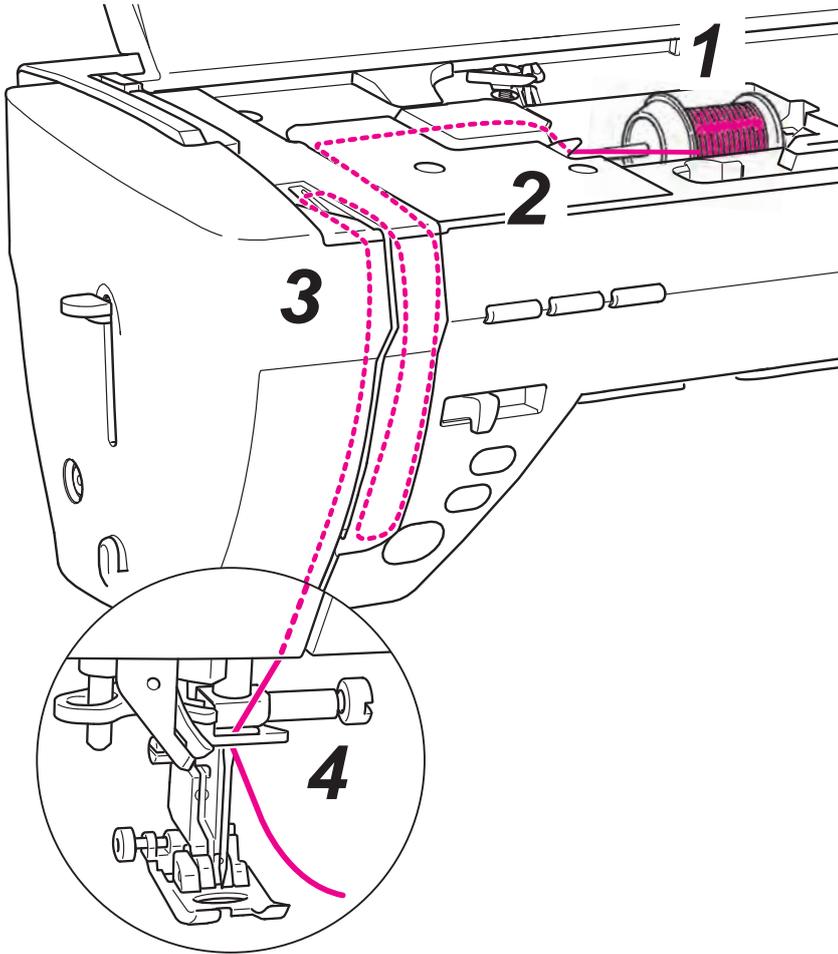
4 押えを上げます。

※電源が入り、かつ押えが上がっていないと、正しく糸をかけることができません。



5 ロックキーを押してロックモードにします。

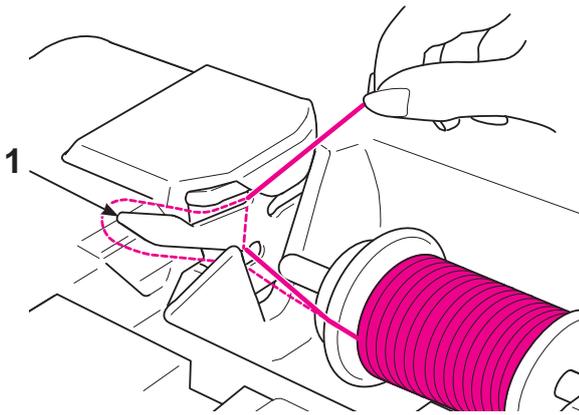
■上糸かけ



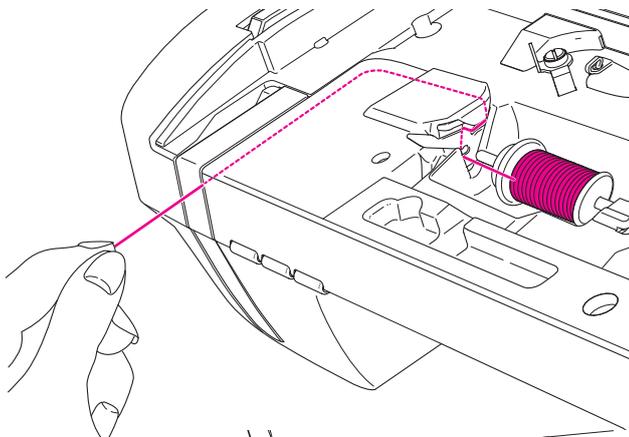
1 糸立棒に糸ゴマをセットします。

糸巻き当て座 **B** は大・中・小の3種類あります。
糸ゴマのサイズに合わせて選びます。

※糸ゴマの糸残りが少ないものは、糸がらみや糸
抜けの原因になる可能性がありますのでご注意
ください。

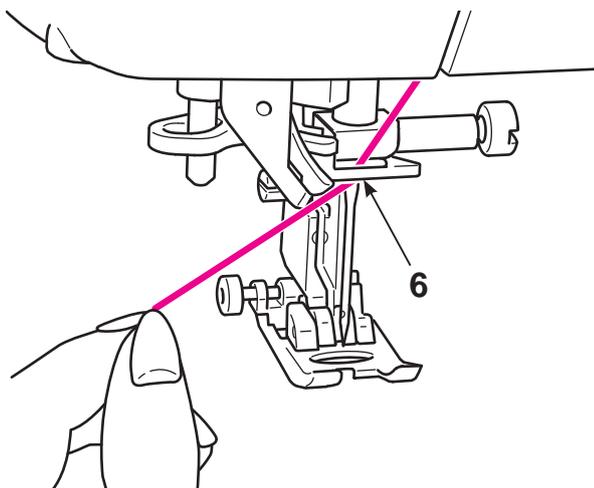
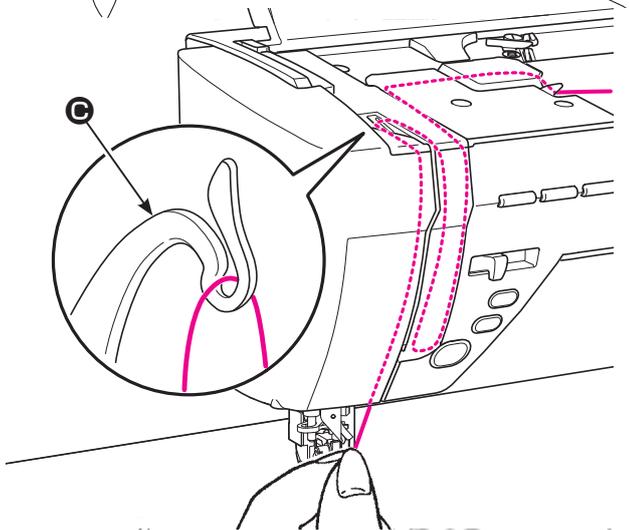


2 糸を1にかけます。



3 糸の先端をもち、矢印に沿ってかけていきます。

※天びん③に糸が正しくかかっているか確認してください。



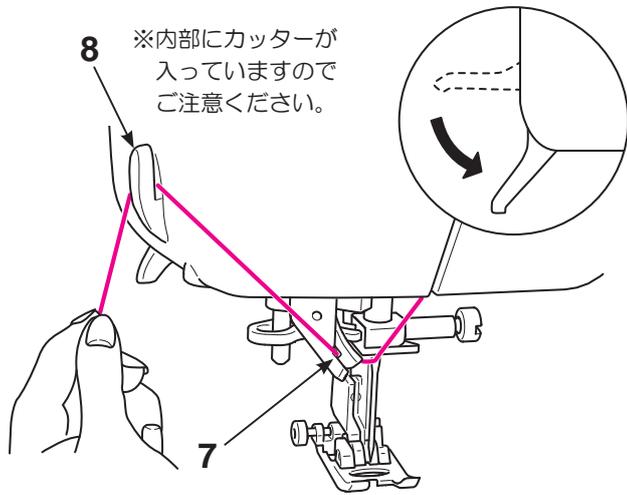
4 6は、右側からかけます。

上糸は10 cmくらい引き出しておきます。

■針自動糸通し

※2本針を使用するときには、針自動糸通しは使えません。

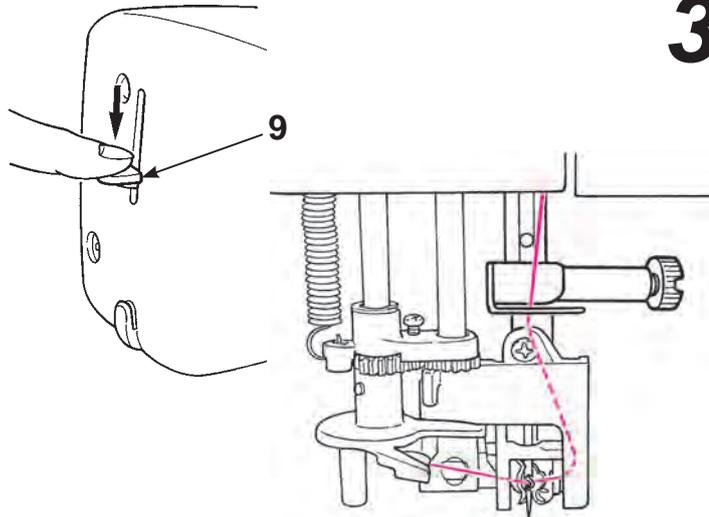
※針は11番～16番、糸は30番～90番をご使用ください。



1 押えを押え上げレバーで下げます。

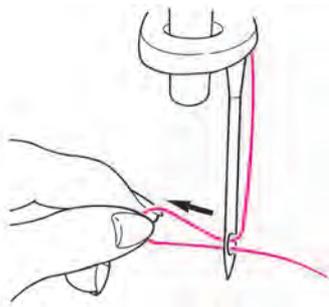
※押えが上がったままですと、糸が通らないことがあります。

2 糸を7にかけ、面部糸切り8で切ります。

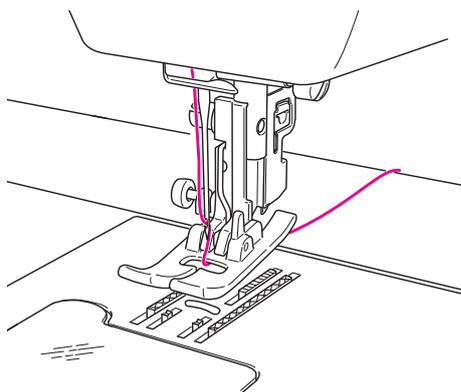


3 糸通しレバー9を、止まるまでいっぱいに下げます。

※レバーはゆっくりと下げてください。

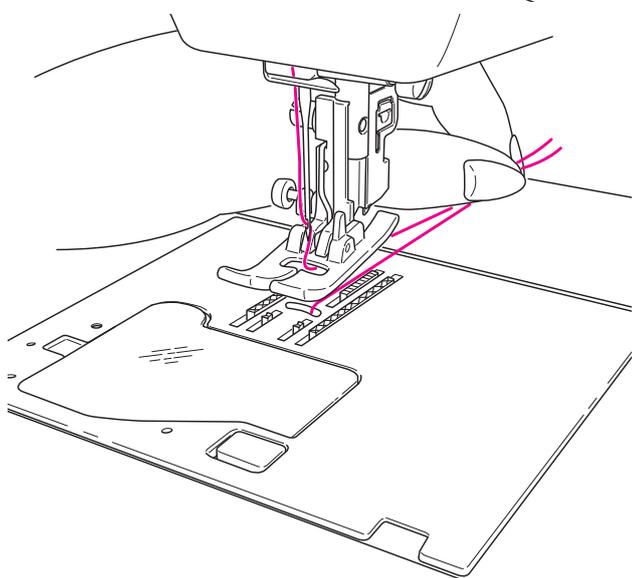
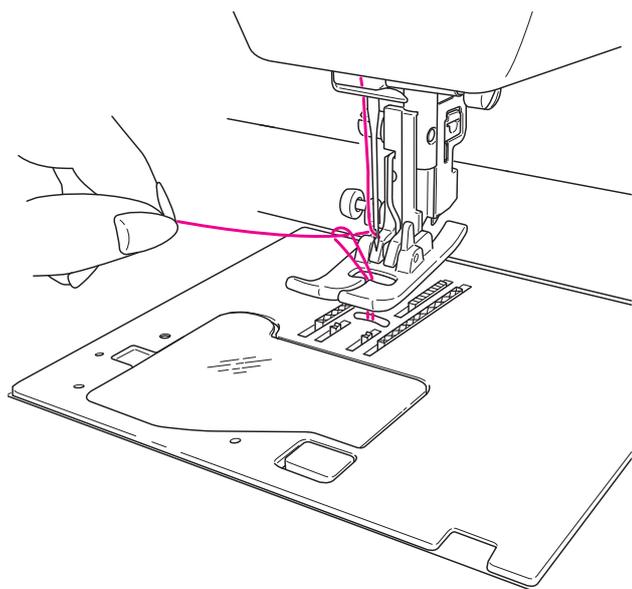
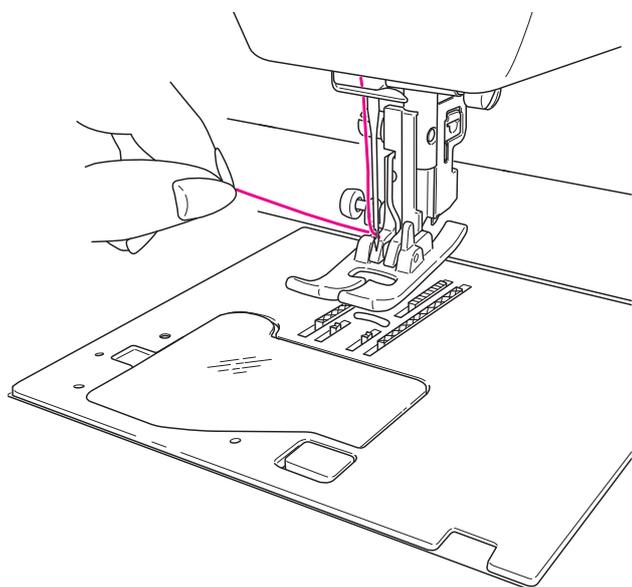


4 糸通しレバーをはなすと、糸が針に通っています。



5 押えを上げ、押えの下から糸を後ろへ10cmくらい引き出します。

■下糸の引き上げ方



下糸は引き出さず、ぬうことができますが
下糸を引き出してぬう場合は、下記のように
行ってください。

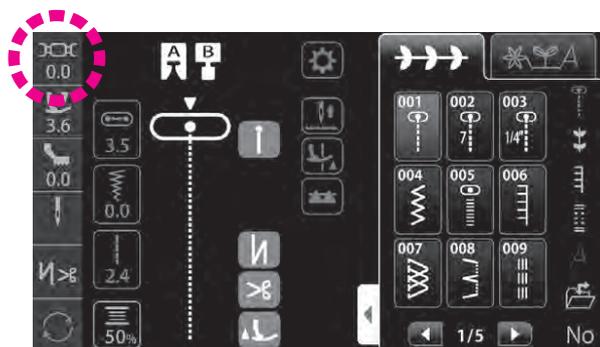
1 押えを上げ、上糸の端を軽くもちます。

2 はずみ車を手前に回し、針を上下させます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出され
ます。

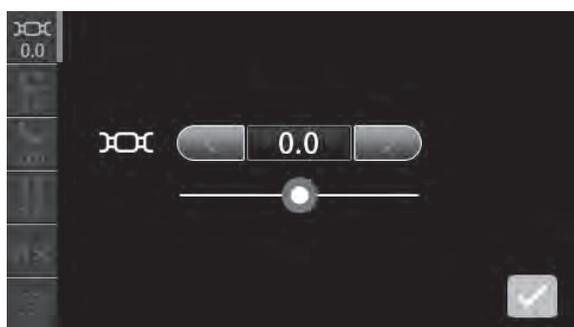
3 上・下糸を押えの下から向こう側に
約10cmほど引き出して、そろえて
おきます。

4.12. 糸調子の合わせ方

糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目のバランスがくずれ、布地にしわが寄ったり、糸が切れたりします。デフォルトの値はほとんどの布地に適応します。素材やぬい方によって、糸調子設定画面にて設定します。



 を押します。



アイコンを押して糸調子の調整をします。
(設定範囲：-5.0～5.0)

上糸調子が弱くなります
上糸調子が強くなります



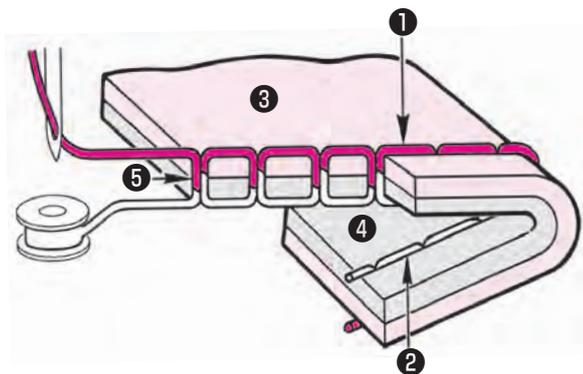
青枠を押すと初期値に戻ります

スライダーを左右にスライドさせることでも調整できます

 を押すと設定が確定します。

※模様を新たに選択すると、初期値に戻ります。

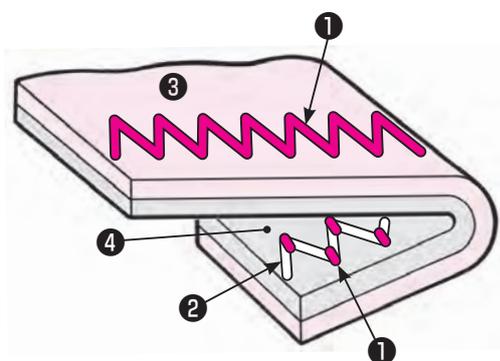
■ バランスのとれた糸調子



<直線ぬい のとき>

上糸と下糸が布地のほぼ中央でまじわります。

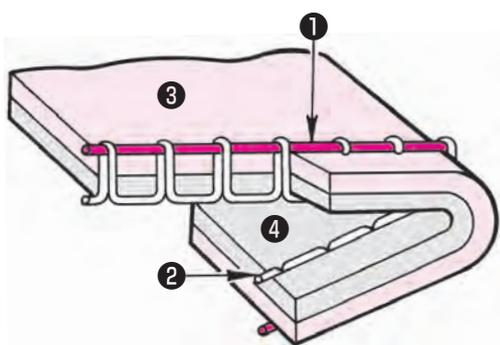
- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 布地（表）
- ④ 布地（裏）
- ⑤ 布地の中央



<ジグザグぬい のとき>

布地の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

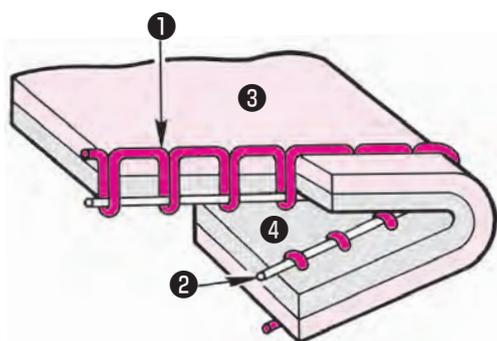
■ 上糸が強すぎるとき



下糸が布地の表に引き出されます。

◀ で数値を小さく（上糸調子を弱く）します。

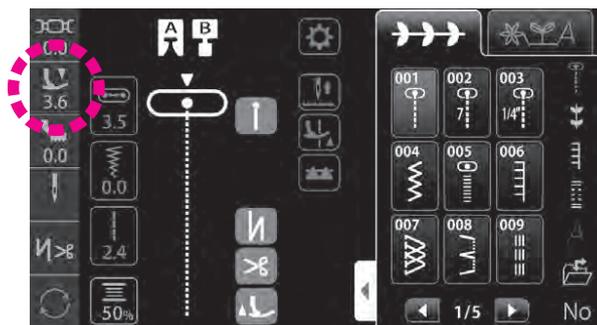
■ 上糸が弱すぎるとき



上糸が布地の裏に引き出されます。

▶ で数値を大きく（上糸調子を強く）します。

4.13. 押え圧の設定



 を押します。

アイコンを押して押え圧の設定をします。
(設定範囲：0～5)

普通ぬいのはきは、押え圧を「3.6」(初期値)にします。
薄手の化繊地や伸縮性の布地をぬうとき、アップリケやキ
ルティング、カーブぬいなど、ぬいずれしやすい場合は、
押え圧の数字を小さく(押え圧を弱く)します。



押え圧が
弱くなります

押え圧が
強くなります

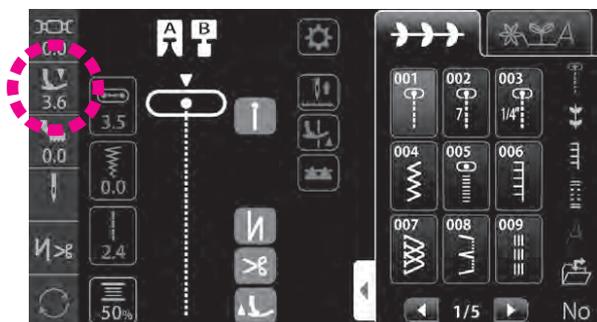


スライダーを左右にスライド
させることでも調整できます。

 を押すと設定が確定します。

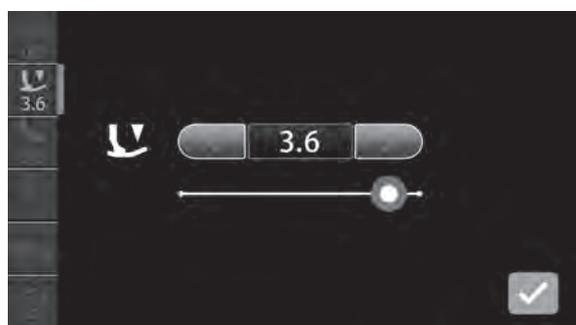
4.14. 微量押え上げ高さ設定

布地の厚さに合わせて押えを浮かせた状態でぬうことができます。
キルティングやベルベットなど、ぬいずれしやすいものをぬうときに使います。



 を押します。

押え高さの調整は「押え圧設定画面」で行います。



アイコンを押して微量押え上げ高さを設定します。
(設定範囲：-2.5～0)

押えを浮かせないときは高さを「0」にします。

  を押して、布地がほどよく押えられる高さに設定します。マイナスの値が大きいほど押えを高く浮かせられます。

実際にぬう布地と同じ布地（試しぬい用）をセットし、設定画面で高さを調整して試しぬいをします。
高く浮かし過ぎると、布地が送られず糸絡みの原因となりますのでご注意ください。

 を押すと設定が確定します。

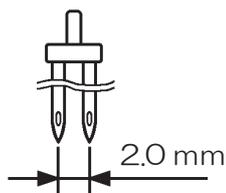
4.15. 2本針ぬい

模様 No.	押え
001, 004, 005, 009~016, 018, 020, 271~273, 280, 281, 286~288	基本押え (A) 手動ボタン穴かがり押え (I)

⚠ 注意	針や押えの交換のときは、 電源スイッチを切るか、 ロックモードにしてくだ さい。
-------------	---

2本針を使って、きれいなかざり模様をぬうことができます。

■針の交換

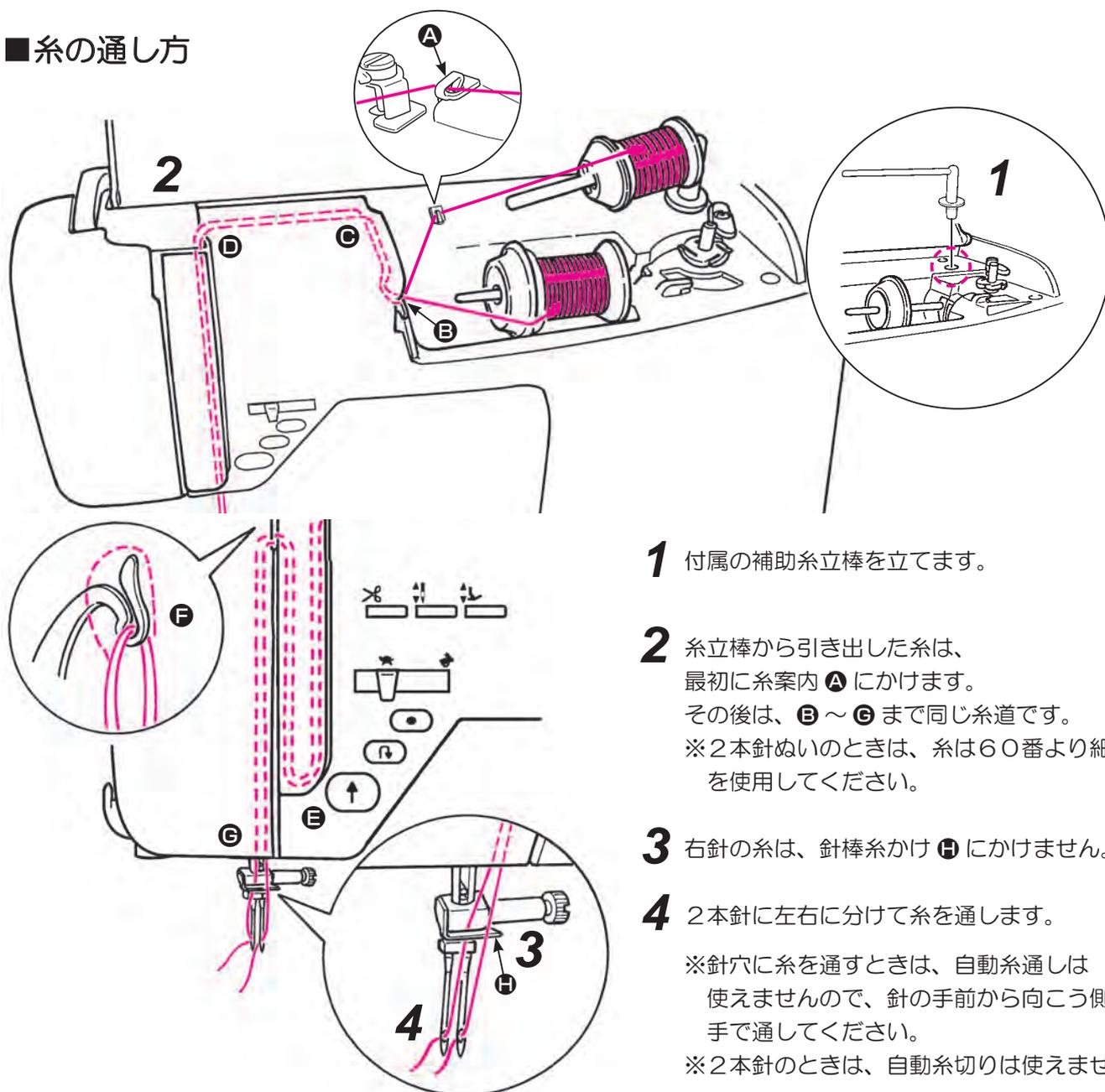


1 針を2本針に交換します。

※2本針は必ず針幅が2.0 mmの針を使用してください。

※2本針は別売品です。

■糸の通し方



1 付属の補助糸立棒を立てます。

2 糸立棒から引き出した糸は、最初に糸案内 **A** にかけます。その後は、**B** ~ **G** まで同じ糸道です。
※2本針ぬいのときは、糸は60番より細い糸を使用してください。

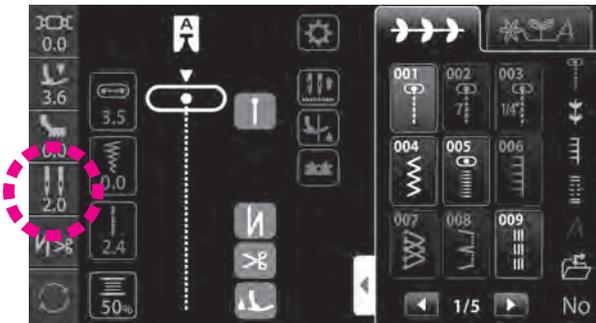
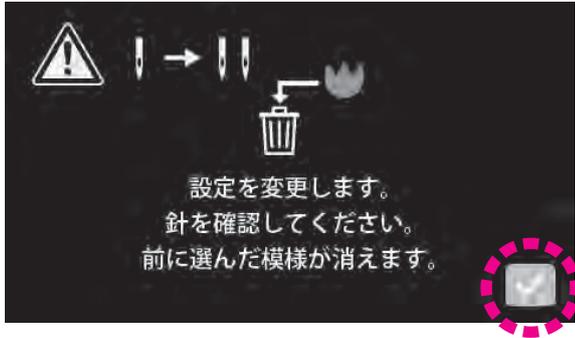
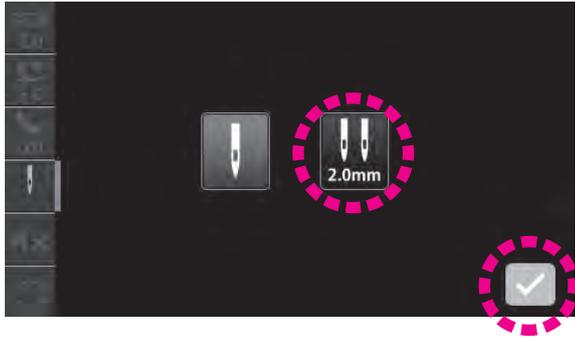
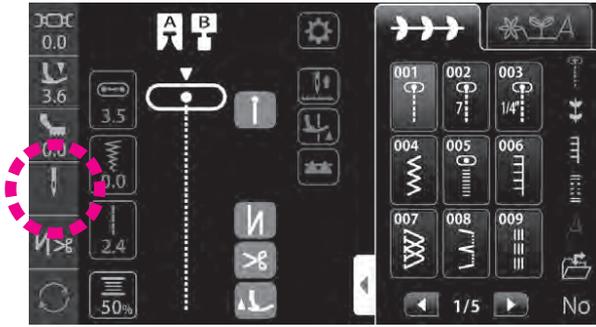
3 右針の糸は、針棒系かけ **H** にかけません。

4 2本針に左右に分けて糸を通します。

※針穴に糸を通すときは、自動糸通しは使えませんので、針の手前から向こう側に手で通してください。

※2本針のときは、自動糸切りは使えません。

■ 2本針の設定



- ※ぬい速度が少し遅くなります。
- ※記憶ぬいはできません。
- ※自動糸切りは作動しません。

■ 2本針に適した模様の選択

2本針設定にすると、2本針でぬえる模様が表示されます。

001	004	005	009	010	011	012	013	014	015	016
018	020	271	272	273	280	281	286	287	288	

注意：

2本針ぬいを行う場合は、模様を選択をする前に必ず2本針の設定を行ってください。

を押します。

を押します。

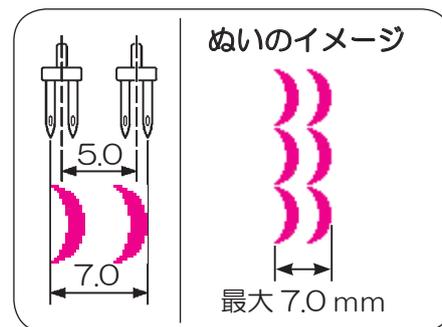
を押します。

を押すと設定が確定します。

2本針に設定されました。

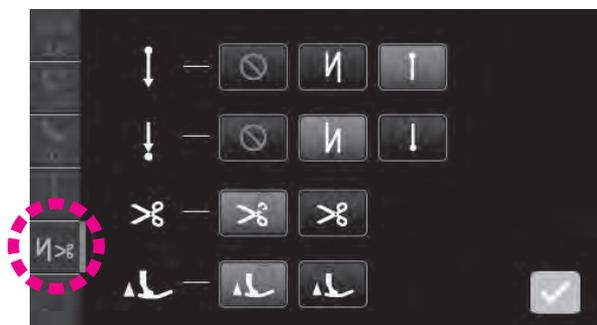
2本針設定にすると、ぬい目の幅設定が最大5mmに制限されます。

針とぬい目の関係



4.16. 自動止めぬい糸切り押え上げ設定

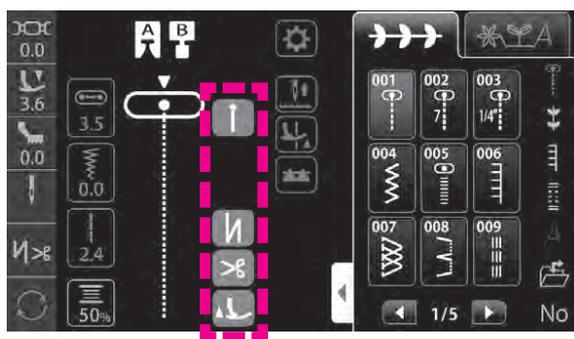
ぬい始め、ぬい終わりの止めぬいの設定、ぬい終わりの自動糸切り、糸切り後自動押え上げの設定をすることができます。



N>% を押して、各動作の基本設定をします。

	ぬい始め止めぬいの設定 3つの中から選択できます。  : OFF  : 返しぬい  : 玉止め
	ぬい終わり止めぬいの設定 3つの中から選択できます。  : OFF  : 返しぬい  : 玉止め
	止めぬい糸切り設定  : OFF 糸切りをしません  : ON 糸切りをします
	糸切り後押え上げ設定  : OFF 糸切り後押えを上げません  : ON 糸切り後押えを上げます

 を押すと設定が確定します。

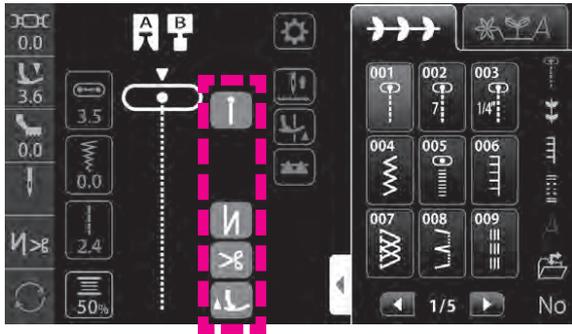


●タッチパネル表示

	ON	OFF
ぬい始め止めぬい	 	 
ぬい終わり止めぬい	 	 
止めぬい糸切り		
糸切り後押え上げ		

※ ぬい始め、ぬい終わりに返しぬいを設定している状態でかざり模様などを設定すると、返しぬいは止めぬいに切り替わります。

●縫製時の操作

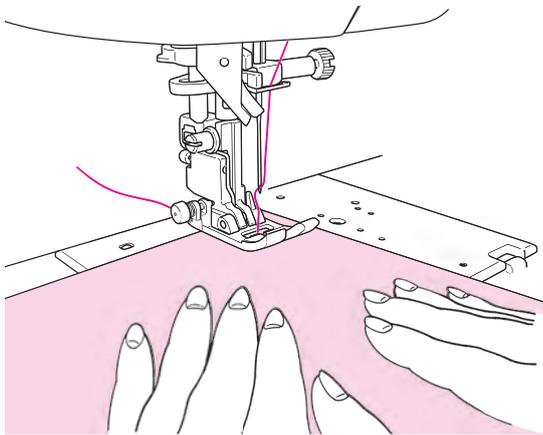


1 模様を選びます。

2 画面に表示されている設定を確認します。

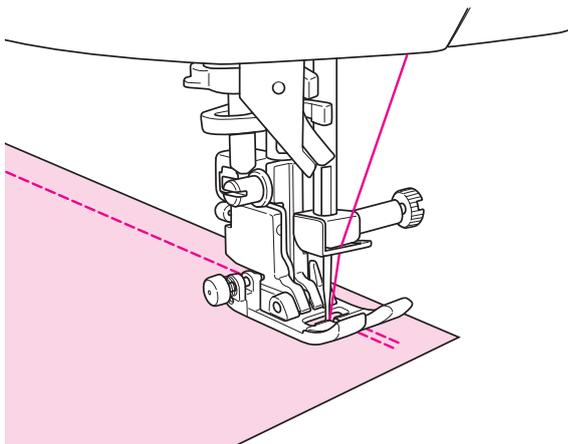
※ かざり模様などを設定したときは、画面表示が

  でも止めぬいが行われます。



3 ぬい始め

布地をぬい始める位置に入れスタートさせます。
ぬい始め止めぬい設定をしているときは、返しぬい、
止めぬいボタンは作動しません。

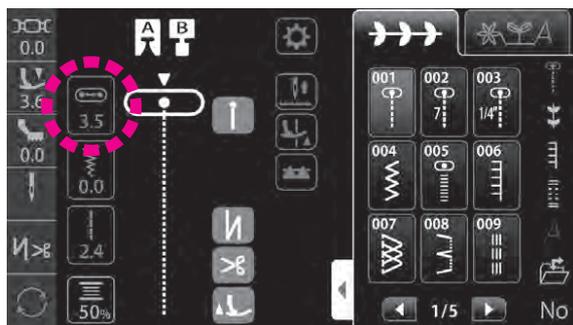


4 ぬい終わり

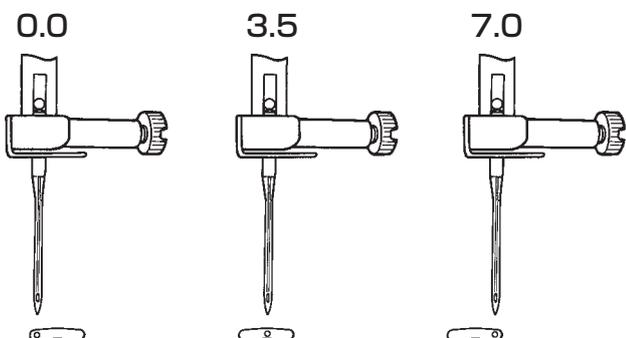
設定している止めぬいに合わせたボタンを押します。
( / )
設定している止めぬいと異なるボタンを押した場合、
設定している止めぬいが行われます。

4.17. 針基線／ぬい目の幅・長さの変更

■針基線位置を変えるとき



調節ダイヤル（左）



- ①  を押します。

調節ダイヤル（左）の調整項目が「針基線」になります。

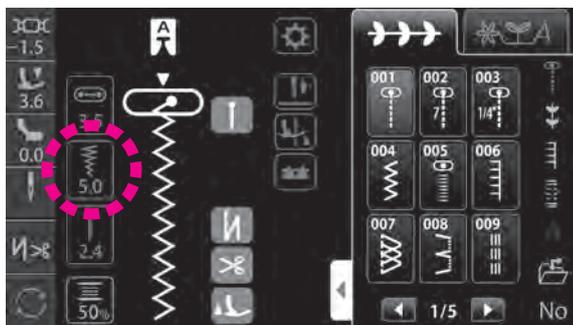
- ② 調節ダイヤル（左）で針基線を変えます。
左へ回すと、針が左へ移動します。
右へ回すと、針が右へ移動します。

左端が「0.0」、右端が「7.0」です。

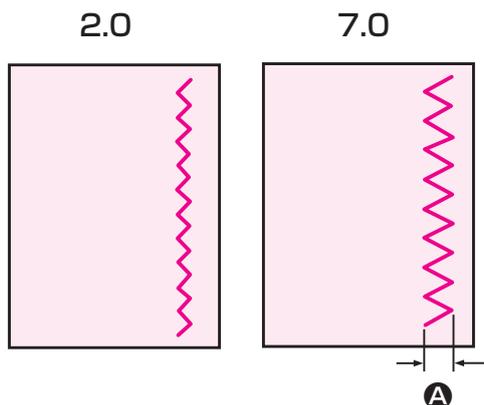
針基線は  の ▼ で示されます。

画面の数値：ミリメートル

■ぬい目の幅を変えるとき



調節ダイヤル（左）



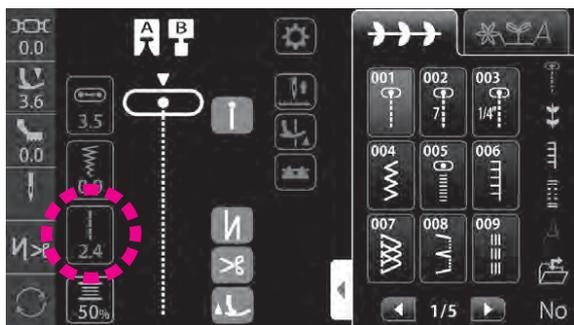
- ①  を押します。

調節ダイヤル（左）の調整項目が「ぬい目の幅」になります。

- ② 調節ダイヤル（左）でぬい目の幅 **A** を変えます。
左へ回すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。
右へ回すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅が広くなります。
ぬい途中でも調整できます。

画面の数値：ぬい目の幅の目安（ミリメートル）

■ぬい目の長さを変えるとき



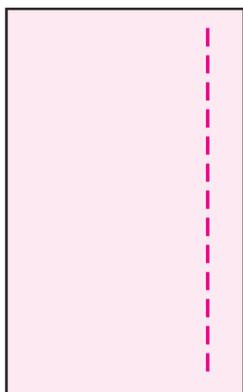
調節ダイヤル（右）でぬい目の長さを変えます。
左へ回すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が短くなります。
右へ回すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目が長くなります。

画面の数値：ぬい目の長さの目安（ミリメートル）

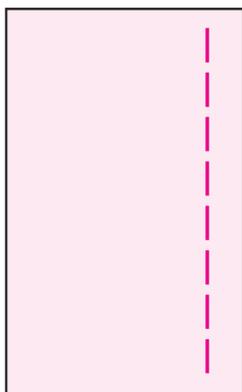
調節ダイヤル（右）



1.0

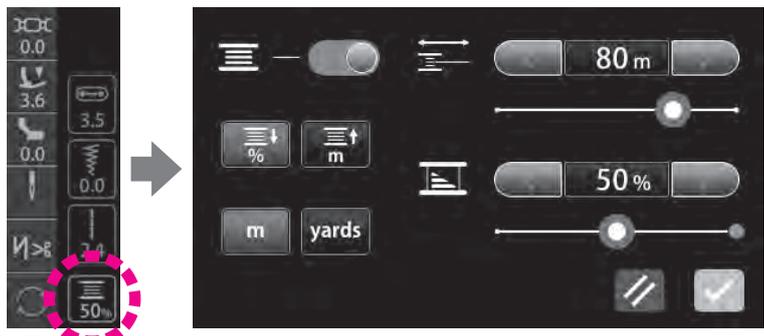


5.0

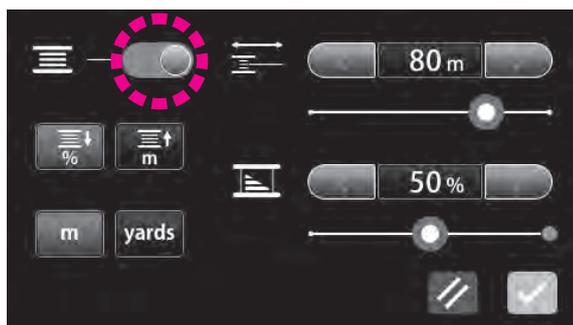


4.18. 下系カウンタ

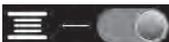
下系カウンタの詳細を設定することができます。



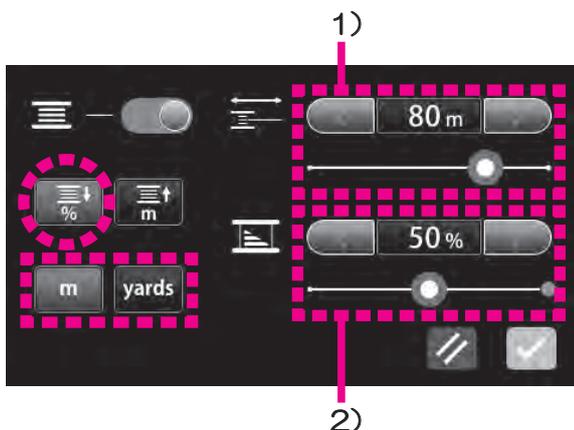
-  : 下系カウンタ ON
-  : 下系カウンタ OFF
-  : 使用量表示
-  : 計測量表示
-  : メートル表示
-  : ヤード表示
-  : 初期値に戻します
-  : 設定を確定させます



工場出荷時は OFF になっています。

下系カウンタを使うには  で ON にします。

■ 使用量を表示する方法



を押し、使用量表示にします。

を押し、使用量単位を設定します。

1) 糸巻き量の入力

● 目安量を入力する場合

下表から、糸の種類、糸の太さに合わせた目安量を探し、数値を設定します。

● 計測量を入力する場合

自分で計測した数値を設定します。

2) 糸残量率の入力

ポビンに巻かれている量を推定し、%入力をします。
(全巻きの状態は 100%)

を押すと設定が確定します。

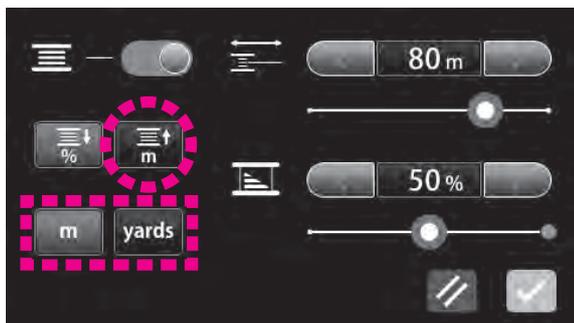
下糸カウンタアイコンに下糸の残り糸量 (%) が表示されます。
残り糸量が 20%以下になると赤色表示になります。

下糸残量カウンタ使用時、ポビンに全巻きしたときの巻き量です。目安としてお使いください。

* 色々な糸種によっても巻き量が変わりますので参考にしてください。

	#30	#50	#60	#80 ~ #90	#100
ポリエステル スパン糸 Polyester Spun	30m	50m	60m	70m	80m
	33yd	55yd	66yd	77yd	87yd
ポリエステル フィラメント糸 Polyester Filament	30m	70m	90m	100m	150m
	33yd	77yd	98yd	109yd	164yd

■ 巻き量を計測する方法



を押し、計測量表示にします。

を押し、計測量単位を設定します。

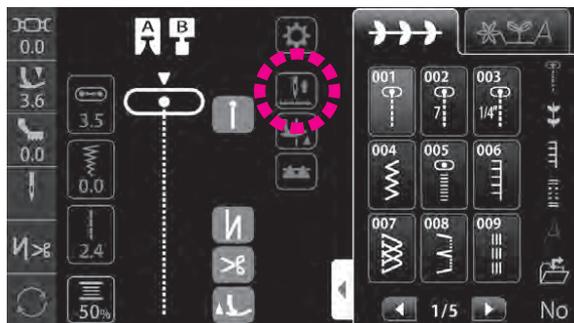
を押すと設定が確定します。

計測するときは 100%全巻き状態で始めてください。

下糸カウンタアイコンに使用量が表示されます。
ポビンが空になったときに表示されていた量が使用している糸の全巻き量です。

4.19. 針停止位置設定

ミシンを止めたときの針の位置（上下）を設定することができます。



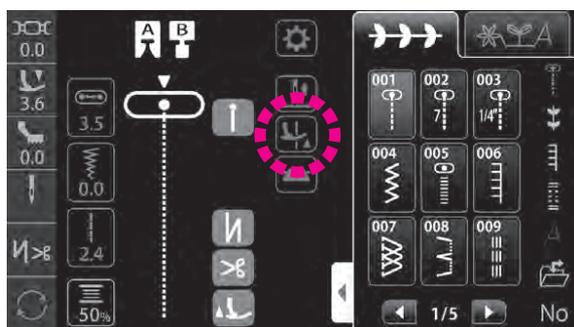
 : 針下停止

 : 針上停止

※ 針停止位置を「上停止」にすると、ピボット機能は自動的に OFF になります。

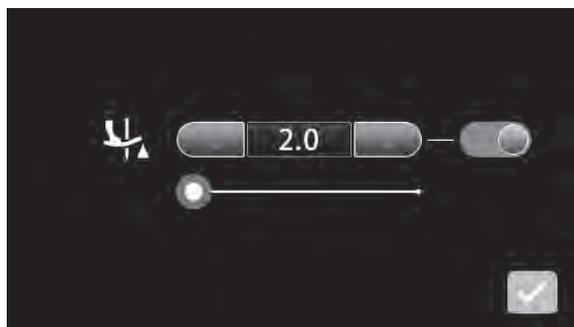
4.20. ピボット設定

ミシンを止めたとき、針が下停止のまま押えが上がる設定をすることができます。



 : ON

 : OFF



 を押すと設定画面が表示されます。

• ピボット機能の ON・OFF 設定

 : ON

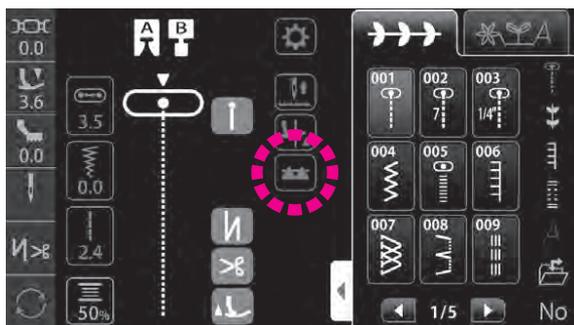
 : OFF

• ピボット高さの設定

 で調整します。

 を押すと設定が確定します。

4.21. 送り歯の下げ方



 を押して、送り歯を上げ下げします。

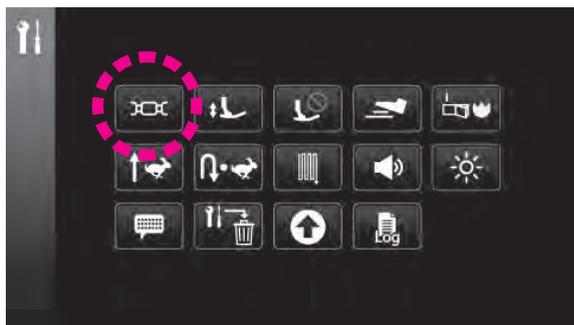
 :送り歯が上がっています。

 :送り歯が下がっています。

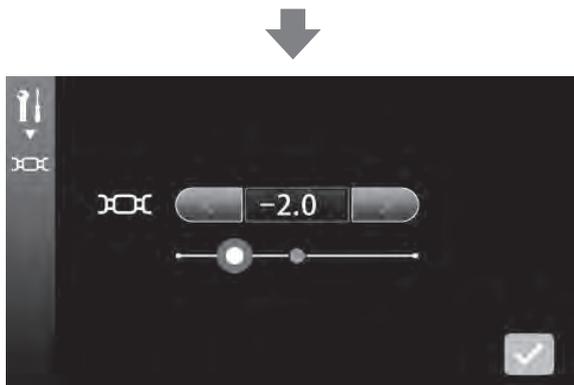
※送り歯を下げた場合、ぬいが終わったら、アイコンを押して送り歯を上げておきます。送り歯はマシンが動き始めると自動で上がります。

① 全体系調子設定

全体の系調子を設定することができます。
※ 初期値は「0.0」に設定されています。



 を押します。



系調子の変更をします。
(設定範囲：-5.0～5.0)

上系調子が弱くなります
上系調子が強くなります



青枠を押すと初期値に戻ります

スライダーを左右にスライドさせることでも調整できます。

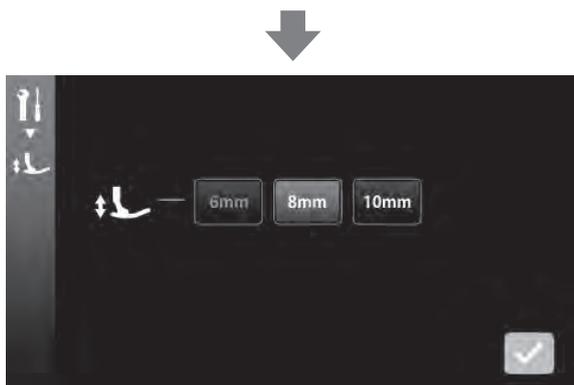
 を押すと設定が確定します。

② 押え上げ高さ設定

押え上げ量を設定することができます。
※ 初期値は「6mm」に設定されています。



 を押します。



押え上げ量を選びます。

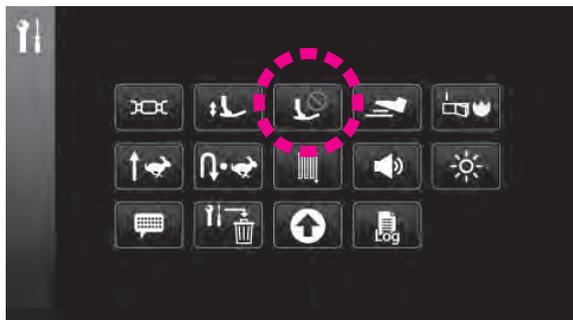
 を押すと設定が確定します。

③ 押え上昇時動作設定

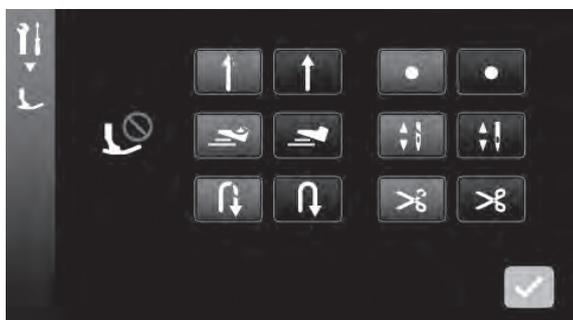
押え上昇時でも動作させられる操作を設定することができます。

設定した操作は、押えが上がった状態でも自動で押えを下げて操作できるようになります。(針上下を除く)

※ 初期値は全て OFF に設定されています。



 を押します。



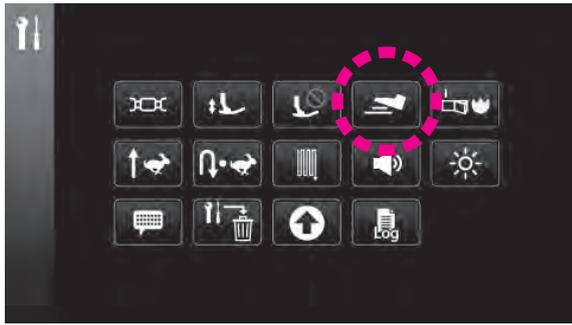
	OFF	ON
スタート		
フットペダル		
返しぬい		
玉止め		
針上下		
糸切り		

 を押すと設定が確定します。

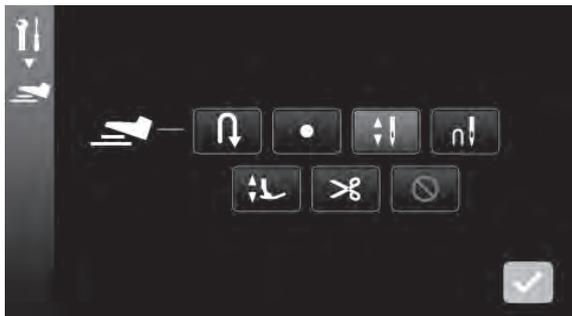
④ フットスイッチ設定

フットスイッチに割り当てる操作を設定することができます。

※ 初期値は「返しぬい」に設定されています。



 を押します。



	返しぬい		押え上下
	玉止め		糸切り
	半針ぬい		機能なし
	一針ぬい		

 を押すと設定が確定します。

※ 自動止めぬい糸切り押え上げを設定している状態で、フットスイッチを「返しぬい」または「止めぬい」に設定すると、フットスイッチ操作でぬい終わりの止めぬい糸切り押え上げができます。

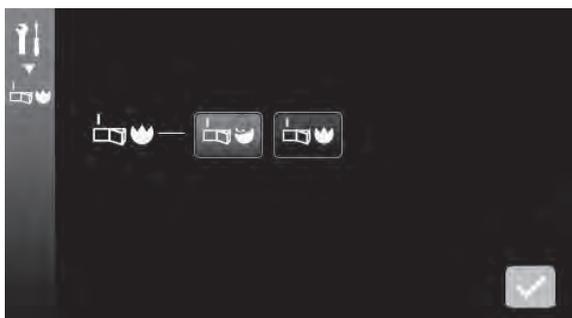
⑤ 起動時設定

電源を入れ直したとき、直前の模様や設定を維持させるか初期化させるかの選択ができます。

※ 初期値は「模様を初期化する」に設定されています。



 を押します。



 : 模様を初期化する

 : 直前の模様を維持する

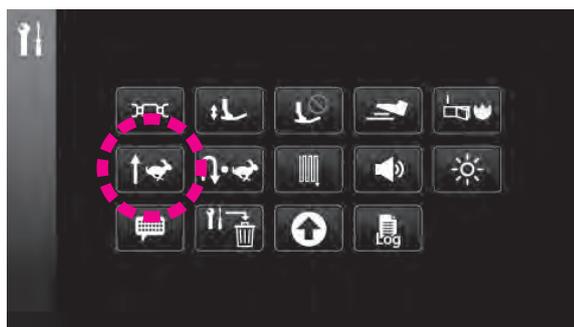
 を押すと設定が確定します。

(19 ページ参照)

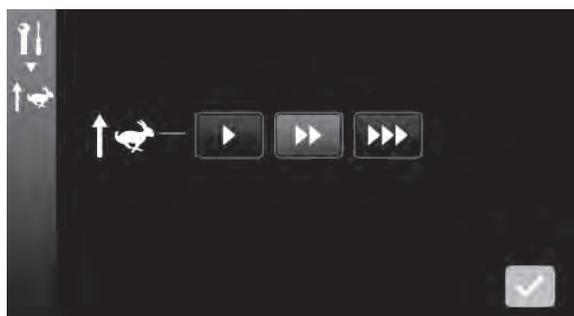
⑥ ぬい始め速度設定

ぬい始めの速度を設定することができます。

※ 初期値は「低速」に設定されています。



 を押します。



 : 低速

 : 標準

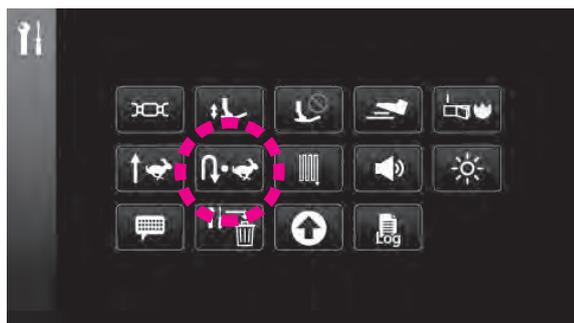
 : 高速

 を押すと設定が確定します。

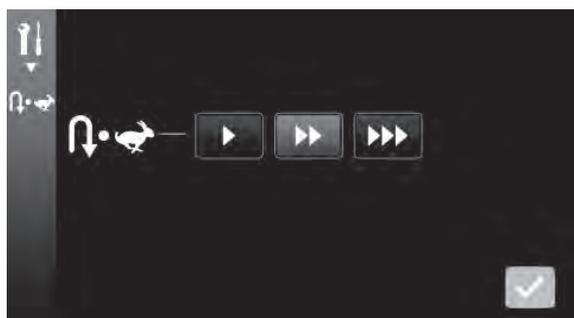
⑦ 返しぬい速度設定

返しぬい・玉止めの速度を設定することができます。

※ 初期値は「低速」に設定されています。



 を押します。



 : 低速

 : 標準

 : 高速

 を押すと設定が確定します。

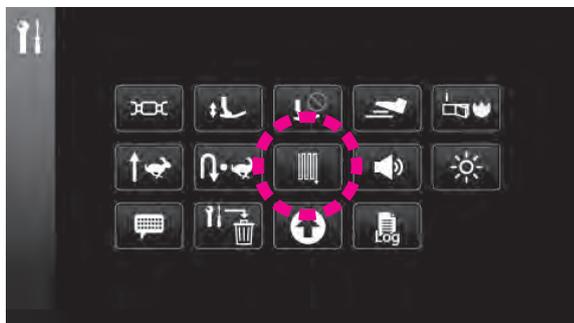
⑧ ダーニング調整

模様を調整することができます。

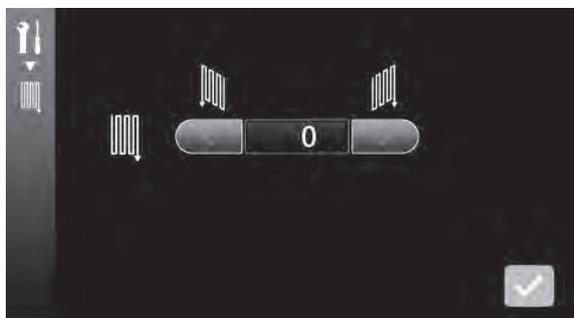
調整範囲：-20～20

模様をきれいにぬいたい場合、布地や糸、芯地を変えたときに送りの前後バランスを確認します。

この調整値は全模様反映されます。



 を押します。



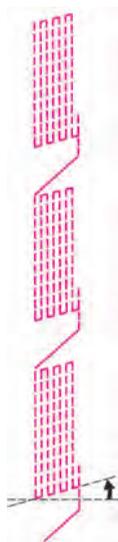
試しぬいをし、模様を確認しながら調整します。

 を押すと設定が確定します。

○正しいぬい上がり

×右上がりの場合

×右下がりの場合



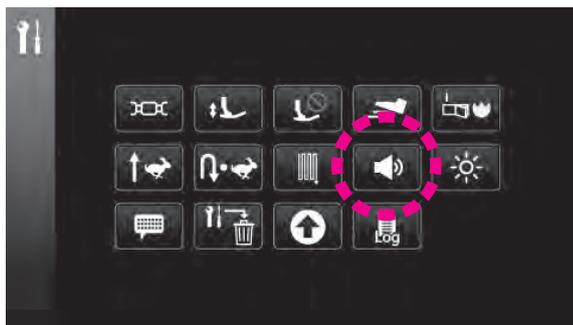
 を押して、
試しぬいをしながら
調整します。

 を押して、
試しぬいをしながら
調整します。

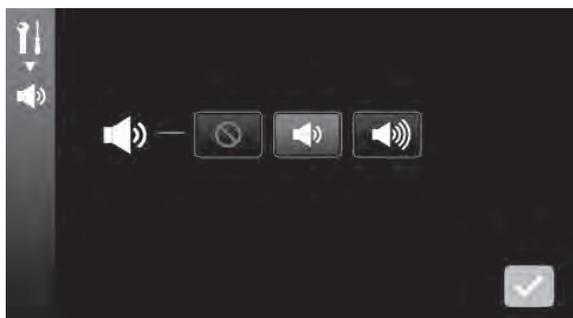
⑨ 音量設定

タッチパネルのアイコンを押すときに鳴る音の音量を変えることができます。

※ 初期値は「大」に設定されています。



 を押します。



 : 音なし

 : 小

 : 大

 を押すと設定が確定します。

⑩ 明るさ調整

タッチパネル、縫製エリアの明るさを調節することができます。

調整範囲：0～100

※ 初期値は「50」に設定されています。



 を押します。

 : タッチパネルの明るさ

 : 縫製エリアの明るさ

暗くなります 明るくなります



青枠を押すと初期値に戻ります

スライダーを左右にスライドさせることでも調整できます。

縫製エリアの照明は OFF にすることもできます。

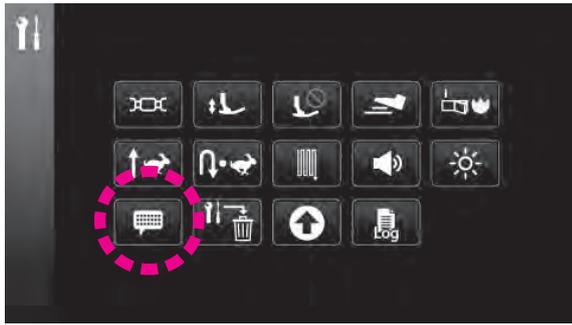
 : ON  : OFF

 を押すと設定が確定します。

⑪ 言語の切り替え

メッセージなどの言語を変更することができます。(8言語+ピクト表示)

※ 初期値は「日本語」に設定されています。



 を押します。



表示させたい言語を選びます。

 を押すと設定が確定します。

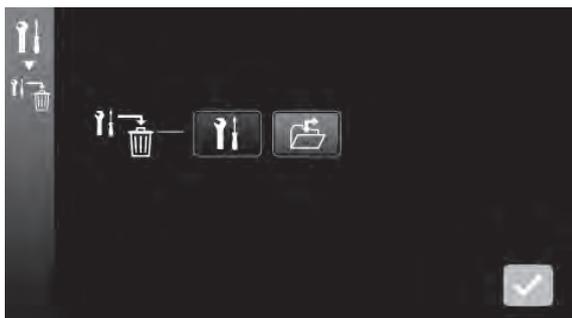
English	Español	Italiano	Français	Nederlands
英語	スペイン語	イタリア語	フランス語	オランダ語
Deutsch	Русский	Dansk	日本語	
ドイツ語	ロシア語	デンマーク語	日本語	ピクト

⑫ 設定の初期化・削除

設定を全て初期値に戻す、または削除することができます。



 を押します。



 : オプション設定の初期化

 : ユーザーメモリの全削除

 を押して  を押すとオプション設定が全て初期化されます。

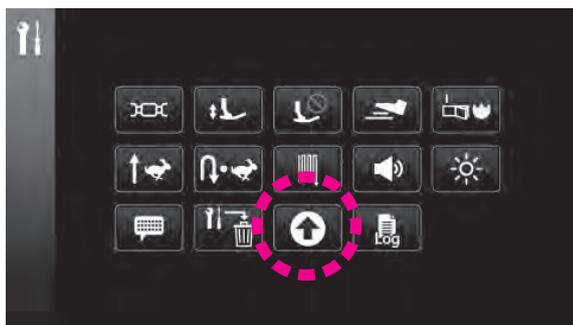
 を押して  を押すとユーザーメモリが全削除されます。

⑬ ソフトウェアアップデート

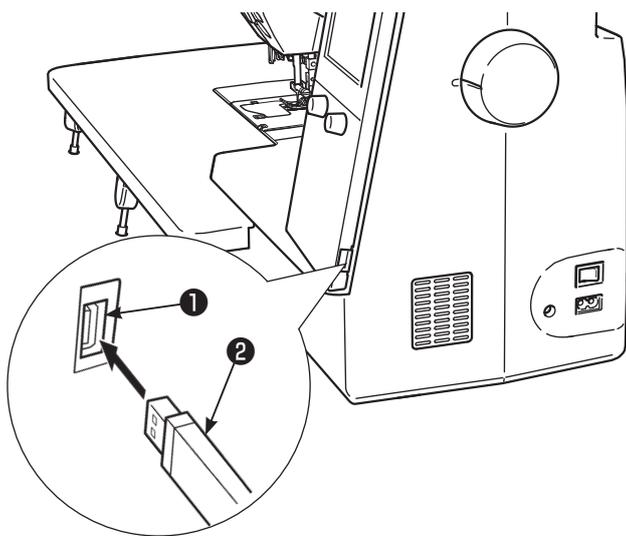
ソフトウェアをアップデートすることができます。
ソフトウェアは販売店にお問合せください。

! USB メディアを使ってソフトウェアをアップデートするときは、USB メディア内に最新のアップデートファイルだけを保存してください。
それ以外のデータや古いアップデートファイルが含まれていると、正しくアップデートができません。

! アップデート作業中は電源を切らないでください。



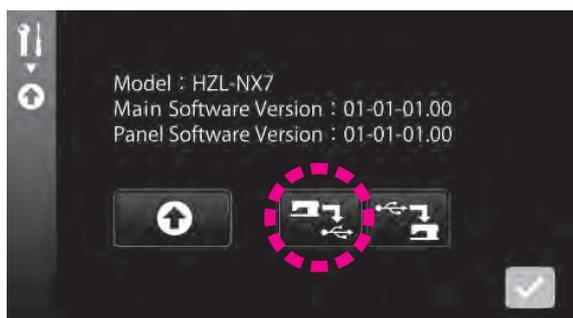
 を押します。



データが入っていない、またはアップデートファイルのみを保存した USB メディア②を USB 差し込み口①に差し込みます。

注意：
アクセシビリティ付き USB メディアを使用する場合は、パソコンやマシンに USB メディアを挿入したときにアクセシビリティが点滅し始め、USB メディアが認識されるまでに 5～6 秒かかることがあります。
(USB メディアの種類によって、認識されるまでの時間が異なります)

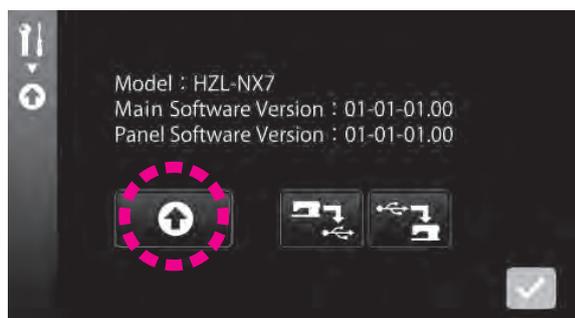
1. バックアップデータの保存



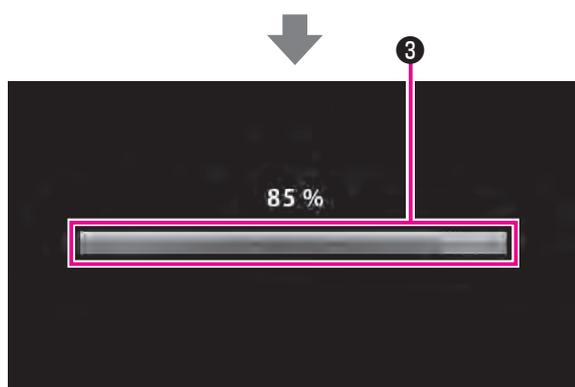
 を押します。

バックアップデータが USB メディアに保存されます。

2. ソフトウェアのアップデート



を押します。



最新のアップデートファイルがマシンにダウンロードされます。

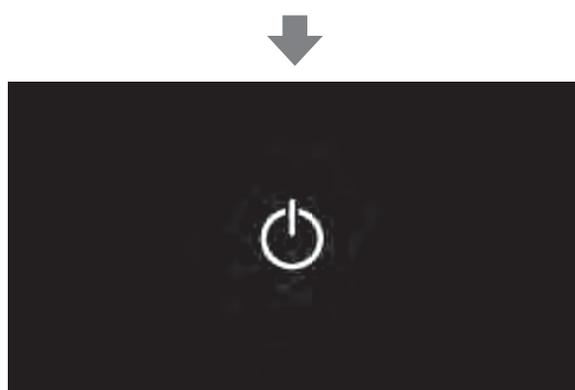
注意：

ソフト書き込みバー③が3分以上動かない場合は、アップデートに失敗した可能性があります。

その場合はマシンの電源を切ってください。

USBメディアを外してから、再度電源を入れます。

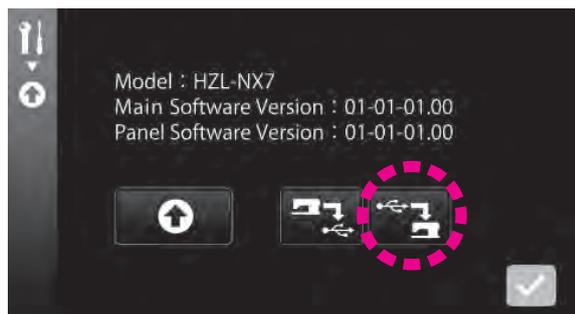
アップデートに失敗した場合は、再度電源を入れたときにソフトウェアアップデート画面が表示されますので、再度アップデートを行ってください。



アップデートが正常に行われると「アップデート完了」のメッセージが表示されます。

USBメディアを外し、マシンの電源を切り、再度電源を入れます。

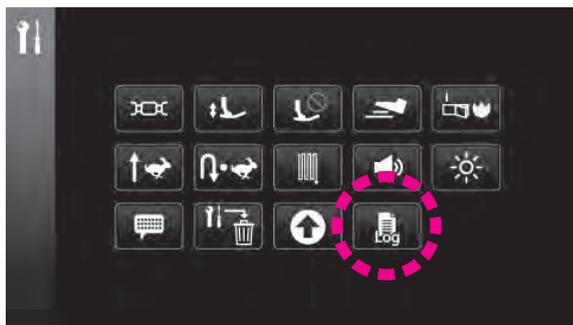
3. バックアップデータの取り込み



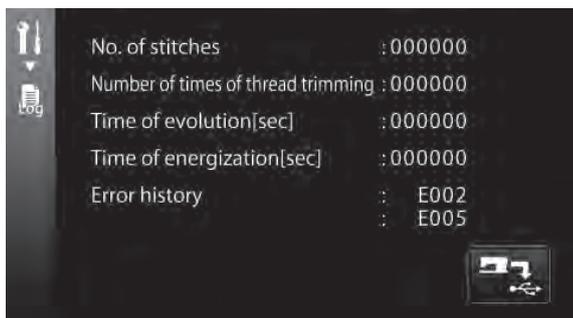
ソフトウェアのアップデートを行っても設定は保持されますが、万が一設定が全て初期化された場合は、バックアップデータを取り込むことで設定を元に戻すことができます。

⑭ ミシンログ

ミシンログを確認することができます。



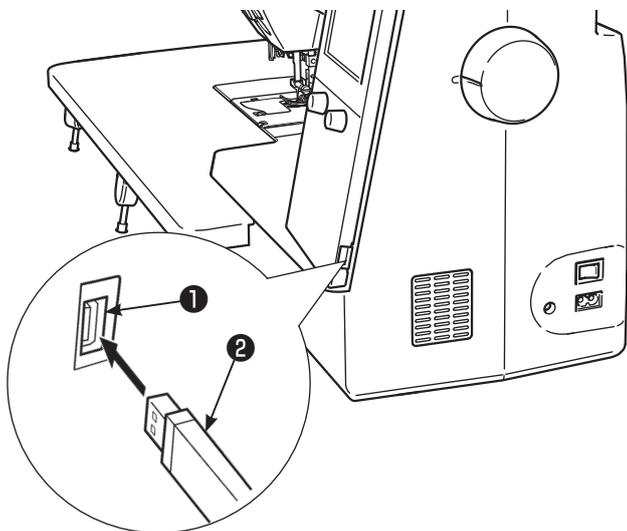
 を押します。



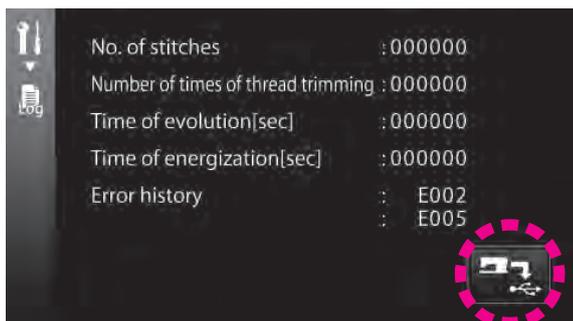
ミシンログが表示されます。

- 累計針数
- 累計糸切り回数
- 累計稼働時間
- 累計通電時間
- 直近 2 回のエラー履歴

● サービスデータの保存



データが入っていない USB メディア②を USB 差し込み口①に差し込みます。



 を押します。

サービスデータが USB メディアに保存されます。

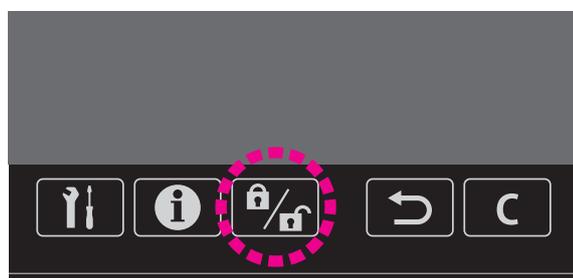
5.2. 操作ガイド



主なミシンの操作 10 項目の説明が表示されます。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 操作ボタン | ⑥ 針の交換 |
| ② タッチパネル | ⑦ 押えの交換 |
| ③ 操作キー&調節ダイヤル | ⑧ 「JUKI スマートフィード」 |
| ④ 上系の準備 | ⑨ 針板・送り歯の交換 |
| ⑤ 下系の準備 | ⑩ お手入れ |

5.3. ロックモード

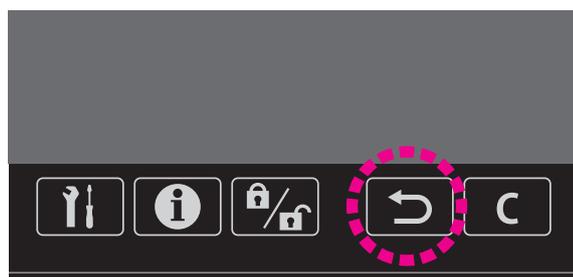


ロックキーを使ってロックモードにすると、全ての操作ボタン、操作キー、タッチパネルの操作が無効になり、ミシンも動かなくなります。

押え交換、針板・送り歯交換、針の交換、ミシンのお手入れのときは、安全のためにミシンの電源を切って行いますが、ロックモードにすることで、ミシンが現在設定されている状態を保持したまま準備を行うことができます。

ロックモードにする場合は、ロックキーを押します。ロックモードを解除する場合は、ロックキーを1秒長押しします。

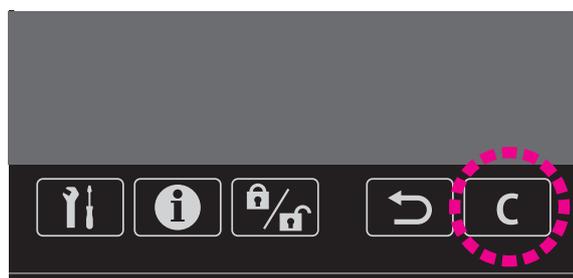
5.4. 戻る操作



タッチパネル操作時、ひとつ前の画面操作に戻ることができます。

コンビネーションぬい設定時は、選択されている模様を削除することができます。

5.5. クリア操作



変更された設定値を、設定前の値に戻すことができます。

6. 模様ぬいの設定

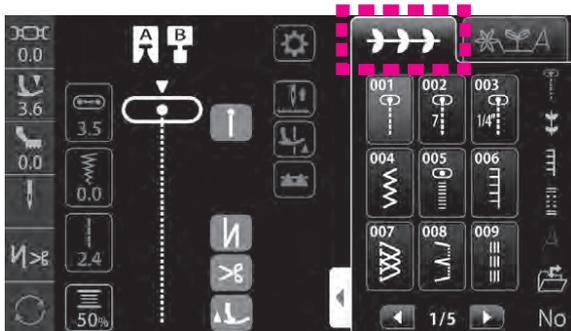
6.1. シングルぬいモード／コンビネーションぬいモード

※モードにより一部ぬえない模様があります。

6.1.1. シングルぬいモード

模様を組み合わせないでぬうモードです。

(1) 模様（文字）の選択



 を押します。

模様のアイコンを押して模様を選びます。

6.1.2. コンビネーションぬいモード

模様を組み合わせでぬうモードです。

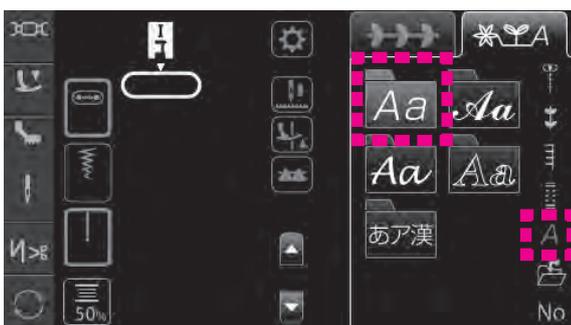
最大 70 個まで組み合わせが可能です。

(1) 模様（文字）の選択・組み合わせ

(例： **JUKI♥**)



1.  を押します。



2.  を押して、 を押します。



3. アイコンを押して「JUKI」と入力します。

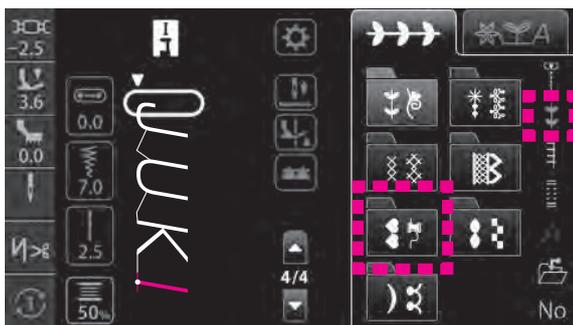
  でページを移動できます。

 で模様群を全面表示できます。

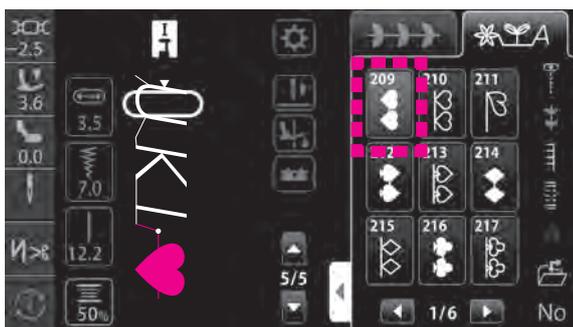
<全面表示>



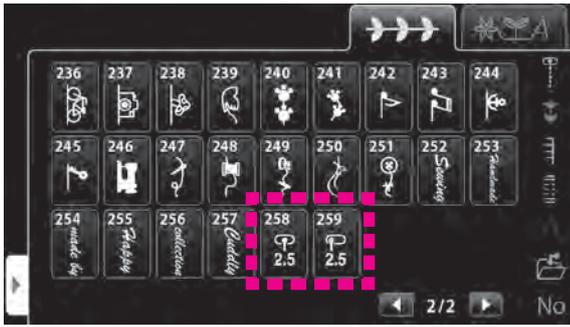
4.  を押して、 を押します。



5.  を押します。



(2) スペースの選択



模様（文字）と模様（文字）の間に、次の模様を入れて組み合わせてください。

- 模様 No.258 (P)
2.5
- 模様 No.259 (P)
2.5
-  (小スペース)
-  (大スペース)

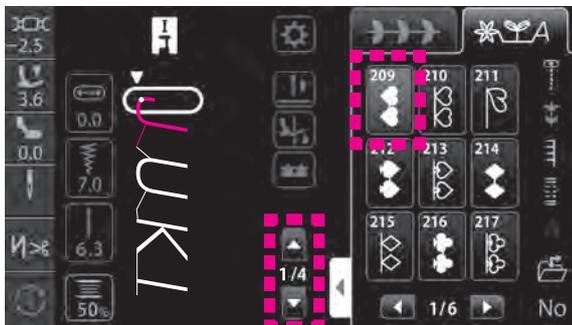


(3) 模様（文字）の追加

選択されている模様（緑のハイライトまたは緑の枠）の後ろに追加することができます。

● 間に模様（文字）を追加するとき

(例：J♥UKI)



■ 模様表示で追加する場合

1.  で「J」を選択します。
2.  を押します。

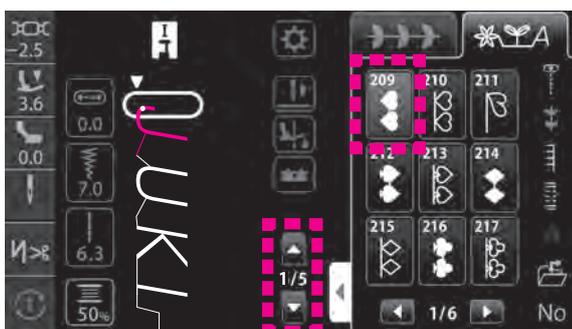


■ 全面表示で追加する場合

1.  で「J」を選択します。
2.  を押します。

● 先頭に模様（文字）を追加するとき

(例：♥JUKI♥)



■ 模様表示で追加する場合

1.  で「J」を選択します。
2. もう一回  を押します。( の表示が消えます)
3.  を押します。

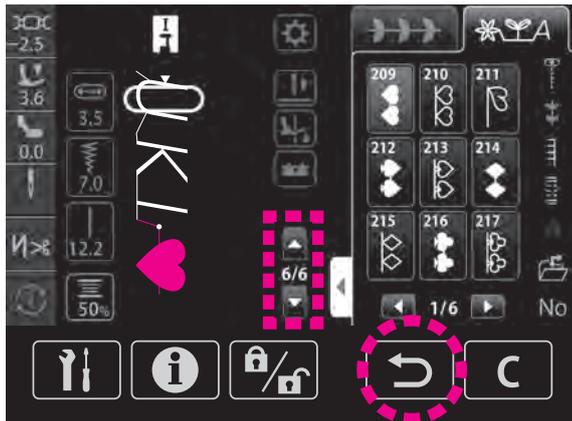


■ 全面表示で追加する場合

1.  で「J」を選択します。
2. もう一回  を押します。( の色が薄くなります)
3.  を押します。

(4) 模様（文字）の削除

(例：♥JUKI♥ ⇒ ♥JUKI)



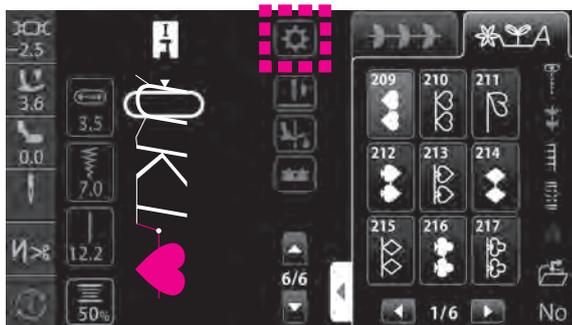
■ 模様表示で削除する場合

1. で削除したい模様を選択します。
選択した模様は緑色にハイライトされます。
2. を押します。



■ 全面表示で削除する場合

1. で削除したい模様を選択します。
選択した模様は で囲まれます。
2. を押します。



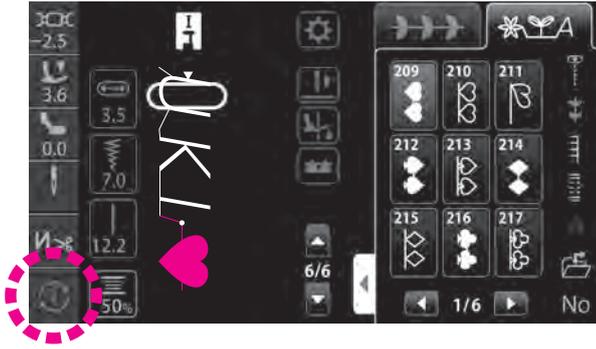
■ 模様編集画面で削除する場合

1. を押します。
2. で削除したい模様を選択します。
選択した模様は緑色にハイライトされます。
3. を押します。



※ を押してから を押して、 を押すと
組み合わせた模様をまとめて削除することができます。

6.1.3. 繰り返しぬい設定



アイコンを押すと設定が切り替わります。

●シングルぬいモードのとき



: 繰り返し（連続して）ぬいます。（初期設定）



: 1 針分
: 1 サイクル分 ぬいます。

●コンビネーションぬいモードのとき



: 選択した模様、または選択した複数の模様の組み合わせを 1 回ぬいます。（初期設定）

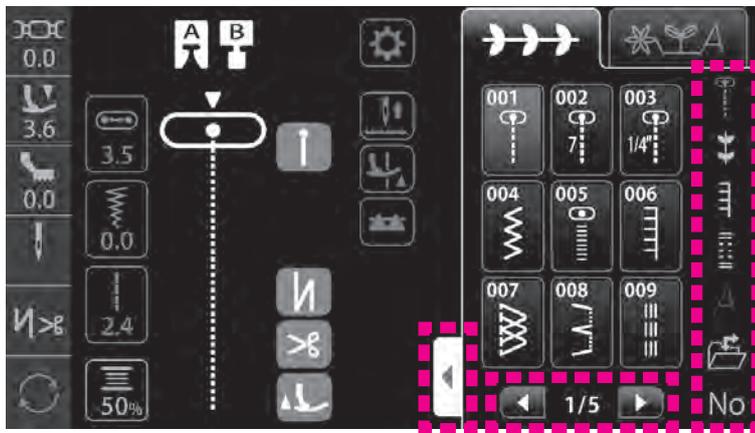


: 選択した模様、または選択した複数の模様の組み合わせを連続してぬいます。

6.2. 模様の種類と選び方

☆ 模様は 351 種類あります。

☆ 電源を入れると、中基線の直線ぬいが、自動的に選ばれ表示されます。



選択画面拡張タブで
模様群を全面表示できます。

ページ切り替えアイコンで
ページを移動できます。

6.2.1. 実用模様



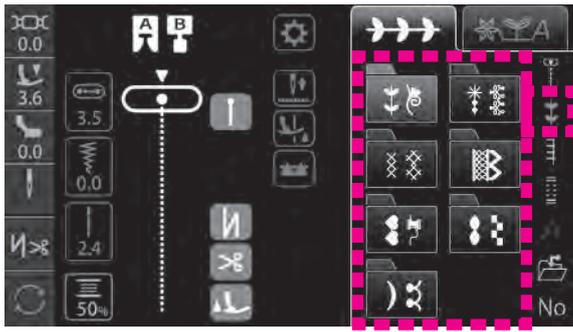
No.	模様	用途		参考 ページ
001		中基線	直線ぬい	84
002		ピーシング 7 mm		90
003		ピーシング 1/4"		90
004		ジグザグぬい		-
005		密着ジグザグ		-
006		ブランケット		-
007		裁ち目かがり		91
008		ブラインドステッチ		92
009		直線強化ぬい		-

No.	模様	用途		参考 ページ
010		左基線	直線ぬい	84
011		バック直線ぬい		-
012		中基線	伸縮直線ぬい	-
013		三重ジグザグぬい		-
014		右基線	ジグザグぬい	-
015		左基線		-
016		バックジグザグぬい		-
017		かざり模様		-
018		二点ジグザグ		-

No.	模様	用途	参考ページ
019		三重二点ジグザグ	-
020		三点ジグザグ	-
021		突き合わせぬい	-
022		裁ち目かがり	91
023		薄地用 裁ち目かがり	91
024		伸縮地用 裁ち目かがり	-
025			-
026			-
027		かざり模様	-
028			-
029			-
030		薄地用 ブラインドステッチ	92
031		伸縮地用 ブラインドステッチ	92
032		シェルタック	95
033			95
034		かん止め	96
035		かん止め (メモリー) ※一度ぬったかん止めのサイズ を記憶することができます。	96

No.	模様	用途	参考ページ
036		補強ぬい	-
037			-
038		アイレット	98
039			
040			
041			
042			
043		つくろいぬい	-
044			-
045			-

6.2.2. かざり模様



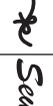
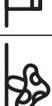
フォルダを選んでから模様を選びます。

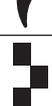
No.	模様	No.	模様	No.	模様
101		114		127	
102		115		128	
103		116		129	
104		117		130	
105		118		131	
106		119		132	
107		120		133	
108		121		134	
109		122		135	
110		123		136	
111		124		137	
112		125			
113		126			

No.	模様	No.	模様	No.	模様
138		155		172	
139		156		173	
140		157		174	
141		158		175	
142		159		176	
143		160		177	
144		161		178	
145		162		179	
146		163		180	
147		164		181	
148		165		182	
149		166		183	
150		167		184	
151		168		185	
152		169		186	
153		170		187	
154		171		188	

No.	模様
189	
190	
191	
192	
193	
194	
195	
196	
197	

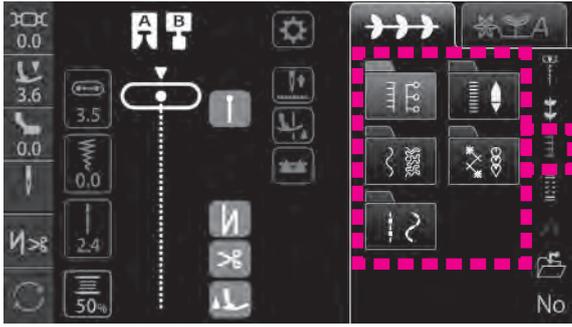
	
No.	模様
198	
199	
200	
201	
202	
203	
204	
205	
206	
207	
208	

					
No.	模様	No.	模様	No.	模様
209		226		243	
210		227		244	
211		228		245	
212		229		246	
213		230		247	
214		231		248	
215		232		249	
216		233		250	
217		234		251	
218		235		252	<i>Sewing</i>
219		236		253	<i>Handmade</i>
220		237		254	<i>made by</i>
221		238		255	<i>Handmade</i>
222		239		256	<i>collection</i>
223		240		257	<i>Cuddly</i>
224		241		258	<i>G-2.5</i>
225		242		259	<i>G-2.5</i>

			
No.	模様	No.	模様
260		277	
261		278	
262		279	
263			
264			
265			
266			
267			
268			
269			
270			
271			
272			
273			
274			
275			
276			

	
No.	模様
280	
281	
282	
283	
284	
285	
286	
287	
288	
289	
290	

6.2.3. キルト模様



フォルダを選んでから模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様
006		312		324	
301		313		325	
302		314		326	
303		315		327	
304		316		328	
305		317		329	
306		318		330	
307		319		331	
308		320		332	
309		321		333	
310		322		334	
311		323			

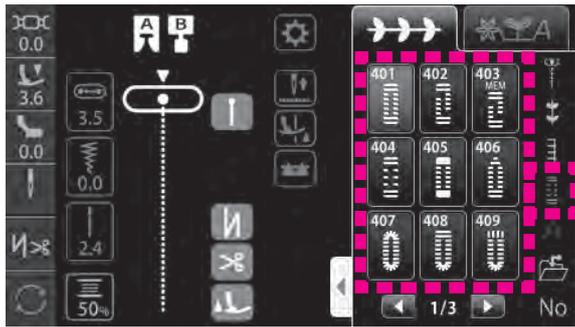
No.	模様
005	
335	
336	
337	
338	
339	
340	
341	
342	
343	
344	

No.	模様	No.	模様
345		356	
346		357	
347		358	
348		359	
349		360	
350		361	
351		362	
352		363	
353		364	
354		365	
355			

No.	模様	No.	模様
366		379	
367		380	
368		381	
369		382	
370		383	
371		384	
372		385	
373		386	
374		387	
375		388	
376		389	
377		390	
378			

No.	模様	No.	模様
391		393	
392		394	

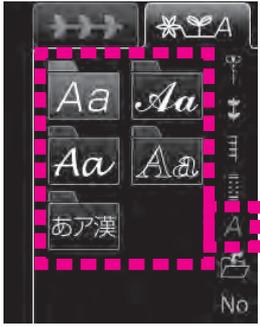
6.2.4. ボタン穴かがり模様



No.	模様	用途	参考ページ
401		両かん止め	106
402		手動ボタン穴かがり	112
403		手動ボタン穴かがり (メモリー) ※一度ぬったボタン穴かがりのサイズを記憶することができます。	112
404		両かん止め	106
405			106
406		かざり用	106
407		ねむり穴	106
408			106
409			106
410		はと目	106
411			106
412			106
413			106

No.	模様	用途	参考ページ
414		ニット用	106
415			106
416			106
417			106
418		かざり用	106
419			106
420			106
421		ボタン穴かがり下ぬい	111
422		ボタン付け	114

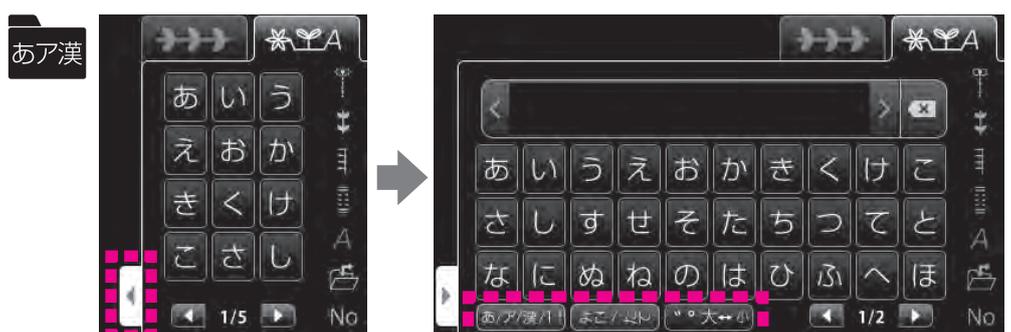
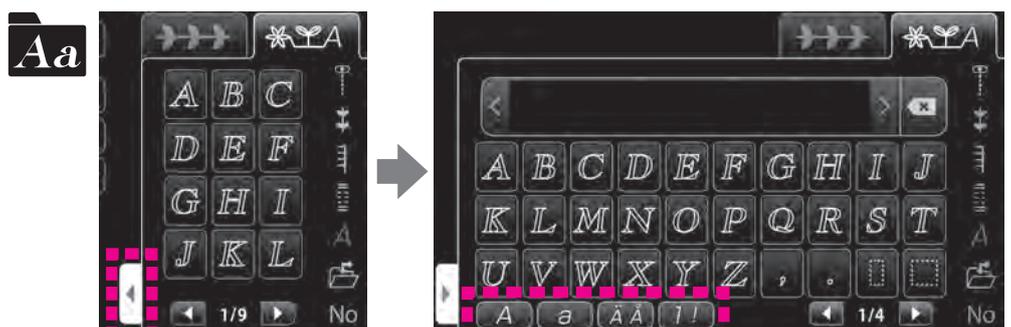
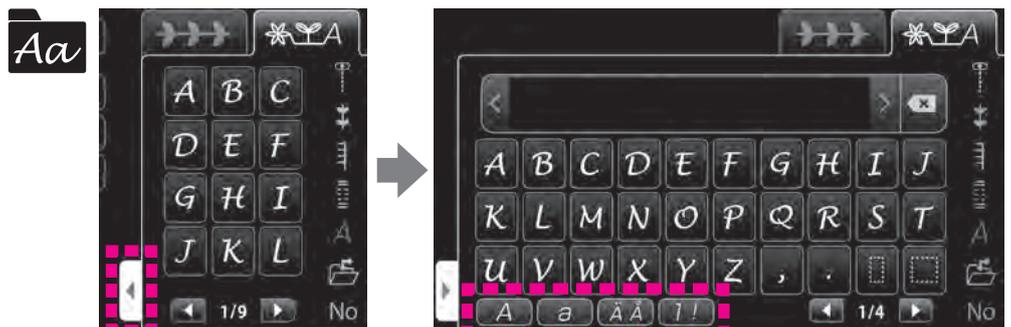
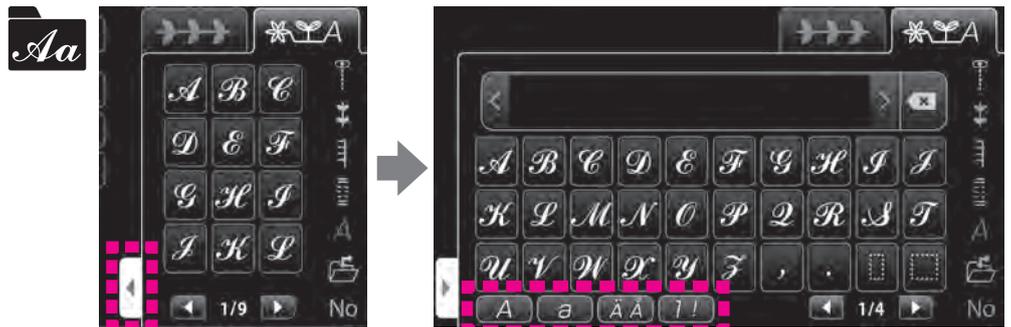
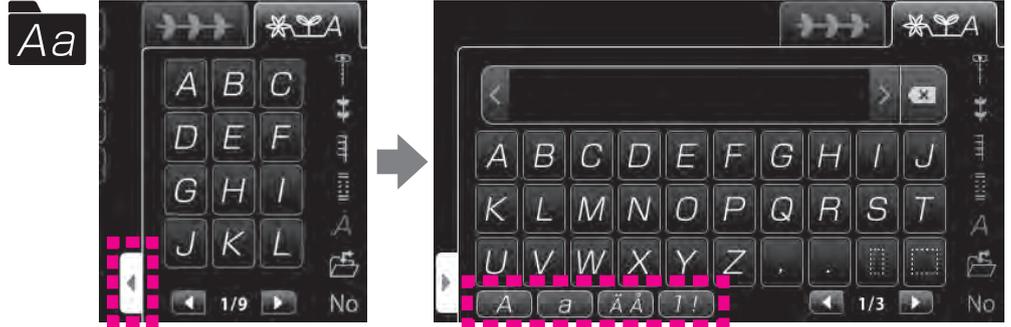
6.2.5. 文字 A



文字の種類（書体）を
選びます。

	大文字 切替アイコン
	小文字 切替アイコン
	ウムラウト 切替アイコン
	数字 / 記号 切替アイコン
	ひらがな / カタカ ナ / 漢字 / 数字 切替アイコン
	よこ / たて 切替アイコン
	° / ° / 文字大 / 文字小 切替アイコン

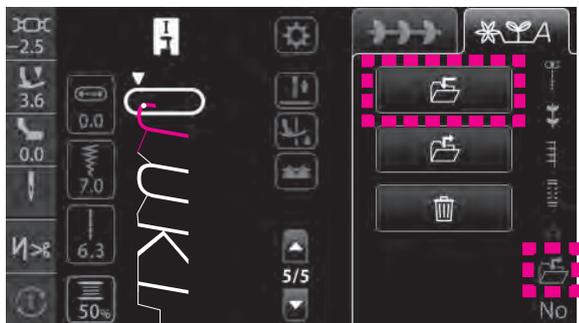
文字を選びます。



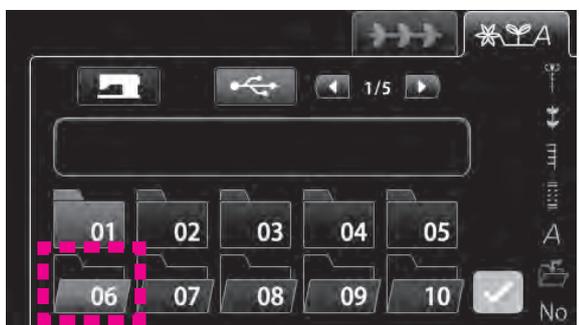
6.2.6. ユーザーメモリ

模様を組み合わせや、設定値を保存しておくことができます。
全部で10個のフォルダ（保存箱）があります。

(1) 保存

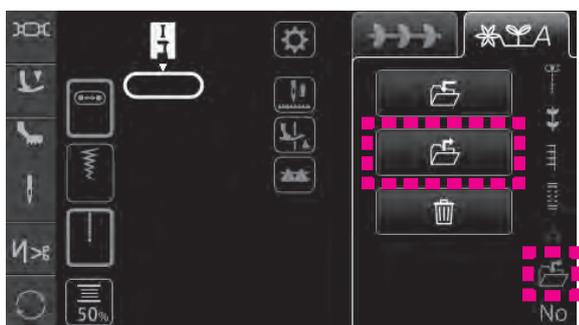


1.  を押して、 を押します。



2. 保存するフォルダのアイコンを押します。
※  : すでに模様が入っています。
※  : 空です。
 を押すと保存されます。

(2) 呼び出し

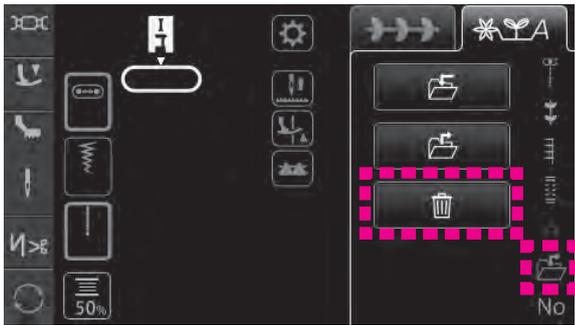


1.  を押して、 を押します。



2. 呼び出す模様が入っているフォルダのアイコンを押します。
 を押すと模様が呼び出されます。

(3) 削除



1.  を押して、 を押します。



2. 削除する模様が入っているフォルダのアイコンを押します。

 を押します。



3.  を押すと模様が削除されます。

6.2.7. No. 選択での模様の選び方



1.  を押します。
2. 模様 No. を入力して模様を選びます。
3.  を押すと選んだ模様が表示されます。

6.3. 編集機能の種類と使い方

6.3.1. ダーニング調整

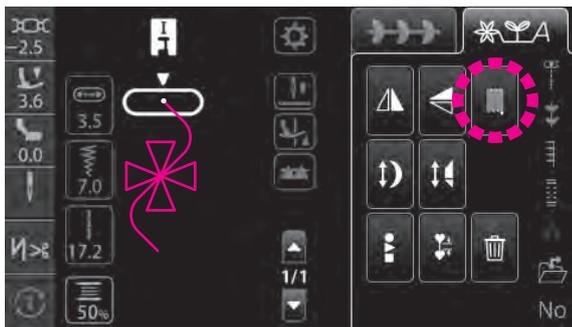
布地の種類や厚さ、接着芯の種類、ぬう速さなどによっては模様がかすれる場合があります。模様をぬう場合は、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様はくずれた場合は次のように調整してください。

(1) 模様 1 つのダーニング調整

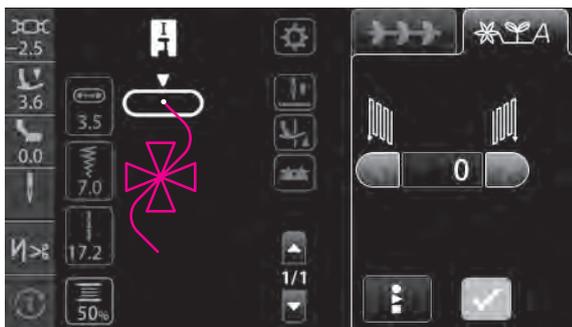


ぬいたい模様を選んで試しぬいしたときに模様がかすれていたら・・・

1.  を押します。

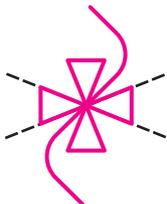


2.  を押します。

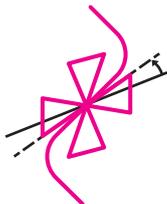


3. ダーニング調整画面が表示されます。

○正しいぬい上がり

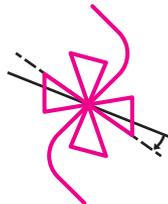


×右上がり



 を押して
調整します。

×右下がり



 を押して
調整します。

正しい模様がぬえるようになったら調整を終わります。

 を押すと設定が確定します。

(2) 組み合わせた模様ダーニング調整

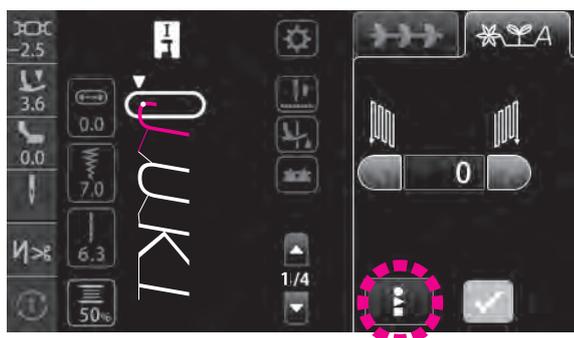


ぬいたい模様を選んで試しぬいたときに
模様がくずれていたら・・・

1.  を押します。



2.  を押します。



3. ダーニング調整画面が表示されます。

 を押します。

○正しいぬい上がり	×右上がり	×右下がり
		
	 を押して 調整します。	 を押して 調整します。

正しい模様がぬえるようになったら調整を
終わります。

 を押すと設定が確定します。

6.3.2. 模様反転



模様を選択した後で  を押します。



(1) 左右反転

左右反転した模様をぬうときは  を押します。

左右反転した模様が表示されます。



(2) 上下反転

上下反転した模様をぬうときは  を押します。

上下反転した模様が表示されます。

※左右反転、上下反転できない模様があります。

※「左右反転したものを上下反転させる」または「上下反転したものを左右反転させる」もそれぞれ行うことができます。

6.3.3. エロンゲーションサイズ変更

模様のぬい密度を変えることなく模様の長さを変更することができます。

●エロンゲーションできる模様

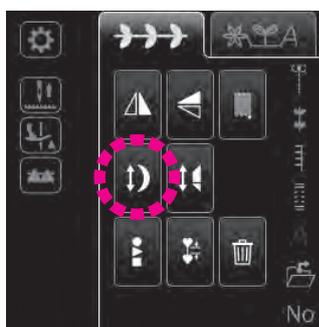
271	272	273	274	275	276	277	278	279	280
281	282	283	284	285	286	287	288	289	290

設定範囲：1～5

※ 初期値は「1」に設定されています。



1. 模様を選択した後で を押します。



2. を押します。



3. エロンゲーションのサイズを選びます。

短くなる 標準値 長くなる



青枠を押すと初期値に戻ります

を押しても初期値に戻ります

を押すと設定が確定します。

6.3.4. テーパリングサイズ変更

詳細は 104 ページをご覧ください。

6.3.5. 組み合わせた模様全体選択



組み合わせた模様を全てまとめて選択したいときに押します。

6.3.6. 削除



組み合わせた模様を削除したいときに押します。



 を押してから  を押して、 を押すと
組み合わせた模様を全てまとめて削除することができます。

6.3.7. 模様間隔設定



アイコンを押すと、模様と模様の間隔が狭まります。
もう一度押すと、標準設定に戻ります。
標準では模様の終わりに玉止めが設定されていますが、ステッチ間隔を狭めると玉止めが省略されます。

6.3.8. ボタン穴かがりのメス幅変更

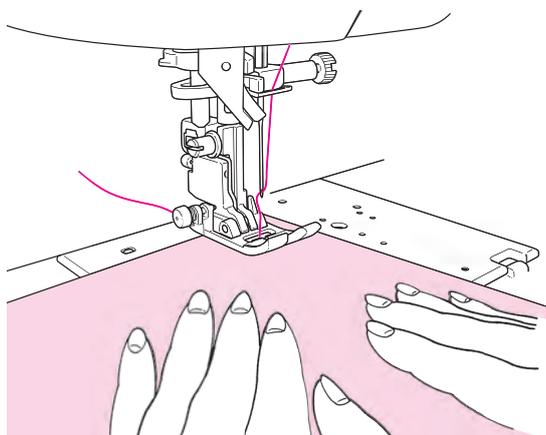
詳細は 110 ページをご覧ください。

7. ソーイング

7.1. 直線ぬい

模様 No.	模様	押え
001		基本押え (A)

 ロックモード



■ぬい始め

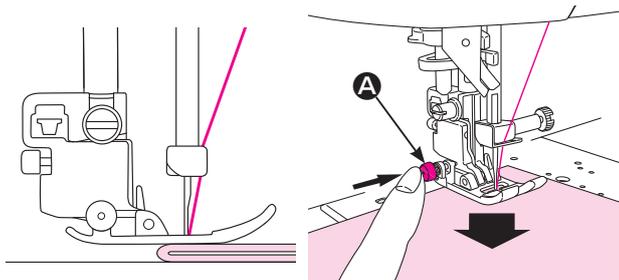
押えを下げてぬい始めます。

押え上昇時操作設定

押えが上がった状態でもぬい始めることができます。
(54 ページ参照)

ぬい始め速度設定

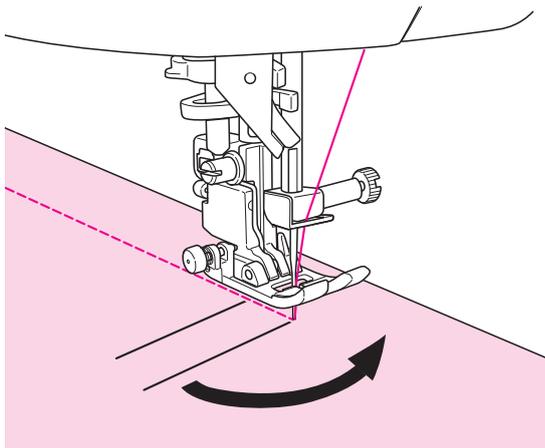
ぬい始めの速度を設定することができます。
(56 ページ参照)



★厚手の布端のぬい始め

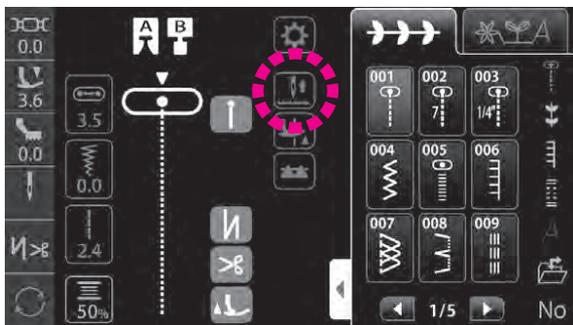
ぬい始めの位置に針を下ろし、基本押えの黒色ボタン **A** を押し込みます。ボタンを押したままで押えを下げます。ボタンから手を離し、ぬい始めます。

押えが完全に布地の上になると、黒色ボタンの押し込みは自動的に解除されます。



■ぬい方向を変えるには

- ① 布地の方向を変える位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布地に針がささっていない場合は、針上下ボタンを押して針を布地にさし、押えを上げます。
※工場出荷時は、ミシンを停止すると針が布地にささった状態になっています。
- ③ 針を布地にさしたままぬい方向を変え、押えを下げてぬい始めます。



●針停止位置切り替え

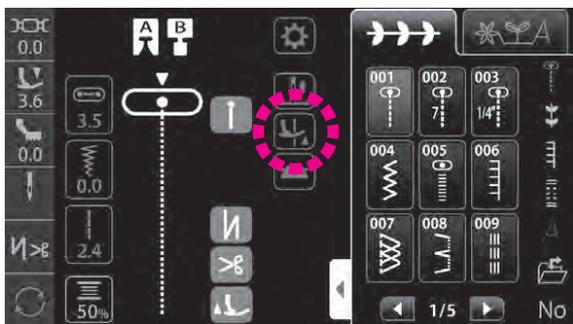
ミシンを止めたときの針の停止位置を変更することができます。



: 針上停止



: 針下停止



●ピボット機能

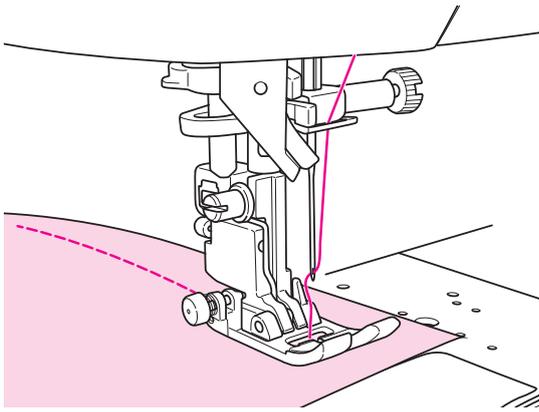
ミシンを止めたとき、針が下停止のまま押えが上がる設定をすることができます。



: ON

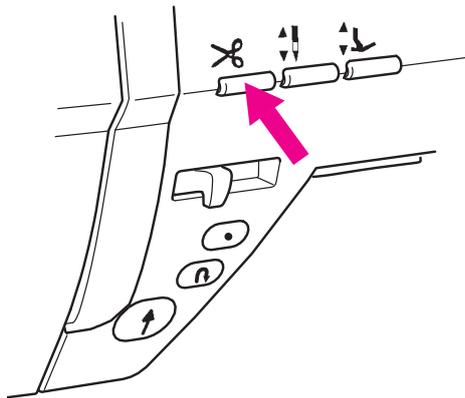


: OFF



■ぬい終わり

ミシンを止めます。



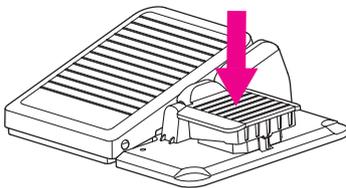
★糸切り

＜糸切りボタンを使う＞

糸切りボタンを押して糸を切ります。
押えを上げて布地を取り出します。

【糸切りの注意事項】

1. 30番より太い糸は、使用しないでください。
2. 糸切り後は、下糸は引き出さなくてもぬうことができます。
3. 糸切り後の次のぬい始めには、一旦下糸を引き上げて下糸と上糸を押えの後ろに引き出してぬい始めると、きれいにぬい始めることができます。
4. 糸切り部に糸くずがたまると故障の原因となりますので、ミシンのお手入れをしてください。(121 ページ参照)



＜フットスイッチを使う＞

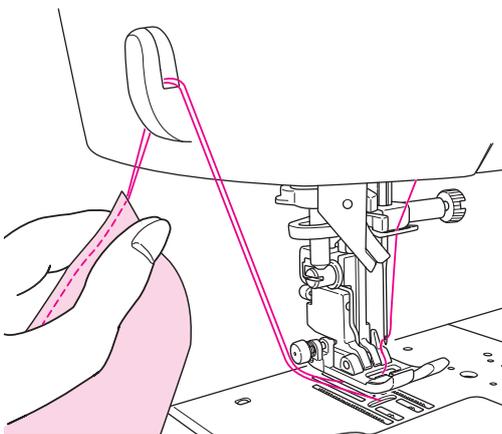
フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで糸を切る設定にすることができます。(55 ページ参照)

フットスイッチを踏んで糸を切ります。

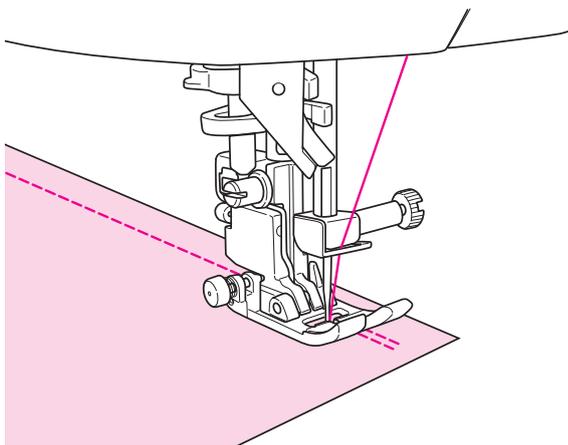
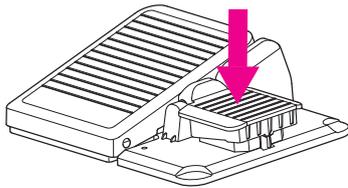
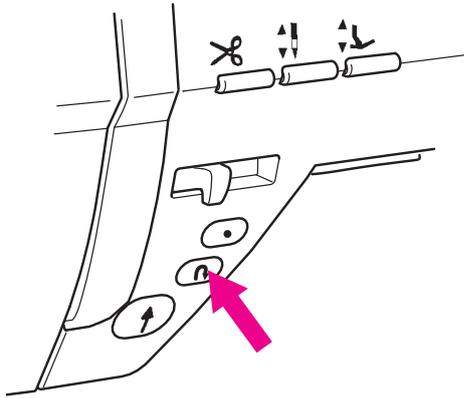
＜面部糸切りを使う＞

針を上げ、押えをあげてから面部カバーに付いている面部糸切りで糸を切ることができます。



糸切り後押え上げ設定

糸切り後に自動で押えを上げることができます。
(44 ページ参照)



■ 返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりとしたほつれ止め（返しぬい）をするときに使います。

👣 フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで返しぬいをする設定にすることができます。（55 ページ参照）

【スタート・ストップボタン使用時】

返しぬいボタンを押している間だけ返しぬいをして、離すと止まります。

【フットコントローラー使用時】

返しぬいボタンを押している間だけ返しぬいをして、離すと、前進に変わります。

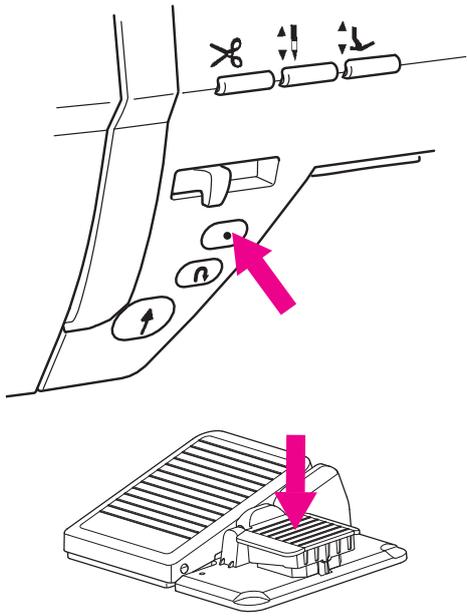
ワンポイントや文字ぬいのときは、止めぬいが終わると、止まります。

👣 返しぬい速度設定

返しぬい・玉止めの速度を設定することができます。（56 ページ参照）

👣 自動止めぬい糸切り押え上げ設定

ぬい始め、ぬい終わりの自動止めぬいの設定、ぬい終わりの自動糸切り、糸切り後自動押え上げの設定をすることができます。（44 ページ参照）



■玉止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（玉止めぬい）をするときに使います。

★ぬい始め

玉止めしたい位置で玉止めボタンを押します。
玉止めをして止まります。



フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで玉止めをする設定にすることができます。（55 ページ参照）

★ぬい終わり

【スタート・ストップボタン使用時】

ぬい終わりにきたら、玉止めボタンを押します。
玉止めをして止まります。

【フットコントローラー使用時】

ぬい終わりにきたら、フットスイッチを踏みます。
玉止めをして止まります。

※ワンポイントや文字ぬいのときは、ボタンを押すと模様
のワンサイクルをぬい終わってから、止めぬいをして止
まります。ワンサイクルぬい途中はスタート・ストップ
ボタンが橙色に点灯します。



返しぬい速度設定

返しぬい・玉止めの速度を設定することができます。
（56 ページ参照）



自動止めぬい系切り押え上げ設定

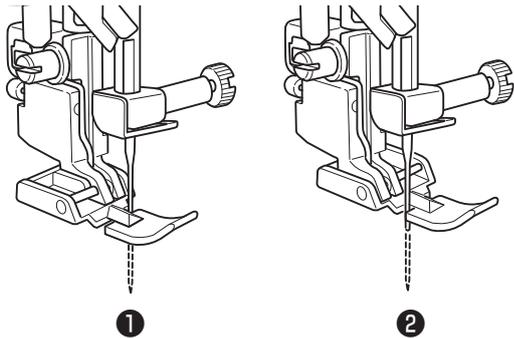
ぬい始め、ぬい終わりの自動止めぬいの設定、ぬい終
わりの自動系切り、系切り後自動押え上げの設定をす
ることができます。（44 ページ参照）

7.2. ファスナーつけ

模様 No.	模様	押え
001		ファスナー押え (B)

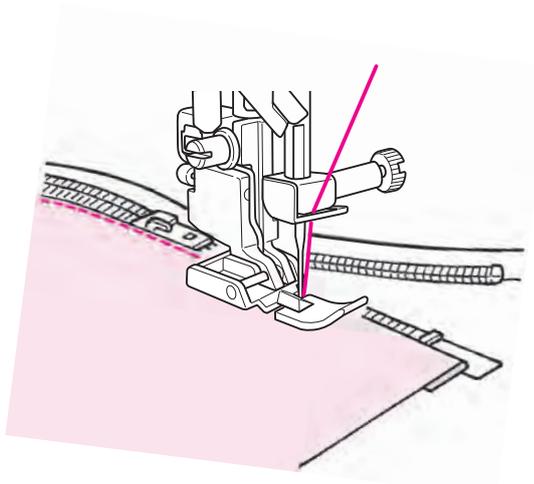
 ロックモード

※ 必ず中基線の直線 (模様 No.001) でぬってください。



1 ファスナー押え (B) をセットします。

ファスナーの左側をぬうときは、
押えの右へセット①します。
右側をぬうときは、左へセット②します。



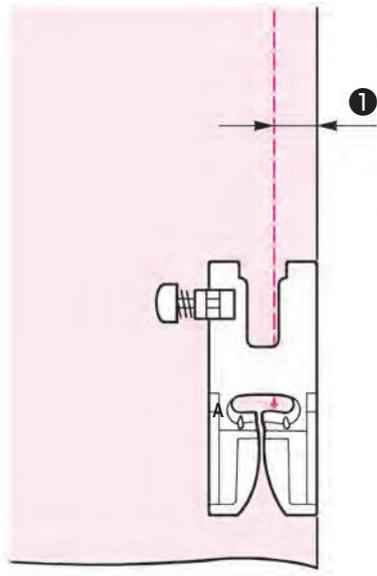
2 スライダーの手前までぬったら、スライダーを向こう側へ下げて、端までぬいます。

7.3. パッチワークピーシング（ぬい合わせ）

模様 No.	模様	押え
002		基本押え (A)
003		 ロックモード

パッチワークで、布地と布地をぬい合わせることをピーシングといいます。

ピーシングのときは、ぬいしろを通常7mmまたは1/4インチでぬいます。



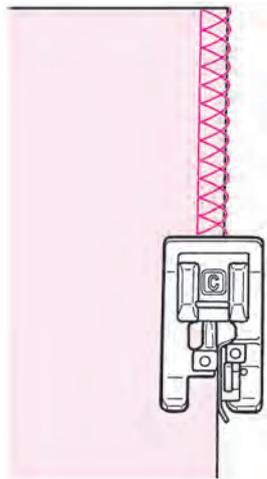
1 布地は、ぬいしろをつけたサイズでカットしておきます。

2 布地と押えの右端を合わせてぬいます。

押えの右端から7mm **1** (1/4インチ) の位置に針が落ちるのでぬいしろ7mm (1/4インチ) でぬうことができます。

7.4. 裁ち目かがり

模様 No.	模様	押え
007		裁ち目かがり押え (C)
022		 ロックモード
023	 薄地用	



布地がほつれるのを防ぐために用います。

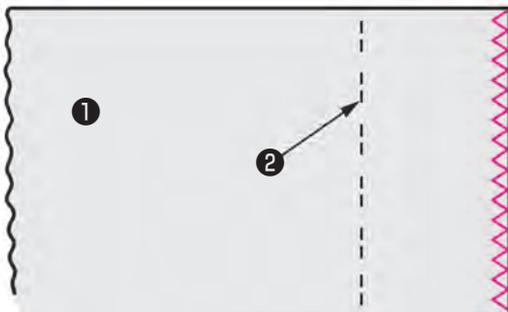
布端を裁ち目かがり押えのガイドに当ててぬいます。
布地とガイドがはなれていると、きれいなぬいできませんのでゆっくりとぬってください。

※ぬいの前に必ず、押えに針が当たらないことを、
確認してください。

7.5. ブラインドステッチ (まつりぬい)

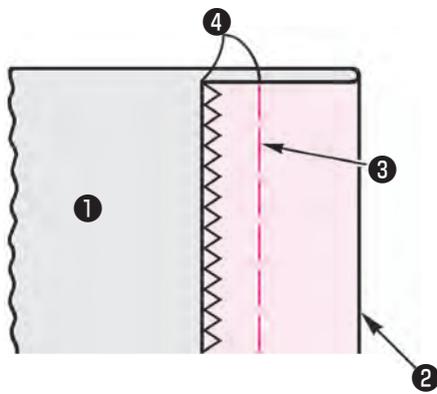
模様 No.	模様	押え
008		ブラインドステッチ押え (D)
030	 薄地用	⚠️ ロックモード
031	 伸縮地用	

■ 布地の折り方



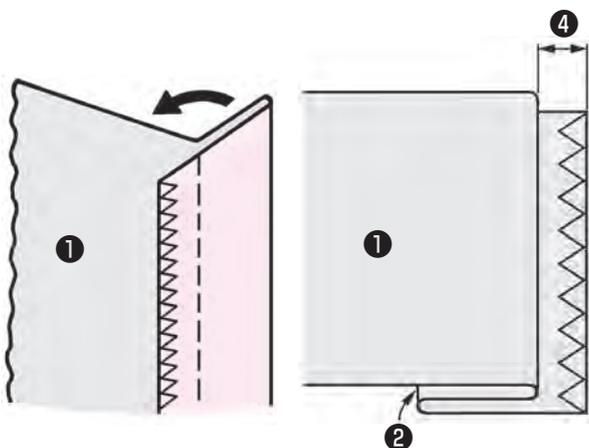
1 布端には裁ち目かがりをしておきます。
(裁ち目かがりは91 ページ参照)

- ① 布地 (裏)
- ② できあがり線

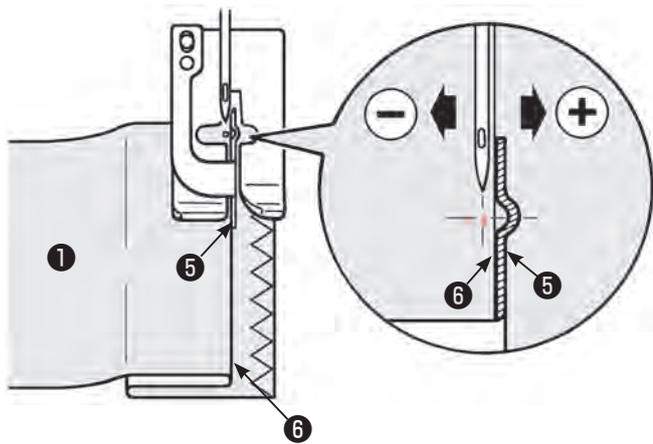


2 手ぬいでしつけ③をします。

- ④ 0.5 ~ 0.6cm

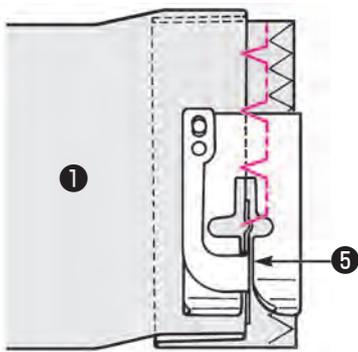


3 しつけより折ります。
0.5 ~ 0.6cm 出します。

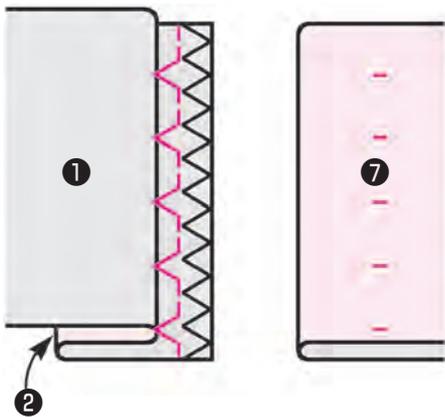


4 押えのガイド⑤を折り山⑥に合わせ、はずみ車を回して、ぬい目の幅調節ダイヤルで折り山にぬい目がかかるように調整します。

※針が押えに当たらないように注意してください。



5 ガイド⑤を折り山に当ててぬいます。

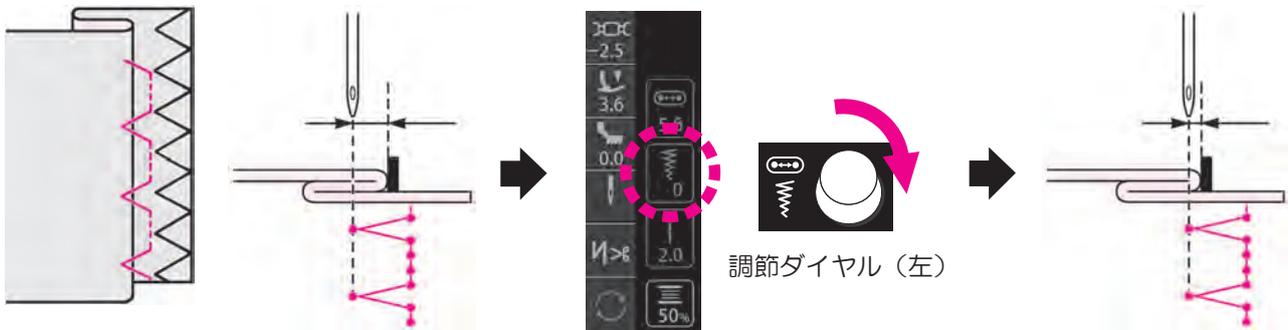


6 ぬい終わったら布地を返します。

⑦布地（表）

■ 針落ち位置を変えたいとき

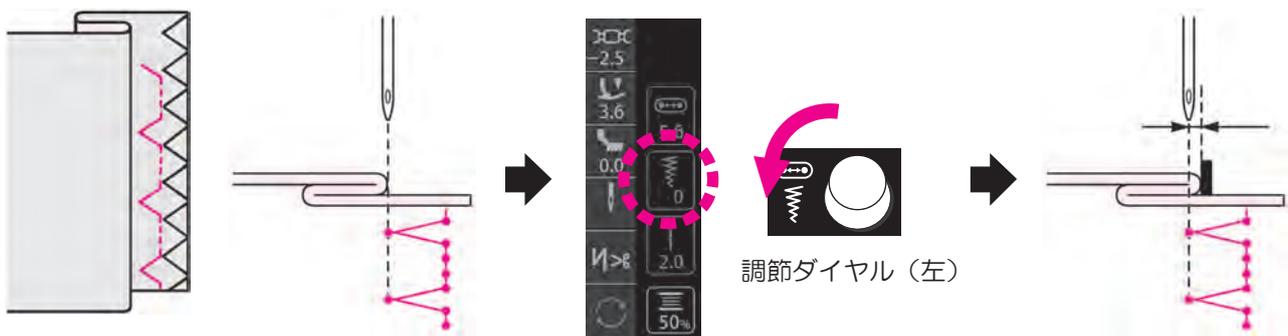
1. 折り山にぬい目がかかりすぎたとき



ぬい目の幅アイコンを押し
調節ダイヤル（左）を
右へ回します。

（はずみ車をまわして針落ちを確認し、
針を上に向けてから調整してください。）

2. 折り山にぬい目がかからないとき

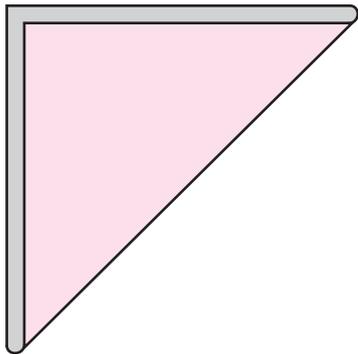


ぬい目の幅アイコンを押し
調節ダイヤル（左）を
左へ回します。

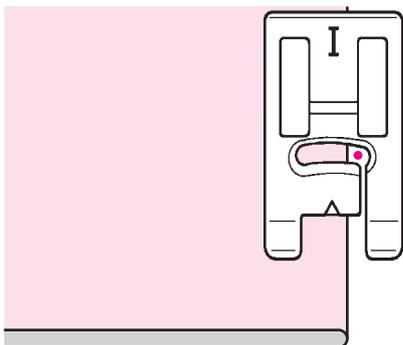
（はずみ車をまわして針落ちを確認し、
針を上に向けてから調整してください。）

7.6. シェルタック

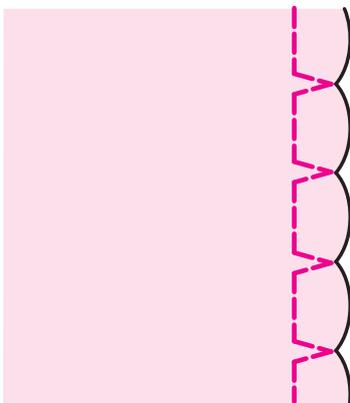
模様 No.	模様	押え
032		手動ボタン穴かがり押え (I)
033		 ロックモード



1 布地をバイヤス方向に折ります。



2 布地の折り山の端よりも右に針が落ちるようにぬいます。



3 貝殻形のシェルタックになります。

7.7. かん止め

模様 No.	模様	押え
034		手動ボタン穴かがり押え (I)
035	MEM 	 ロックモード

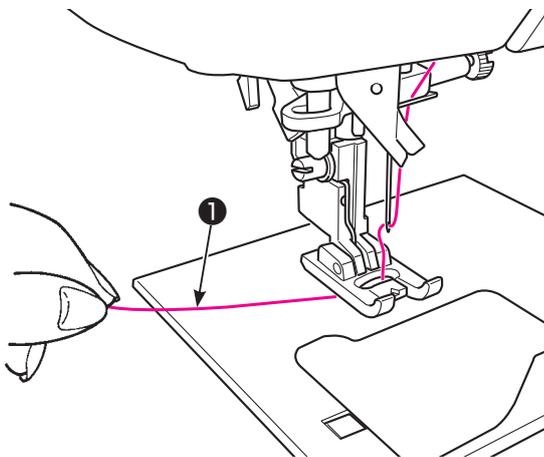
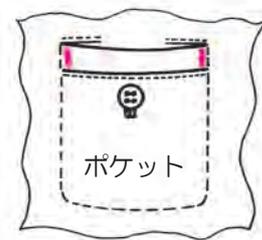
ほつれやすい部分に使うとぬい目がしっかりします。

*かん止めの長さは、返しぬいボタンを押すことで決まりますが、

最長20針までで自動的にUターンします。

*段部などで押えが水平にならないときは、あて布や厚紙をご使用ください。

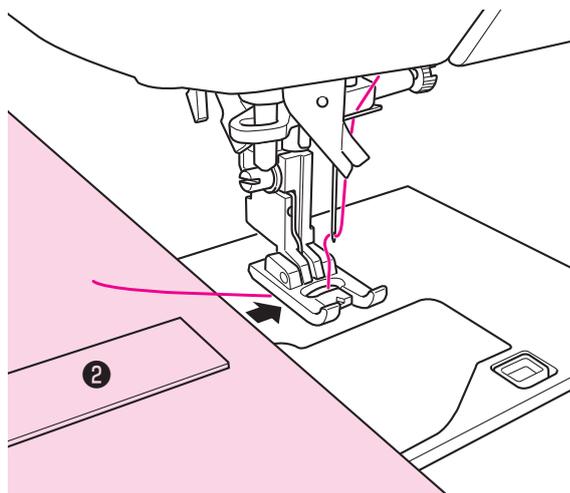
使用例)



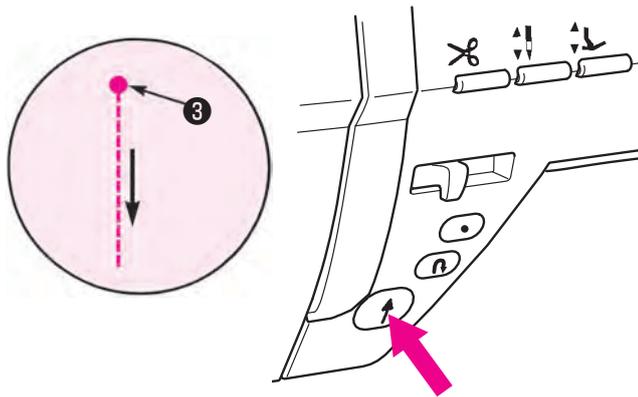
1 糸を横に出します。

上糸を押えの下へくぐらせます。

① 10 cm



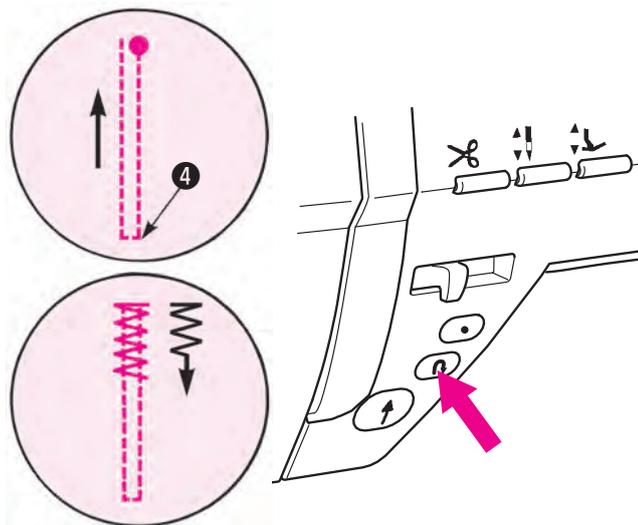
2 布地②を入れます。



3 スタートさせます。

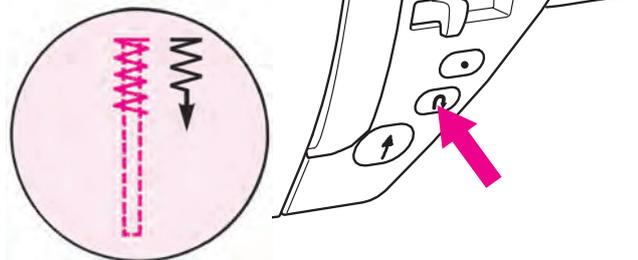
スタート・ストップボタンを押すと直線ぬいが始まります。

③スタート位置



4 かん止めの終わりの位置④で返しぬいボタンを押します。

スタート位置へ直線ぬいで返し、再び自動的にジグザグぬいで戻ってきます。



5 ぬい終わりの位置まで戻ったら返しぬいボタンを押します。

止めぬい⑤をして止まります。

MEM

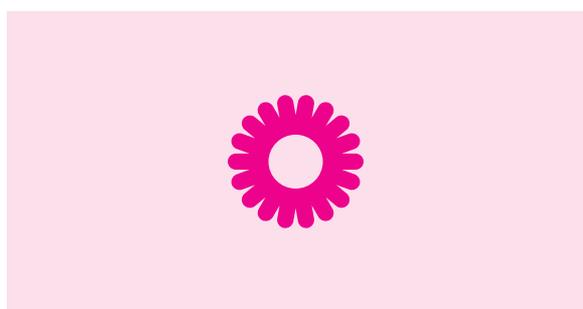
※  No. 035 かん止め (メモリー) の場合

最初にぬった長さが記憶されるので、2回目からは **4** の操作は必要ありません。

記憶された長さを変更したいときは、もう一度模様を選び直してください。

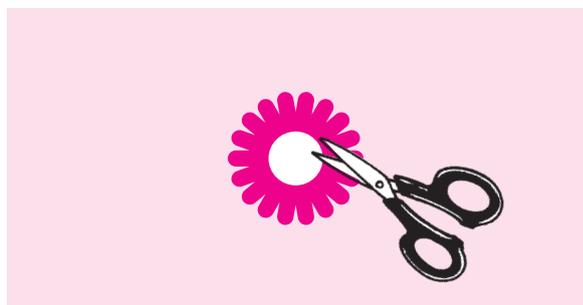
7.8. アイレット

模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え
038		041		手動ボタン穴かがり押え (I)
039		042		⚠ ロックモード
040				



1 アイレットをぬいます。

最後は自動で玉止めが入って停止します。



2 アイレットパンチやはさみで穴をあけます。

ひもやりボンを通したり、フラワーホールとして利用できます。

7.9. かざりぬい

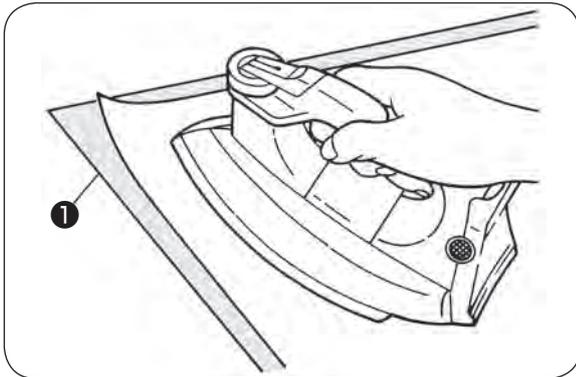
模様 No.	押え
101~290 301~394 文字など	手動ボタン穴かがり押え (I)

 ロックモード

※模様の種類は 72 ページを参照してください。

■ぬう前の準備

きれいに模様をぬうために、薄い布地①には芯地をはり、試しぬいをしてください。



裏面に接着芯地をアイロンで接着させます。

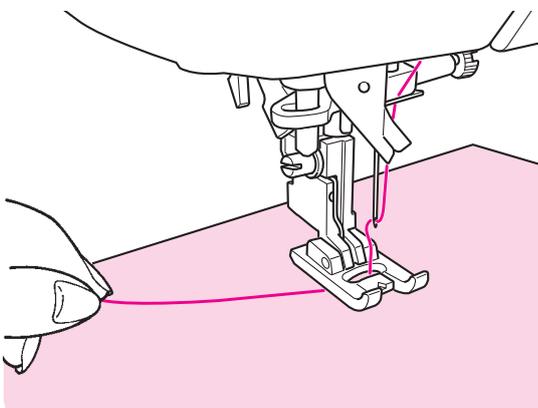
※ぬい目が細くなりすぎると、下糸が布地の表に出たり、場合によっては、ぬい詰まることがあります。必ずダーニング調整をして、試しぬいをしてください。



ダーニング調整

試しぬいをし、模様を確認しながら調整します。
(57 ページ参照)

■模様（文字）のぬい



上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出します。布地を入れてスタートさせます。

ぬい終わると自動的に止まります。

※模様（文字）によってぬい速度が変わりますのでご注意ください。

※ぬい途中で、自動糸切りを使用した場合最初の模様（文字）からぬい始めます。

※密着ぬいなどは、ピッチを細かくしすぎるとぬい詰まることがあります。

■渡り糸の始末のしかた



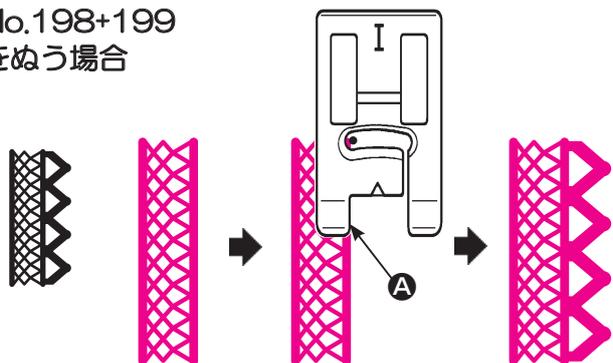
いらぬ部分の糸をハサミなどで始末します。

7.10. レース/フェザー模様

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え	
198		202		206		363		手動ボタン穴かがり押え (I)	
199		203		207		364		⚠ ロックモード	
200		204		208		365			
201		205		362		模様を並行にぬうと、レースやフェザー風模様をつくる ことができます。			

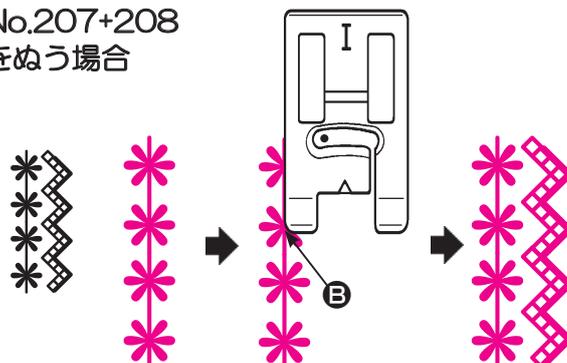
■ぬい方

• No.198+199
をぬう場合



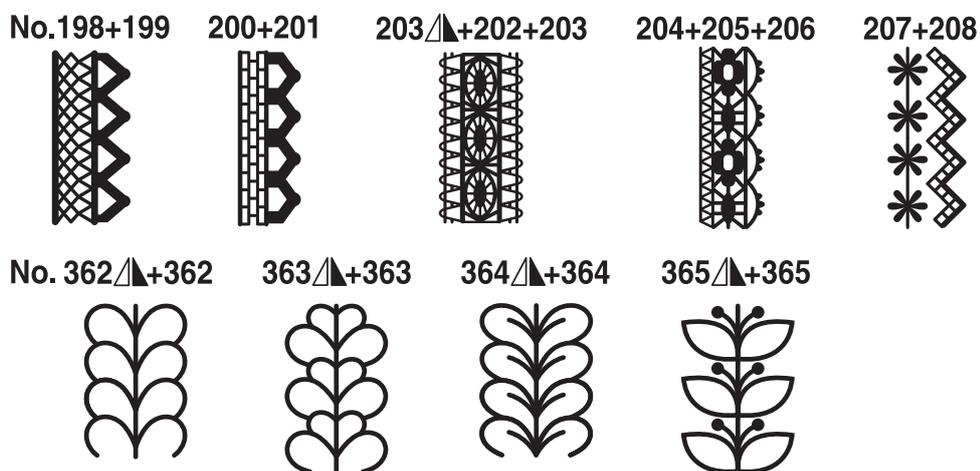
- ① 模様 No.198 をぬいます。
- ② 模様 No.199 を選択し、押えの内側 (A) と模様の端を合わせてぬいます。

• No.207+208
をぬう場合



- ① 模様 No.207 をぬいます。
- ② 模様 No.208 を選択し、押えの外側 (B) と模様を中心線を合わせてぬいます。

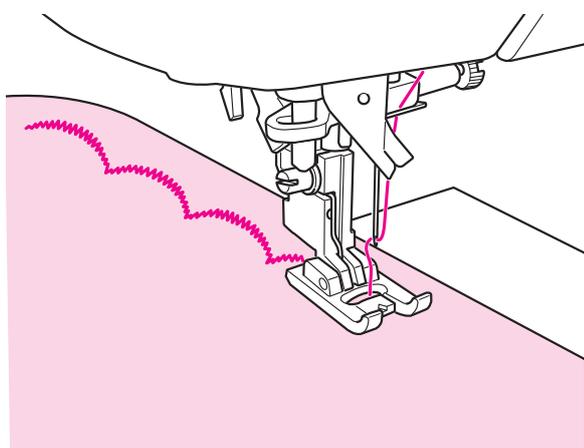
例)



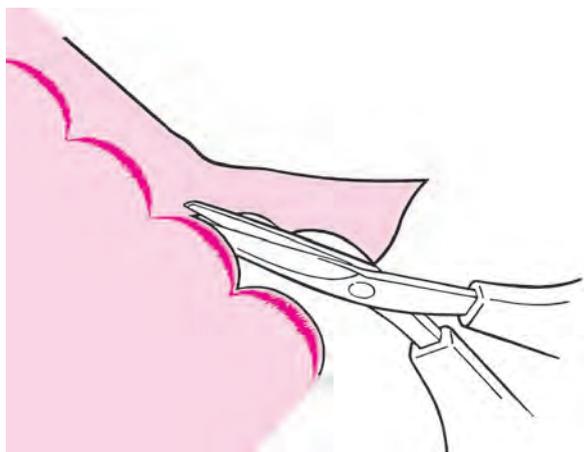
7.11. スカラップ

模様 No.	模様	押え						
280		283		286		289		手動ボタン穴かがり押え (I)
281		284		287		290		⚠ ロックモード
282		285		288				

テーブルクロスやブラウスの衿など、ふちかざりに使います。



1 布端に模様がかからないように端を残してぬいます。



2 糸を切らないようにぬい目にそって切ります。



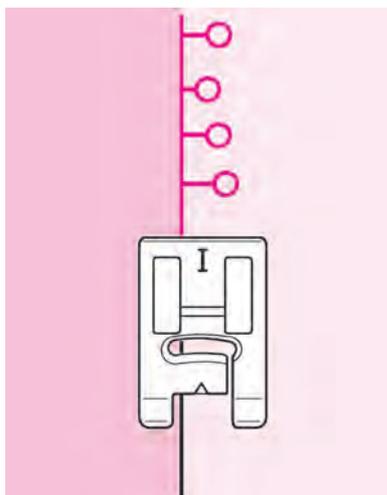
エロンゲーション

模様の長さを変更することができます。
(82 ページ参照)

7.12. ランダム模様

模様 No.	模様	押え							
302		313		321		329		手動ボタン穴かがり押え (I)	
304		315		323		331		⚠️ ロックモード	
306		317		325		333			
308		319		327					

例)



ランダム模様は、1区切りごとに幅が自動で変わりますので、遊び心のある模様が楽しめます。

7.13. テーパリング

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え	
339		341		343		手動ボタン穴かがり押え (I)	
340		342		344		⚠ ロックモード	

模様 No.339～344 は、模様のぬい始めは徐々に振り幅がおおきくなり、ぬい終わりは徐々に小さくなります。アップリケなどの縁ぬいに利用します。

■ぬい方

① 模様を選択しスタートさせます。

徐々に振り幅が大きくなります。

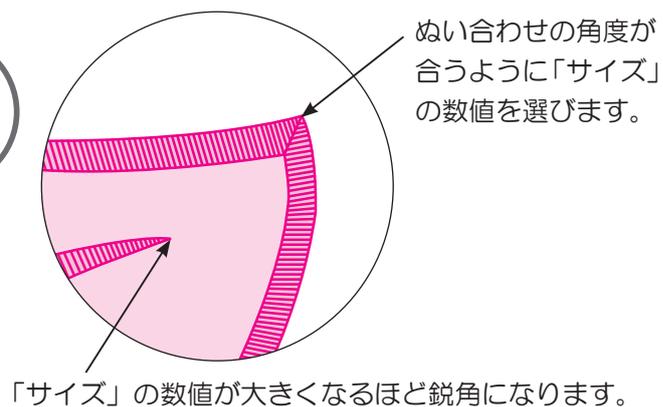
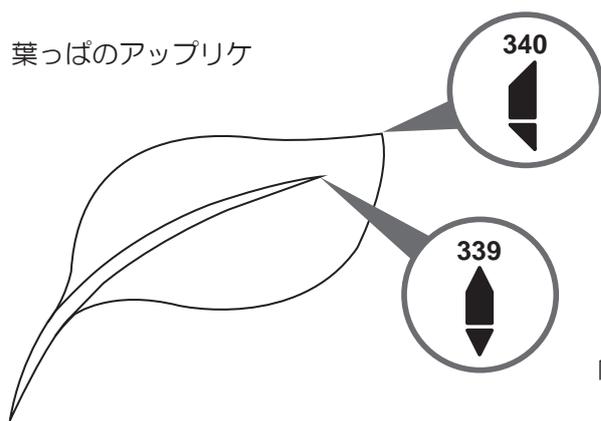
設定された振り幅に達すると、そのままぬい続けます。

② ぬい終わりは玉止めボタンを押します。

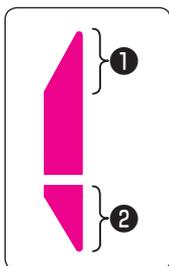
ぬい始めと同じ長さで、徐々に振り幅が小さくなり玉止めをしてから自動停止します。

使用例)

葉っぱのアップリケ



■テーパリングサイズ変更



ぬいたいものに合わせてテーパリング部分 (① ②) のサイズを変更することができます。

設定範囲：1～5

※ 初期値は「3」に設定されています。



1. 模様を選択した後で  を押します。



2.  を押します。



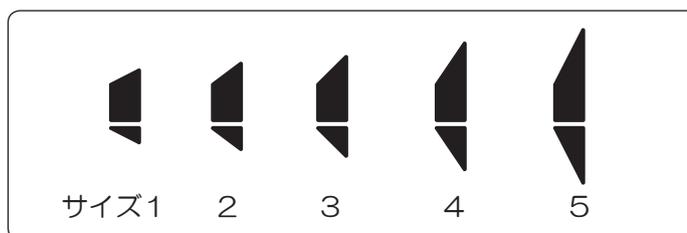
3. テーパリングのサイズを選びます。

短くなる 標準値 長くなる



青枠を押すと初期値に戻ります

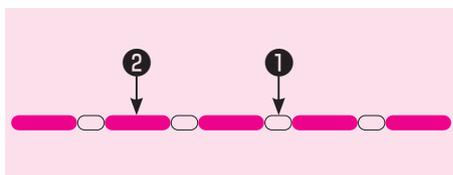
 を押しても初期値に戻ります



 を押すと設定が確定します。

7.14. ハンドステッチ

模様 No.	模様
391	



上糸に透明な糸を使用することによって、ぬい目を手ぬい風にすることができます。

- ① 上糸
- ② 下糸

7.15. ボタン穴かがりぬい

※ ボタン穴かがりの長さは、使用するボタンをボタン受け台にはさま込むと決まります。

※ ボタンの直径 0.7 ~ 3.2cm まで、ボタン穴かがりができます。

※ 伸縮性のある布地には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。

※ 必ず、試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。

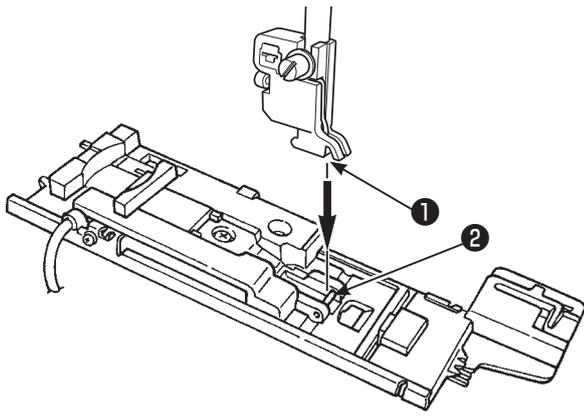
※ ボタン穴かがりの No.414 ~ 417 はニット布地用ですので、ニット針をご使用ください。

押え
ボタン穴かがり押え (E)

 ロックモード

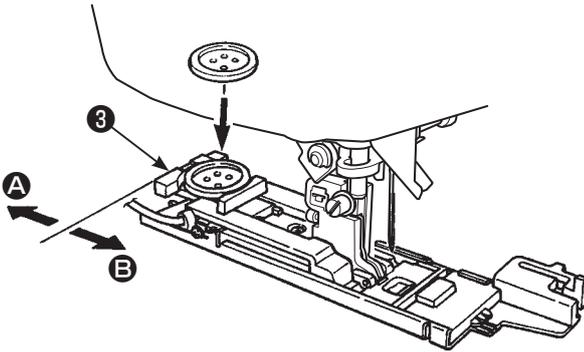
模様 No.	模様	用途	
401		両かん止め	一般的なボタン穴かがりあらゆる用途に使用
402			手動ボタン穴かがり (2ステップ) (112 ページ参照) 布地に段差がある場合や大きな穴かがりをぬいたい場合などに
403			手動ボタン穴かがり (メモリー) ※一度ぬったボタン穴かがりのサイズを記憶することができます。
404			厚地用ボタン穴かがりぬい目の密度が少なく、コートなどに使用
405			両かん止め二重ぬい 2回重ねてぬうことで、丈夫なボタン穴かがりに
406		かざり用	かざり用ボタン穴かがり
407		ねむり穴	薄地用ボタン穴かがり ブラウス、子供服などに
408			
409			

模様 No.	模様	用途	
410		はと目	厚地 (ジャケット、コート、ズボンなど) に
411			はと目穴が正円になるボタン穴かがり
412			厚地素材で、大きく厚めのボタンを使う場合に
413			パンツの前開き部分のボタンなどに
414		ニット用	薄地ニット用 下ぬい 1 回 かざりボタン穴かがりとしても
415			普通地ニット用 下ぬいを 2 回入れることで伸縮防止に
416			薄地ニット用 414 のぬい模様を 2 回重ね伸縮の大きい布地に
417		普通地ニット用 415 のぬい模様を 2 回重ね伸縮の大きい布地に	
418		かざり用	かざり用ボタン穴かがり フラワーホールや ジャケットなどの開き見せに
419			
420			
421			ボタン穴かがり下ぬい (111 ページ参照)



1 押えをセットします。

針を上げ、押えを上げます。
押えホルダーのみぞ①と押えのピン②を合わせ、
押えを下げてセットします。

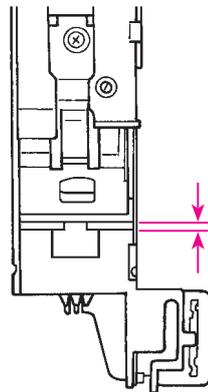


2 ボタンをセットします。

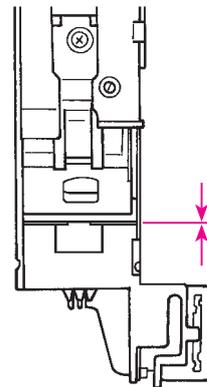
ボタン受け台③をAの方へ引き、ボタンを乗せてB
方向に戻して、はさみ込みます。

※厚さ4mmを超えるボタンはセットできません。

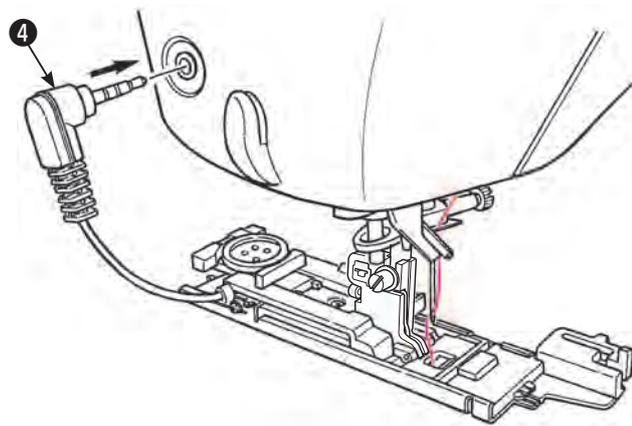
※押えをセットしたとき、
次のことを確認してから
ぬい始めてください。



すき間があいて
いることを確認
してください。



すき間がないと
きれいなぬい目
になりません。



3 ボタン穴かがり用センサーピン④を セットします。

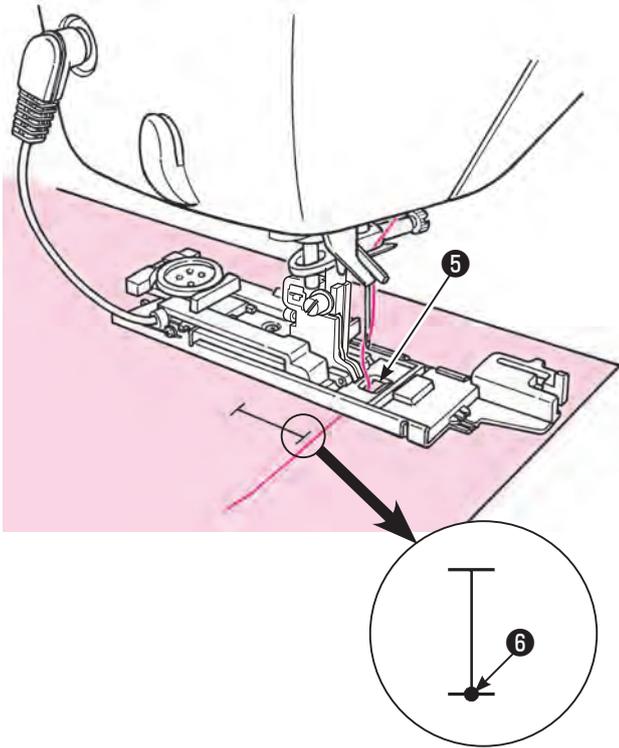
ミシン面部のセンサーピン穴に差し込みます。

※ しっかり奥まで差し込んでください。

※ センサーピンをセットしないでスタートさせると、メッセージが表示されます。



センサーピンをセットして
再度スタートさせます。



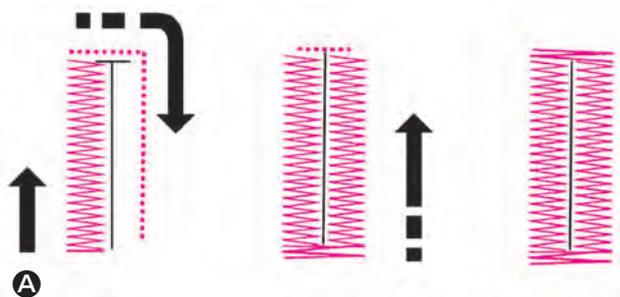
4 布地を入れます。

押えを上げて、上糸を押えの穴⑤から下に通し、横に引き出します。

布地を入れ、ぬい始めの位置⑥に針を下ろして押えを下げます。

5 ミシンをスタート **A** させます。

ボタン穴かがりをぬい終わったところで、自動的に止まります。

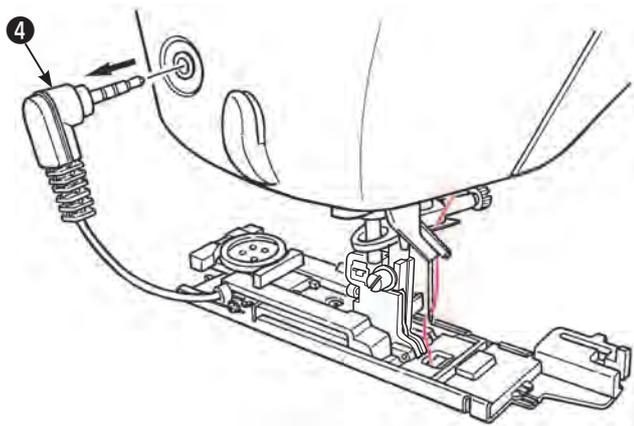


※ 引き続き同じサイズのボタン穴かがりをぬう場合、糸切りボタンを押して糸を切り、押えを上げます。別の場所にそのままの状態です押えを下ろし、スタートさせます。

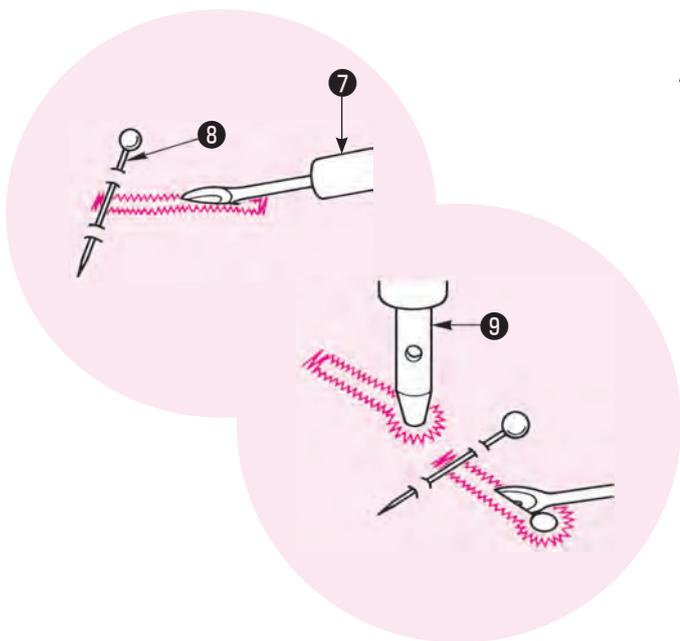
※ ボタン穴かがりぬい途中は、ぬい目の長さや振り幅を変更しないでください。ぬいが乱れることがあります。

※ ボタン穴かがりをぬい終わるまでに糸切りボタンを押したり、押えを上げると続きをぬうことはできません。

※ 生地の種類や生地の方向によって、側ぬい部の振り幅に多少ばらつきがでることがあります。



6 ぬい終わったら、センサーピン④を抜きます。



7 リッパー⑦で穴をあけます。

【両かん止め】

かん止めの所にまち針⑧をわたして、リッパー⑦でぬい糸を切らないように中央の布地を切り開きます。

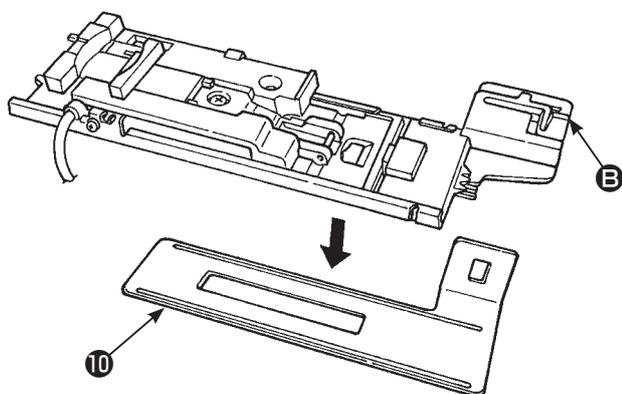
【はと目ボタン穴かがり】

厚紙などを下に置いて、はと目パンチ⑨で穴をあけてから、リッパーで中央の布地を切り開きます。

● ボタン穴かがり固定板

⚠ ロックモード

薄地や段部近辺のぬいにくいボタン穴かがりには、固定板をセットするとスムーズにぬうことができます。



1. ボタン穴かがり押えに固定板⑩をセットしたまま、押えを取り付けます。
2. 押えと固定板の間に布地を入れてぬいます。

※ ③の樹脂をつまむと固定板の取り外しができます。

■ぬい目の幅を変えるとき

ぬい目の幅アイコンを押し
調節ダイヤル（左）を回します。

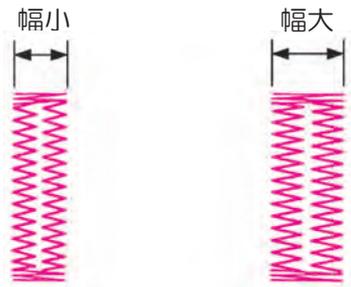
※ 電源を切ったときや、他の模様を選択した場合、ぬい目の幅、ぬい目の長さのセットはリセットされます。



左へ回すと
↓
幅が狭くなります



右へ回すと
↓
幅が広がります



■ぬい目の長さを変えるとき

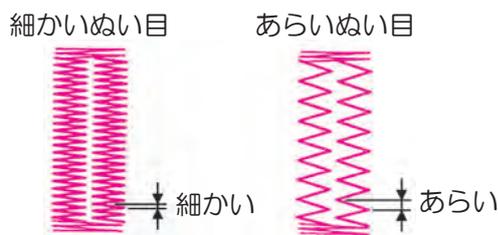
調節ダイヤル（右）を回します。



左へ回すと
↓
ぬい目の密度が
細くなります

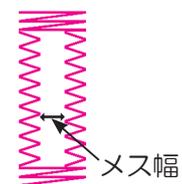
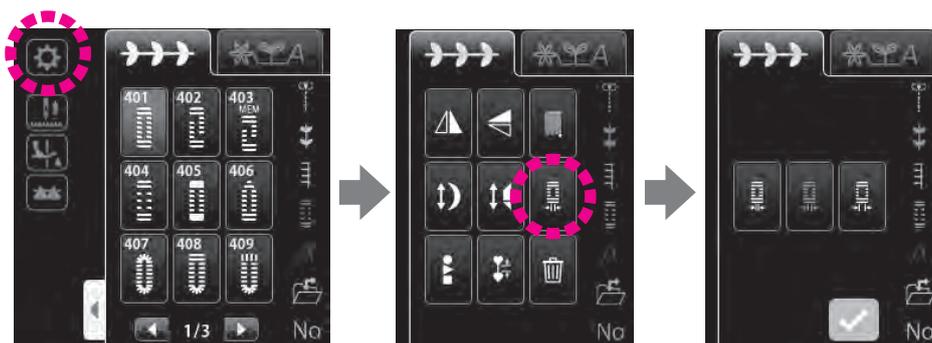


右へ回すと
↓
ぬい目の密度が
あらかくなります



■ボタン穴かがりのメス幅変更

ボタン穴かがりのメス幅を変更することができます。



小 標準 大

※ 初期値は「標準」です。

 を押すと設定が確定します。

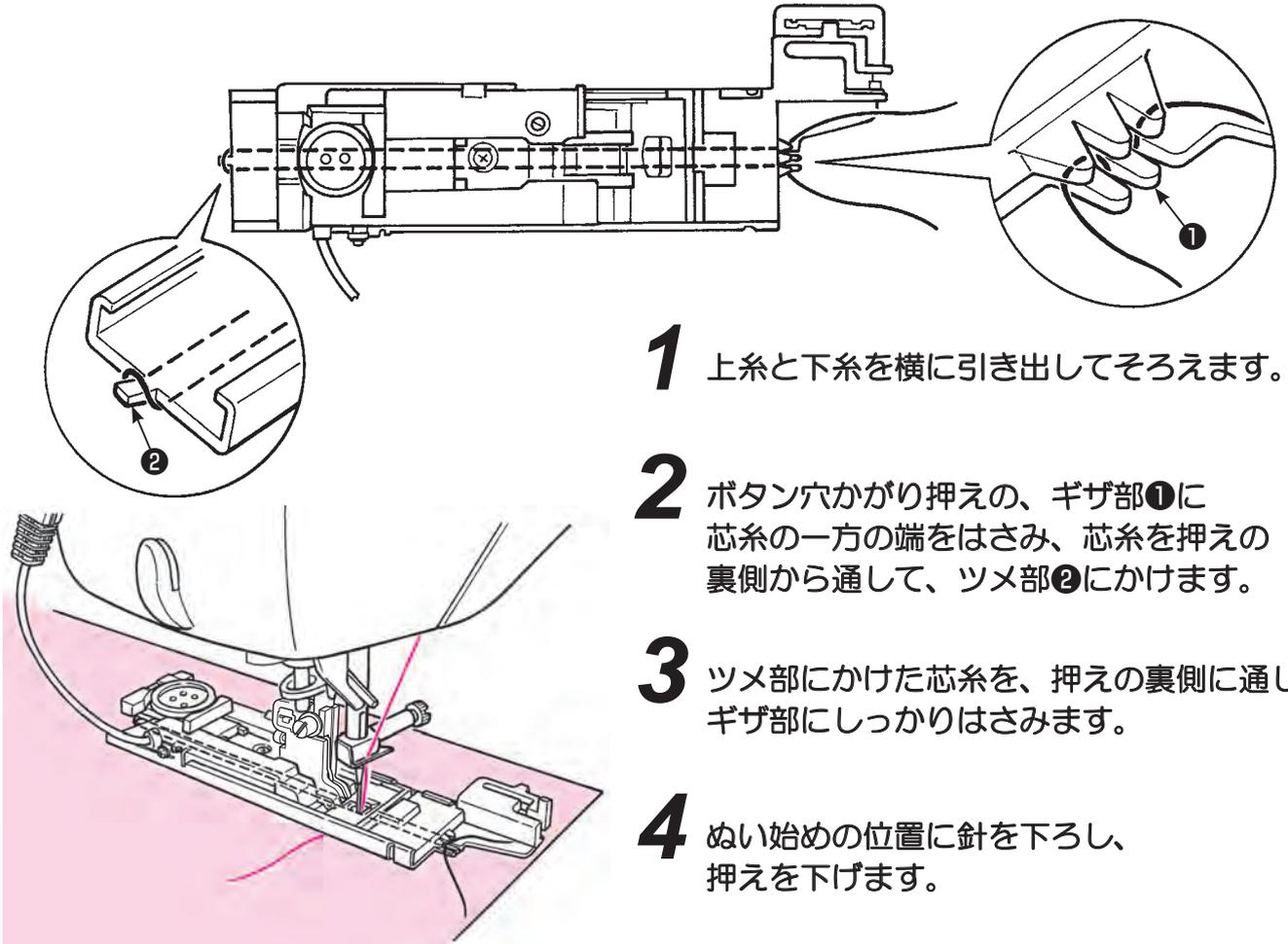
■ 芯入りボタン穴かがり

模様 No.	模様	押え
401		ボタン穴かがり押え(E)

 **ロックモード**

芯糸を入れてぬうとボタン穴かがりの伸びを防ぎ、丈夫なボタン穴かがりができます。

※ 芯入りボタン穴かがりは両かん止め模様（模様 No.401）でぬってください。



1 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。

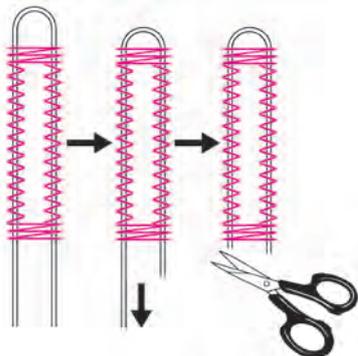
2 ボタン穴かがり押えの、ギザ部①に芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押えの裏側から通して、ツメ部②にかけます。

3 ツメ部にかけての芯糸を、押えの裏側に通してギザ部にしっかりはさみます。

4 ぬい始めの位置に針を下ろし、押えを下げます。

5 ボタン穴かがりをぬいます。

6 芯糸を引いて、余分な芯糸を切ります。



■ ボタン穴かがり下ぬい

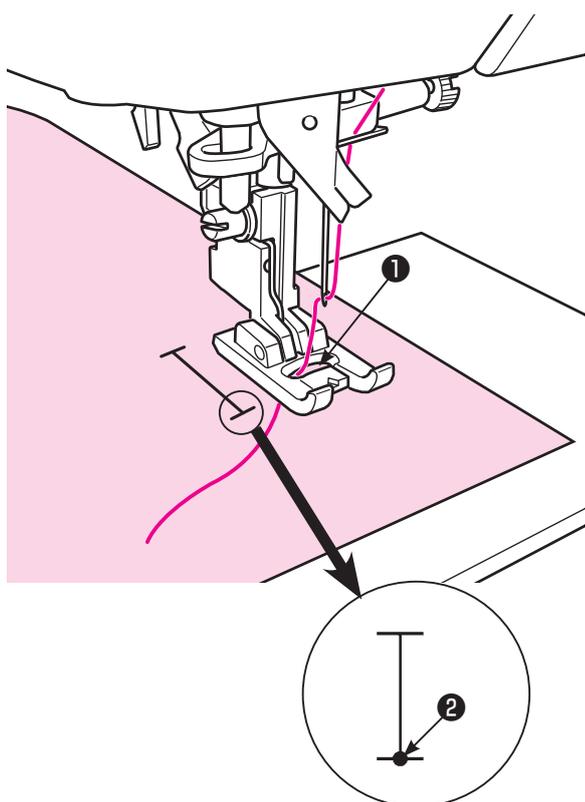
模様 No.	模様
421	

模様 No. 401 ボタン穴かがりの下ぬいに使います。
玉縁ボタン穴かがりぬいにも使えます。

7.16. 手動ボタン穴かがり（2ステップ）

模様 No.	模様	押え
402		手動ボタン穴かがり押え (I)
403	MEM 	ロックモード

※ボタン穴かがりのぬい目の幅や、ぬい目の長さを変えたいときは 110 ページをご覧ください。



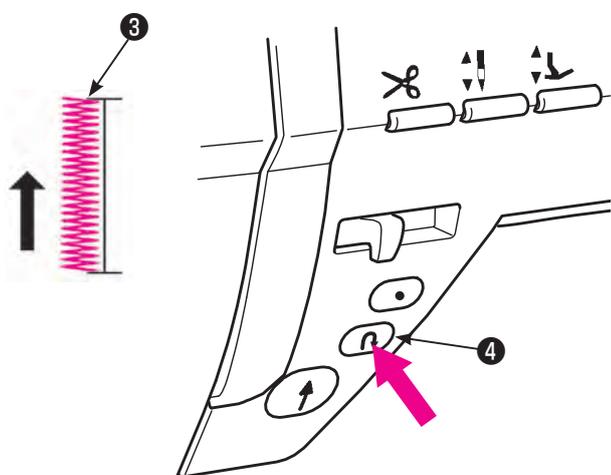
1 手動ボタン穴かがり押え (I) をセットします。

2 上糸を押えの穴①から下に通し、横に引き出します。

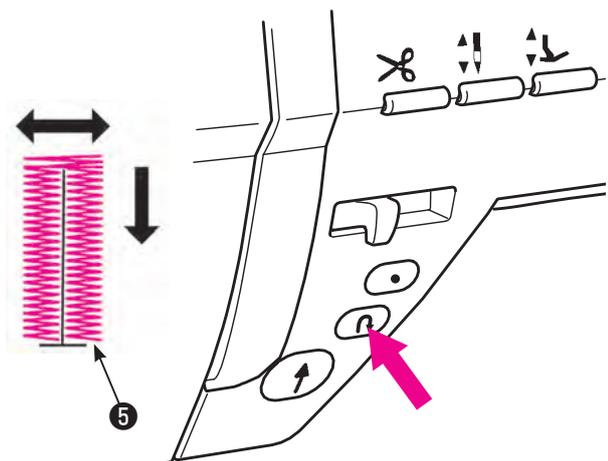
3 ぬい始めの位置②に針を下ろし、押えを下げます。

4 スタートストップボタンを押し、ぬい始めます。

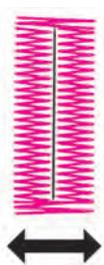
※途中、スタートストップボタンを押すとミシンが止まります。再度スタートストップボタンを押すと、続けてぬいます。



ボタン穴かがりの左側を必要な長さ③までぬったら、返しぬいボタン④を押し、かん止めと右側をぬいます。

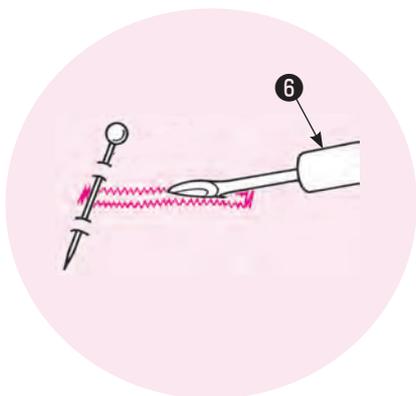


5 ぬい始めの位置⑤に戻ったら、返しぬいボタンを押します。



6 かん止めと止めぬいをし、自動的に止まります。

糸を切り、押えを上げて布地を取り出します。



7 リッパー⑥で穴をあけます。

※ 手動ボタン穴かがりは、左と右側のぬい方向が異なりますので、布地によっては左右の密度が異なって見える場合があります。

MEM

※  No. 403 手動ボタン穴かがり（メモリー）の場合

最初にぬった長さが記憶されるので、2回目からは **4** の操作は必要ありません。

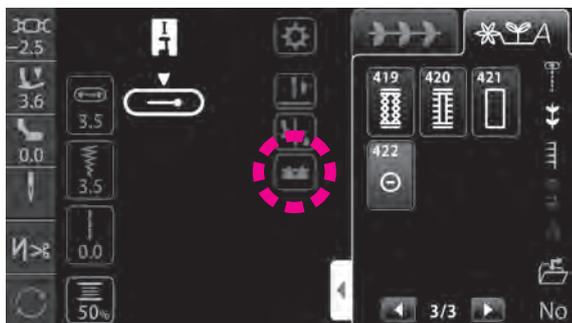
記憶された長さを変更したいときは、もう一度模様を選び直してください。

7.17. ボタン付け

模様 No.	模様	押え
422	⊖	手動ボタン穴かがり押え (I)

⚠ ロックモード

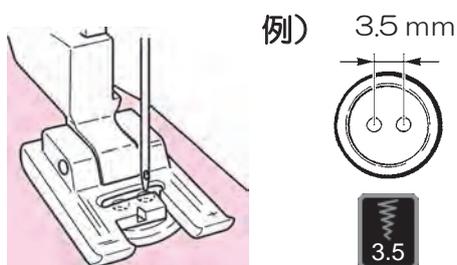
※ボタン付けの際は自動糸切りを使用しないでください。



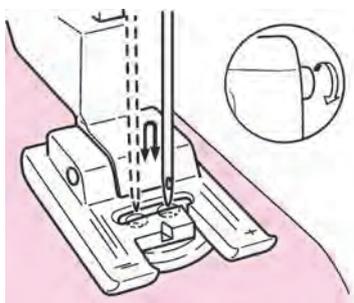
1 送り歯アイコンを押して、送り歯を下げます。

 : 送り歯が下がっています。

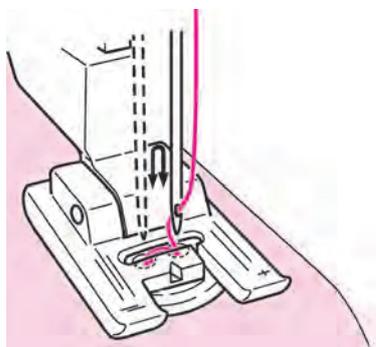
 : 送り歯が上がっています。



2 押えの下にボタンをセットし、ボタン穴の間隔とぬい目の幅が一致するように調整します。



3 針がボタン穴に落ちるようにはずみ車（プリー）を回して確認します。



4 はずみ車を手で回しながらぬいます。

⚠ 生地を引っ張ると、ボタンがずれて針が折れる危険があります。

別売品のボタン付け押え（122 ページ参照）を使用すると、より確実にボタン付けをすることができます。

5 上糸と下糸を 10 cm くらい残して切ります。ぬい終わりの下糸を引いて互いに結びます。

7.18. キルティング（フリーモーション）

模様 No.	模様	押え
001		キルト押え（ルーラー用）

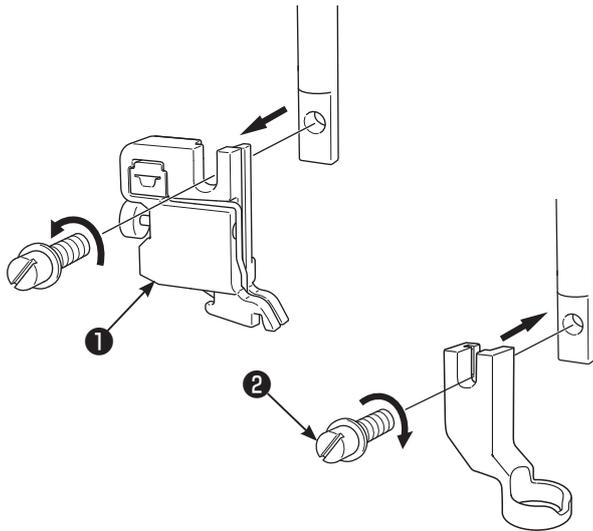
ロックモード

※ 必ず直線（中基線）模様でぬってください。

ジグザグ模様でフリーモーションをする場合、別売品のキルト押え（ジグザグタイプ）と押えジョイントをご使用ください。

ミシンの送りを使わず自由な方向に布地を動かしてキルトステッチを入れることを、フリーモーションキルティングといいます。

送り歯を下げた（ドロップフィード）状態で、手で布地を動かすことにより、自由な曲線など、360度の様々な方向にぬうことができます。



1 表布、キルト綿、裏布を重ね、ピンやしつけで止めておきます。

2 キルト押えを取り付けます。

押えホルダー①を外します。（22 ページ参照）
キルト押えをセットし、押えホルダー締めネジ②をしっかりとめます。

3 送り歯アイコンを押して、送り歯を下げます。

: 送り歯が下がっています。

: 送り歯が上がっています。

4 布地を押えの下に入れ、押えを下げます。

5 布地の厚さに合わせ、押えの高さを調整します。

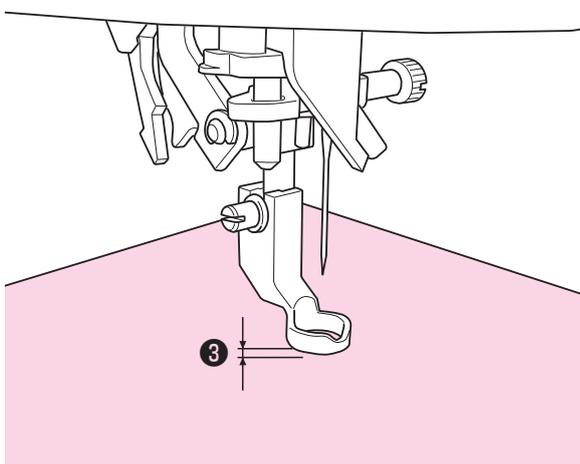
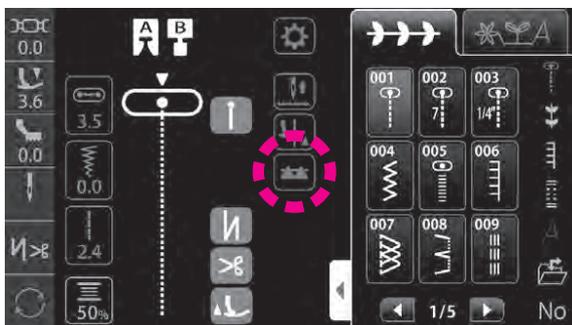
- 押えのネジ止め高さ調整できます。
- 微量押え上げ高さ設定を使っても調整できます。

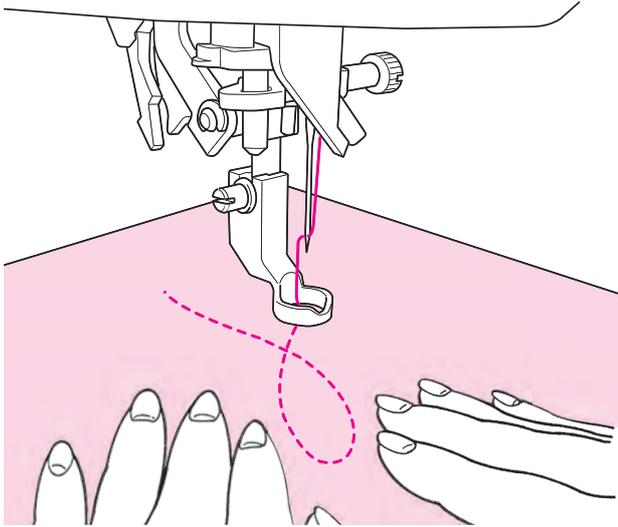
で調整します。

を押すと設定が確定します。

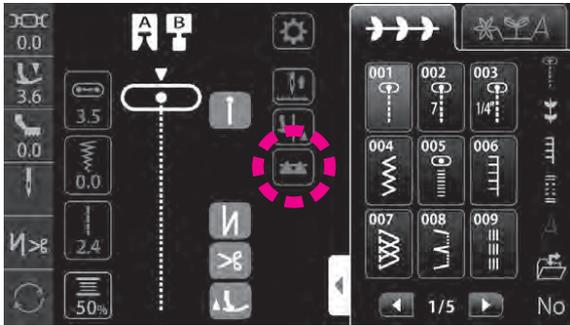
布上 1 mm③くらいの位置に合わせると、抵抗なくスムーズに動かせます。

※ 押え圧を弱くすることにより段差部でもきれいにぬうことができます。





6 両手で布地を持ち、布地がたるまないように動かします。
ぬい目の長さは、1.5~2.0mmくらいが目安です。



7 フリーモーションが終わったら、送り歯アイコンを押して、送り歯を上げます。
次にミシンが動きはじめると同時に送り歯が上がります。

※ キルト定規を使うこともできます。

ポイント

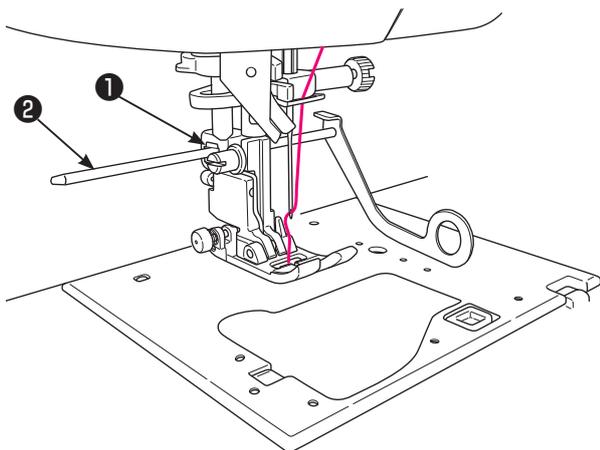
● 止めぬいのしかた

- ぬい始めは、下糸を布地の上に引き上げ、上糸と下糸を一緒に持った状態で、その場で3針ほどぬって止めます。その後、布地を動かし始めると布地の裏もきれいです。
- ぬい終わりも、その場で3針ほどぬって止めます。

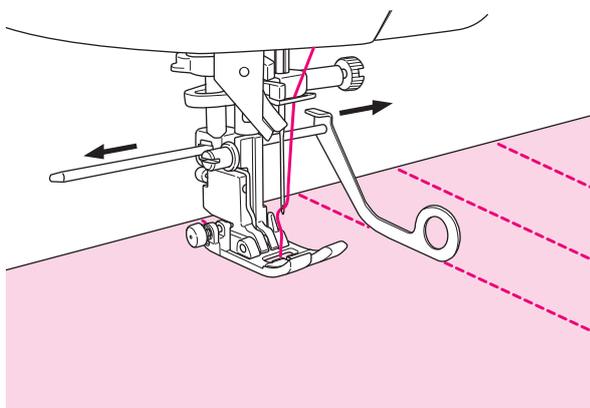
● ぬい目の長さの揃え方

- フットコントローラを使うと、両手を布地に添えることができるので、布地をらくに動かせます。
- まず、スピードコントロールつまみを中低速～中速に設定し、コントローラーを一番下まで踏み込み、布地を動かしてみます。
 - ぬい目があらくなってしまった場合は、スピードコントロールを「はやくなる」に
 - ぬい目が細くなってしまった場合は、スピードコントロールを「おそくなる」に調節してください。

7.19. キルティング（棒定規）



1 押えホルダーの穴①に棒定規②を差し込みます。

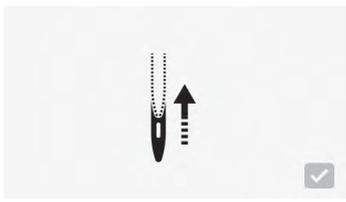
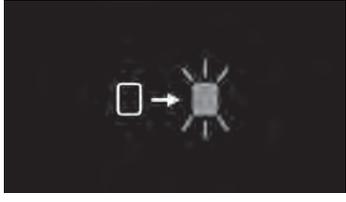
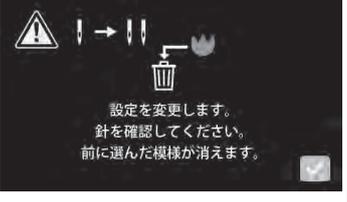
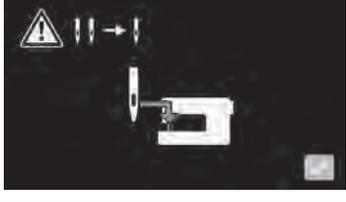
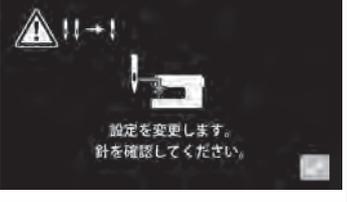


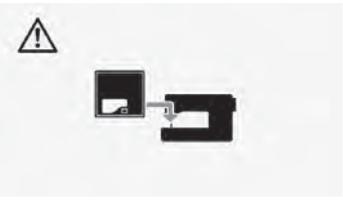
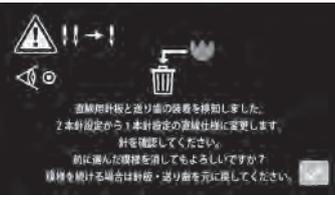
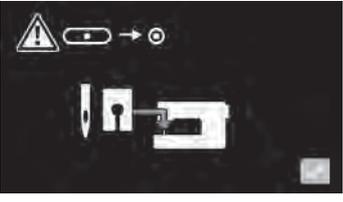
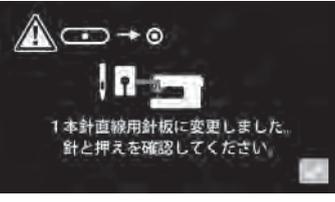
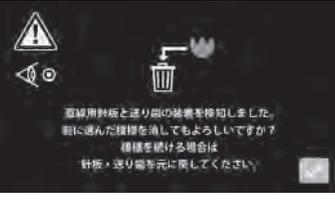
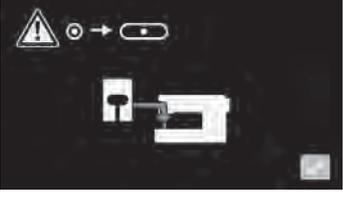
2 間隔を一定に保ちながらぬうことができます。

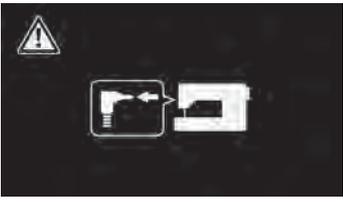
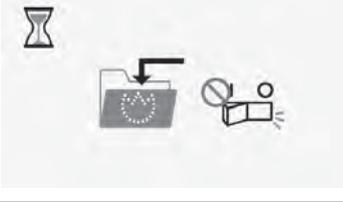
左右の間隔が自由に調節できます。

8. メッセージ一覧

※ メッセージの操作を行うか、 を押すとメッセージは消えます。

	メッセージ		原因（理由）
	ピクト	日本語	
1		左に同じ	起動時、針が動くとき。  を押すと針が動き、最初の画面が表示されます。
2			オプション設定の起動時設定で、直前の模様を維持する設定をしているとき。
3			すでにメモリに模様が入っているフォルダに別の模様を上書きしようとしたとき。
4		左に同じ	フォルダの模様を削除しようとしたとき。
5			オプション設定で、設定を変更したとき。
6			1 本針モードから 2 本針モードに変更するとき。
7			2 本針設定から 1 本針設定に変更するとき。

	メッセージ		原因（理由）
	ピクト	日本語	
8		 針板が外れています。 針板をセットしてください。	針板が外れている／針板を外した状態のとき。
9		 直線用針板と送り歯の設置を解除しました。 2本針設定から1本針設定の直線仕様に変更します。 針を確認してください。 前に選んだ模様を消してもよろしいですか？ 模様を続ける場合は針板・送り歯を元に戻してください。	2本針設定時に、直線用針板・送り歯をつけたとき。
10		 1本針直線用針板に変更しました。 針と押えを確認してください。	No.9画面で  を押した後に表示されます。
11		 直線用針板と送り歯の設置を解除しました。 前に選んだ模様を消してもよろしいですか？ 模様を続ける場合は 針板・送り歯を元に戻してください。	1本針設定・標準仕様から、直線仕様に変更するとき。
12		 設定を1本針直線仕様に戻しました。 押えを確認してください。	No.11画面で  を押した後に表示されます。
13		 仕様を標準に戻しました。 押えを確認してください。	1本針設定・直線仕様から、標準仕様に変更するとき。
14		 選択した模様を全て消去します。 よろしいですか。	全選択ボタンの後に、削除ボタンが押されたとき。
15		左に同じ	ボタン穴かがり模様を選択時、ボタン穴かがりセンサーピンをセットしないでスタートさせたとき。

	メッセージ		原因（理由）
	ピクト	日本語	
16		左に同じ	ボタン穴かがり模様以外の模様を選択時、ボタン穴かがりセンサーピンをセットした状態でスタートさせたとき。
17			押え上昇時の安全装置が働いたとき。
18			これ以上メモリできないとき。
19		左に同じ	モーターがロックしたときや、一時的に安全装置が働き停止しているとき。
20			オプションで全設定削除を選択したとき。
21			外部通信・USB などと交信しているとき。
22			内部通信・保存中のとき。
23			「JUKI スマートフィード」に対応していない模様が選択されている状態で、「JUKI スマートフィード」検知センサーが検出されたとき。

9. ミシンのお手入れ

糸くずやほこりがたまると、故障の原因になることがあります。常にきれいにしておきましょう。

⚠ 電源 OFF または ロックモード

1 押えと針を取り外します。
針板を外します。

針板①手前の溝に専用ドライバー②を差し込み、押し下げると外れます。

2 内がま③を取り外します。

3 糸くずやほこりを取り除きます。

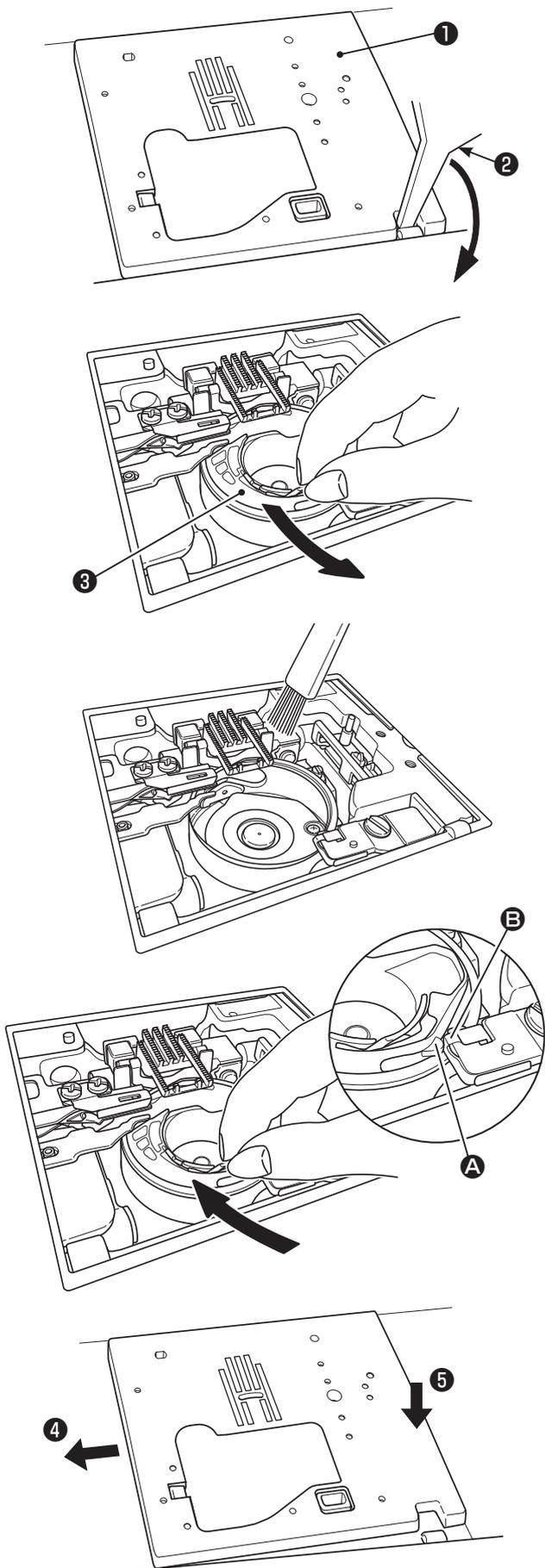
送り歯や、内がまの周辺糸くずやほこりを、付属品の掃除用ブラシを使ってきれいにします。

4 内がまを取り付けます。

ⒶとⒷがあたるように内がまを入れます。

5 針板をはめ込みます。

針板左側を下に傾けながら入れ(④)、右側中央を押し下げてしっかりはめ込みます(⑤)。



10. 別売品のご紹介

ホームソーイングをさらに楽しくします！
お買い上げの販売店でお求めください。

●三ツ巻き押え

布端を三つ折りにしながらぬっていく方法で、シャツやブラウスの裾、フリルやハンカチの縁の始末などに使います。

●ボタン付け押え

2つ穴、4つ穴のボタン付けができます。

●パール付け押え

ひも状につながったパールやビーズ、太めのコードをジグザグでぬい付けることができます。

●ガイド押え

押えに2mm間隔の印が付いていますので、ステッチの間隔の目安になります。

●バインダー押え

バイアステープなどのふちどりテープを四つ折りにしながら簡単にぬいつけることができます。

●2本針

2本針を使って、きれいなかざり模様をぬうことができます。(針幅 2.0 mm)

●押えジョイント

押えホルダーを外して取り付ける別売押えを使用するときが必要です。

は押えジョイントが必要です。

●コード刺しゅう押え

フリーモーションで使います。
コードと一緒にぬい付けることができます。

●ジグザグ三ツ巻き押え

薄地の布端を巻きながらジグザグでぬいます。
フリルやハンカチの縁の始末などに使います。

●アップリケ押え

押えの前後が短いのでカーブも動かしやすく、透明なので布地を見やすくなっています。

●ひも付け押え

細いひも1～3本を3点ジグザグやかざりぬいを使って留めることができます。

●コンシール®ファスナー押え

ファスナーやぬい目が布地の表に出ないので、つき合せの状態、あきの始末ができます。

●スムーズ押え

滑りにくい素材(人工皮革)や密着模様をぬうときに使います。

●落としぬい押え

パッチワークなどで、布地の突き合わせの真ん中をぬう時に押えの中央のガイドを利用してぬうことができます。

●キルト押え(オープンタイプ)

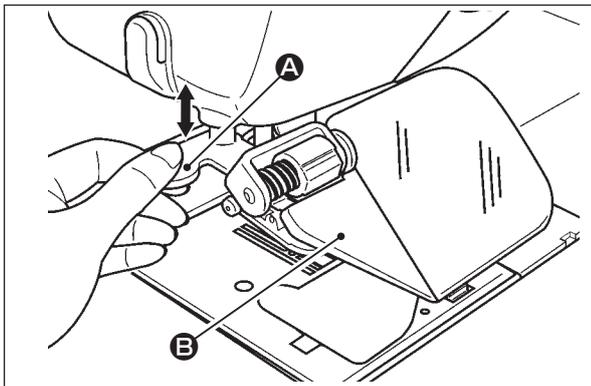
フリーモーションキルトをするときに使います。前側が開いているので、針落ち位置を見やすくなっています。

●キルト押え(ジグザグタイプ)

フリーモーションキルトをするときに使います。ジグザグ模様でもぬうことができます。

●拡大レンズ

針元を拡大するルーペとして使います。



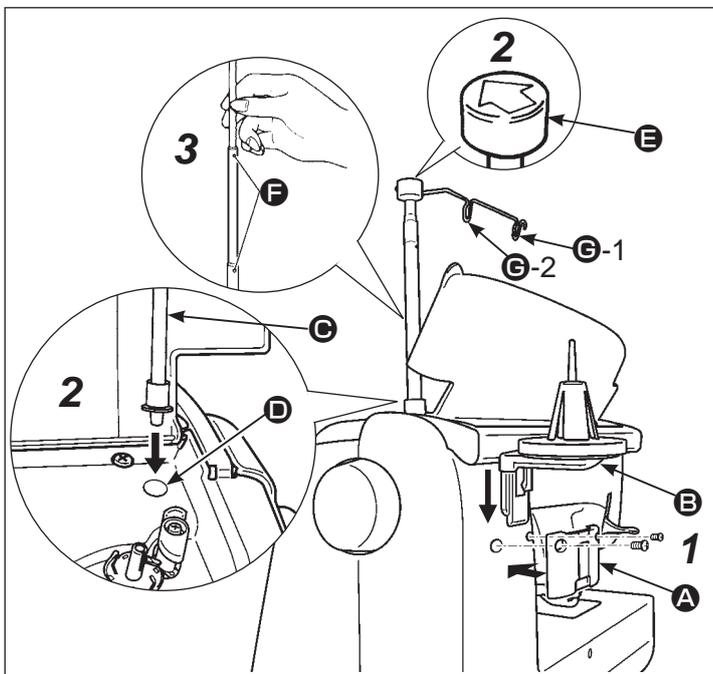
⚠ 注意

勢いよく引き抜くと指をけがしたり、カバーを破損する恐れがあります。

- 1) 拡大レンズを取り付けるときは、取り付け穴へゆっくと差し込みます。
 - 2) 拡大レンズの位置を調整するときは、レンズ面左側の半透明の部分 **B** を持ち、調整します。
 - 3) 拡大レンズを取り外すときは、取っ手部分 **A** を持ち、ゆっくと引き抜きます。
- ※ 拡大レンズのレンズ面に汚れが目立つときは、傷つけないように柔らかい布で拭き取ってください。

●糸立台

太巻き糸を設置できます。
キルトなど、一度に多くぬうときに便利です。



⚠ 注意

斜めに引き抜いたり、勢いよく引き抜くと破損する恐れがあります。

1 糸立台を取り付けます。

- ・ミシン背面にネジ2本で、ベース板 **A** を取り付けます。
- ・ベース板 **A** に糸立台 **B** をカチッと音がするまで、ゆっくと差し込みます。

2 糸立棒を取り付けます。

- ・ミシン上面カバーを開けて、糸立棒 **C** を取り付け穴 **D** に差し込みます。
- ・糸立糸案内 **E** を、上部の矢印をミシン正面に向けた状態で糸立棒に差し込みます。

3 糸立棒をのばします。

- ・カチッと音がして、位置決めストッパー **F** にかみあうまで回します。

- ### 4 糸立台に糸をセットします。引き出した糸を糸案内 **G-1**、**G-2** の順にかけてから、通常の上糸かけをします。

11. 故障かな・・・というときは

下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合は、お買い求め販売店にご相談ください。

症 状	原因（理由）	処置方法	参考 ページ
● ぬっているとき急に回転しなくなった。 ※ はずみ車が手で普通に回せるとき。	● ゆっくりぬいを長時間行ったとき。 ※ モーターの異常発熱を防ぐため、自動的にモーター電源が切れるしくみになっています。	● 電源スイッチを切り、しばらく（約10分間）すると安全装置が復帰し、正常に戻ります。	5
● スタート・ストップボタンを押してもミシンが回らない。（ランプはつく）	● 押えの付け間違えにより、針が押えに当たっている。 ● 針が外れてかまの中に落したままスタートさせたとき。	● 模様合った押えに取り替えます。 ● 針を取り除きます。	- -
● 針が折れる。	● 細い針で厚物をぬったとき。 ● 針が奥まできちんと入っていないとき。 ● 針止めネジのしめ方が弱いとき。 ● 模様に対して押えが間違っているとき。 ● 針が曲がっている。	● 布地、ミシン糸、ミシン針の関係を調べます。 ● 針の取り付け方を調べます。 ● 針止めネジをしっかりとしめます。 ● 模様と押えの関係を調べます。 ● 針を取り替えます。	28 27 27 - 27
● 回転音が重い、または音が高い。	● 送り歯にゴミがたまっているとき。 ● かまに糸くずがたまっているとき。	● ミシンのお手入れをします。 ● ミシンのお手入れをします。	121 121
● 布地を送らないとき。	● ぬい目の長さが0になっている。 ● タオル地などやわらかい布地。 ● ドロップフィード状態になっている。 ● 微量押え上げ高さが高すぎる。	● 模様を選び直すと模様の適正なぬい目の長さがセットされます。 ● ぬい目の長さを3～5にします。 ● 送り歯を上げます。 ● 微量押え上げ高さを調節する。	46 - 51 41
● 糸通しができない。 ※ 糸通しのフックが回転しない。 ● 糸通しのフックが針穴に入らない。	● 針が上に上がっていないとき。 ※ 針が上がっていないときは、フックの保護のため回転しないしくみになっています。 ● 針が奥まできちんと入っていないとき。	● はずみ車を回して、針を上上げます。 ● 針の取り付け方を調べます。	33 27

症 状	原因（理由）	処置方法	参考 ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● 糸通しレバーが戻らず、ミシンが回らなくなった。 ※ 針穴の中に糸通しのフックが入ったまま。	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸通しレバーを下げたまま（糸通し中）誤ってミシンを回してしまったとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● はずみ車を手でわずかに向こう側（ぬうときと反対）に回します。 	-
<ul style="list-style-type: none"> ● スタート・ストップボタンを押してもミシンがスタートしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 足踏みのコントローラーが差し込んであるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コントローラーを外せばスタート・ストップボタンを使用できます。 	18
<ul style="list-style-type: none"> ● 糸が切れる。 ● ぬい目がとぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸のかけ方が間違っているとき。 ● 糸にこぶや結び目があるとき。 ● 糸調子の合わせ方が悪いとき。 ● 針が曲がっていたり、針先がつぶれているとき。 ● 針の取り付け方が間違っているとき。 ● 下糸の通し方が間違っているとき。 ● ボビンが内がまの中で滑らかに回らないとき。 ● 針と糸の太さが合っていないとき。 ● 天びんに糸がかかっているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸をかける順序を調べてかけ直します。 ● 糸こぶや結び目を取り除きます。 ● 模様、ミシン糸の関係を調べて合わせます。 ● 針を取り替えます。 ● 針を正しく取り付けます。 ● 下糸の通し方を調べます。 ● 下糸の巻き方を調べます。 ● ミシン糸、針の関係をよく調べます。 ● 糸のかけ方を調べます。 	34 - 38 27 27 31 - 28 35
<ul style="list-style-type: none"> ● ぬい調子が合わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上糸のかけ方が間違っているとき。 ● 下糸のセットが間違っているとき。 ● 糸巻き当て座の向きが糸ゴマに合っていないとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸のかけ方を調べます。 ● 下糸のセット方法を調べます。 ● 糸ゴマに合った糸巻き当て座の向きで取り付けます。 	34 31 34
<ul style="list-style-type: none"> ● ぬい目にしわができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 薄物に対してぬい目が大きいとき。 ● 針先がつぶれているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬい目を細かくします。 ● 針を取り替えます。 	46 27
<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶画面に  マークが表示される。 	<ul style="list-style-type: none"> ● モーターがロックしたとき、一時的に安全装置が働き、ミシンが停止しているとき。または、電圧異常が発生しているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● しばらくすると安全装置が復帰し、正常に戻ります。（このとき、スタートストップボタンは光りません） 	-

12. 模様一覽

001	002	003	004	005	006	007	008	009	010	011	012	013	014	015	016	017	018	019
020	021	022	023	024	025	026	027	028	029	030	031	032	033	034	035	036	037	038
039	040	041	042	043	044	045												
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138
139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157
158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176
177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195
196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214
215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233
234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252
253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271
272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290

※ミシンの上面カバー内側に一覧表があります。

301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319
320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338
339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357
358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376
377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	
401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419
420	421	422																

文字 / 数字 / 記号

@!&'(),.-?~/:;
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 1234567890
 ÄÅÆàáâäåèéëêëÇçİiÑñÖöøøÙùü

@!&'(),.-?~/:;
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRS
 TUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstu
 vwxyz
 1234567890
 ÄÅÆàáâäåèéëêëÇçİiÑñÖöøøÙùü

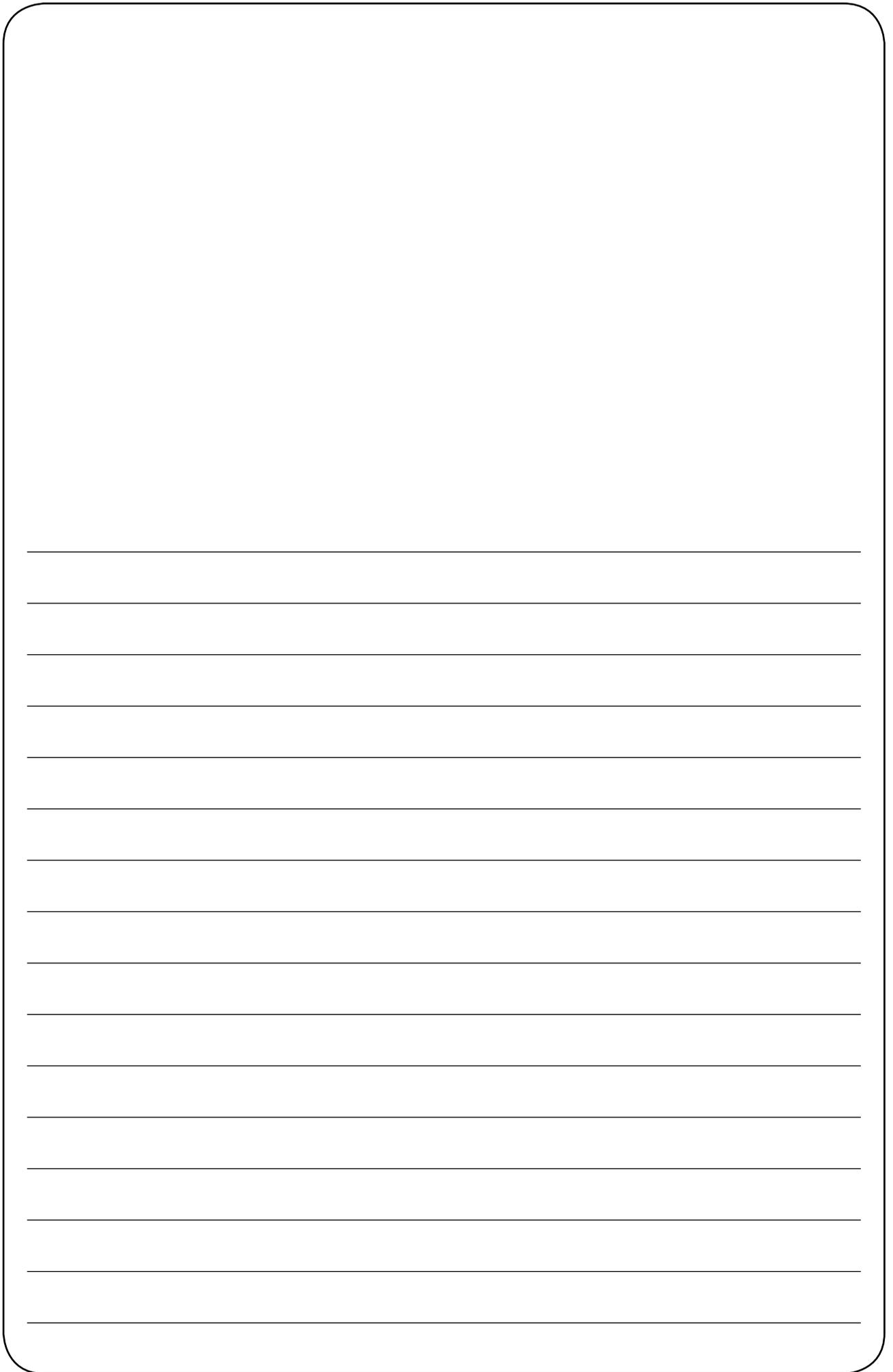
@!&'(),.-?~/:;
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
 VWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuv
 wxyz
 1234567890
 ÄÅÆàáâäåèéëêëÇçİiÑñÖöøøÙùü

@!&'(),.-?~/:;
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRS
 TUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstu
 vwxyz
 1234567890
 ÄÅÆàáâäåèéëêëÇçİiÑñÖöøøÙùü

あいうえお あいうえお
 かきくけこ がぎぐげご
 さしすせそ ざじずぜぞ
 たちつてとっだぢづでど
 なにぬねの
 はひふへほ ばびぶべぼ ぱぴぷぺぽ
 まみむめも やゆよやゅよ
 りりるれろ わをん

アイウエオ アイウエオヴ
 カキクケコ ガギグゲゴ
 サシスセソ ザジズゼソ
 タチツテトッ ダヂヅデド
 ナニヌネノ
 ハヒフヘホ バビブベボ パピプペポ
 マミムメモ ヤユヨヤユョ
 ラリルレロ ワヲン

!?-.、「」' , ~ - .
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
 幼稚園 保育 小学校 年組 才



■アフターサービスと保証

- このマシンには保証書がついています。
- 保証書は、お買い上げのお店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし内蔵されているマイコン・メイン基板は2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- このマシンは日本国内専用機種ですので、海外でのご使用はできません。また、海外での保証、アフターサービスは受けることができません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げのお店にご相談ください。
当社は、このマシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

■仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅 57.5 × 高さ 31.0 × 奥行 24.0 (cm)
本体質量	14.8 kg
定格電圧／消費電力	100V / 85W 50 / 60Hz

JUKI

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧 2-11-1

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お買い上げのお店、または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル

☎ 0120-677-601

年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く

平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:45

Copyright © 2018 JUKI CORPORATION

本書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。

購入店名 後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話 (- -)

購入年月日： 年 月 日